



パーソナルコンピューター  
VGN-U シリーズ  
取扱説明書





はじめに

本機を  
セットアップする

基本的な使いかた

インターネットを  
始める

その他

困ったときは

パーソナルコンピューター

## VGN-U シリーズ

Microsoft® Windows® XP Professional 搭載モデル  
Microsoft® Windows® XP Home Edition 搭載モデル

お買い上げいただきありがとうございます。

**警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



# 目次

バイオ電子マニュアル 目次	6
安全規制について	8
安全のために	11

## はじめに

付属品を確かめる	22
説明書・その他	24
本機のスタイルについて	25
各部の説明	27
本機正面	27
本機左側面	30
本機右側面	31
本機上面	32
本機下面	33
本機背面	33
ポトリプリケーター	34
ディスプレイ/LANアダプタ	36
キーボード	37
リモコン/ヘッドホン	40

## 本機をセットアップする

電源を入れる	42
バッテリーを上手に使うには	46
キーボードを取り付けるには	47
電源を切るには	47

Windowsを準備する	49
「Norton AntiVirus」ソフトウェアを インストールする	53
カスタマー登録する	55
VAIOカスタマー登録について	55
VAIOカスタマー登録の方法	55
VAIOカスタマー登録情報を 変更するには	63

バイオの基本設定をする	64
Do VAIOを楽しむ	64

付属品を取り付けて使う	66
キーボードを使うには	66
ポトリプリケーターに取り付ける/ 取りはずす	68

## 基本的な使いかた

タッチパネルを使う	72
タッチパネルで文字を入力する （「NextText」ソフトウェアを使う）	75
「NextText」ソフトウェアで できること	75
「NextText」ソフトウェアを起動する/ 終了する	76

本機のポインティング・デバイスを使う	78
画面を拡大/縮小して表示する	82

## インターネットを始める

インターネットとは	86
インターネット接続方法の 種類について	88

インターネット接続に必要なものは _____	90
インターネット上のトラブルについて _____	93
インターネットに接続する _____	95
電子メールをやりとりする _____	98
セキュリティについて _____	104

## その他

メモリを拡張する (VGN-U50) _____	108
リカバリについて _____	109
リカバリとは . . . . .	109
リカバリの種類/方法 . . . . .	110
リカバリの準備 (バックアップ) . . . . .	112
バックアップしたデータを戻す . . . . .	115
リカバリする _____	117
Windowsからリカバリする . . . . .	117
Windowsが起動しない状態でリカバリする . . . . .	121
本機をお買い上げ時状態に戻す . . . . .	122
リカバリディスクを作成する _____	124
リカバリに使用するディスクについて . . . . .	124
リカバリディスクを作成するには . . . . .	124
パーティションサイズを変更する _____	129
パーティションとは . . . . .	129
パーティションサイズを変更するには . . . . .	130
ハードディスク上のリカバリ領域を削除する . . . . .	131
使用上のご注意 _____	134

お手入れ _____	140
コンピュータ廃棄時などのハードディスク上のデータ消去について _____	141
付属ソフトウェアのお問い合わせ先 _____	142

## 困ったときは

困ったときは _____	148
バイオ電子マニュアルQ&A一覧 . . . . .	151
よくあるトラブルと解決方法 _____	157
電源/起動 . . . . .	157
パスワード . . . . .	166
文字入力/キーボード . . . . .	167
ポインティング・デバイス . . . . .	170
ROTATE (ローテート) ボタン . . . . .	176
画面/ディスプレイ/タッチパネル . . . . .	176
ポートリプリケーター . . . . .	182
ハードディスク . . . . .	182
エラーメッセージ . . . . .	184
主な仕様 _____	186
索引 _____	188

## ▶▶▶ 次ページに続く

本書に記載以外のさらに詳しい情報は、「バイオ電子マニュアル」に掲載しています。「バイオ電子マニュアル」の目次は次ページをご覧ください。

# バイオ電子マニュアル 目次

本機には「バイオ電子マニュアル」をプレインストールしています。このマニュアル内の情報（下記）もご覧ください。



## 「バイオ電子マニュアル」の起動方法

[スタート] → [すべてのプログラム] → [バイオ電子マニュアル] の順にクリックしてください。

## はじめてのバイオ

- はじめてのインターネット
- できるWindows for VAIO

## バイオの使いかた

- 本機のスタイルについて
- 各部の説明
- 電源/バッテリー/省電力
- タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン
- リモコン/ヘッドホン
- ディスプレイ/音
- CD/DVD
- “メモリースティック” / フロッピーディスク/コンパクトフラッシュ
- Do VAIOを楽しむ
- 音楽
- 静止画/動画
- インターネット/電子メール
- 接続/拡張
- データのやりとり/保存
- ワイヤレス機能
- 設定
- ご注意/その他

## 困ったときは/サポート

### よくあるトラブルと解決方法

- 電源/起動
- パスワード
- 省電力動作モード
- インターネット接続
- インターネット閲覧
- 電子メール
- ワイヤレスLAN
- リモコン
- 文字入力/キーボード
- ポインティング・デバイス
- ZOOM (ズーム) ボタン/ROTATE (ローテート) ボタン
- 画面/ディスプレイ/タッチパネル
- CD/DVDディスク
- フロッピーディスク
- “メモリースティック”
- スピーカー/ヘッドホン
- プリンタ
- iLINK/DV機器
- ポートリプリケータ
- ハードディスク
- プロセッサ (CPU)
- メモリ
- ソフトウェア
- エラーメッセージ
- カスタマー登録
- リカバリ (再セットアップ)

### バイオを診断する

- バイオ内の情報を検索する
- サポートのホームページを見る
- お問い合わせ先について
- サービスサポートのご案内

## ソフト活用ナビ

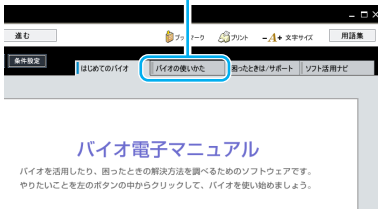
- 付属ソフトご紹介/お問い合わせ先
- バイオアップデート
- ソニーのホームページ

# バイオ電子マニュアルはこのように使います

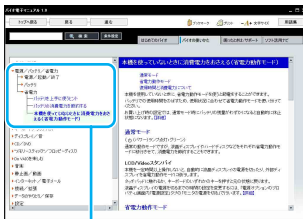
例：消費電力を節約する方法を知りたいとき

① 画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックする。

ここをクリックする。



② 画面左側にある **[電源/バッテリー/省電力]** → **[省電力]** → **[本機を使っていないときに消費電力をおさえる(省電力動作モード)]** の順にクリックする。



- ▼ 電源/バッテリー/省電力
- 電源/起動/終了
- バッテリー
- 省電力
  - バッテリーを上手に使おう
  - バッテリーの消費電力を節約する
  - **本機を使っていないときに消費電力をおさえる(省電力動作モード)** ← ここをクリックする。



画面右側に情報が表示されます。

ページ内の該当項目をクリックする  
見出しの下に青色の文字\*がある場合は、クリックするとページ内の該当項目にジャンプします。

【詳細】をクリックする  
文中に【詳細】がある場合は、クリックすると、この内容に関する情報が別ウィンドウで表示されます。

「ここにも注目」をクリックする  
ページの最後に「ここにも注目」がある場合は、青色の文字\*をクリックすると、このページに関連する情報のページを表示します。

\*ポインタをあてると下線が引かれる文字

# 安全規制について

## 電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。

認証機器名：PCG-1G1N

## 電波法に基づく認証について

本機内蔵のワイヤレスLANカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカードを分解/改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

## 電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

## 漏洩電流自主規制について

この装置の本体およびディスプレイは、それぞれ社団法人電子情報技術産業協会(旧JEIDA)のパソコン基準(PC-11-1988)に適合しております。

## 瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。

しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。(社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示)

- \* ただし、バッテリー未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

## 無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

### 本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- 1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
- 3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。VAIOカスタマーリンクについては、付属の「バイオサービス・サポートのご案内」をご覧ください。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。



## ワイヤレスLAN 製品ご使用時 におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。

セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

詳細については、

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/>

[security\\_wirelesslan.html](http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html)をご覧ください。

## ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN 機能はWFA (Wi-Fi Alliance) で規定された「Wi-Fi (ワイファイ) 仕様」に適合していることが確認されています。

## 著作権について

- あなたが本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。また、著作者の許可なく、取り込んだ映像・画像・音声に変更・切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうことは禁じられています。
- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されております。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機の保証条件は、同梱の当社所定の保証書の規定をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、本機以外には使用できません。

- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご容赦ください。
- CD-ROMや音楽CDからのコピーの作成およびその利用にあたっては、オリジナルCDの仕様許諾条件および著作権法を遵守してください。
- 各種サービスは、都合によりソニーおよび提供者の判断にてご提供を中止・中断する場合があります。その場合、対象ソフトウェアまたは対象ソフトウェアの一部機能がご使用いただけなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

## 国際エネルギースタープログラム について

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象商品に関する基準を満たしていると判断します。



国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっております。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各国の間で統一されています。

## 充電式電池の収集・リサイクルについて

---

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。



### Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：  
社団法人電池工業会  
ホームページ：<http://www.baj.or.jp>

## 使用済みコンピュータの回収について

---



### リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。

詳細はソニーのホームページ  
<http://www.sony.co.jp/pcrecycle/>  
をご参照ください。

### 個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」画面上部 **バイオの使いかた** のタブをクリックし、画面左側にある[ご注意/その他]→[その他]→[使用済みコンピュータの回収について]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

### 事業者のお客様へ

事業で(あるいは、事業者が)ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、  
<http://www.sony.co.jp/pcrecycle/>より、事業者向けのページをご覧ください。

この商品はグリーン購入法における判断基準を満たしています。



この説明書は、本文に100%古紙再生紙とVOC(揮発性有機化合物)ゼロ植物油型インキを使用しています。

## この説明書の説明図や画面について

---

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。特に指示のない限り、本文中の説明図にはVGN-U70Pを使用しています。



## 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることもあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

### 安全のための注意事項を守る

12～19ページの注意事項をよくお読みください。

製品全般の注意事項が記載されています。

### 故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

### 万一異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したとき



- ① 電源を切る
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリーを取りはずす
- ③ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

### データはバックアップをとる

ハードディスク内の記録内容は、バックアップをとって保存してください。ハードディスクにトラブルが生じて、記録内容の修復が不可能になった場合、当社は一切その責任を負いません。

## 警告表示の意味

この説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



注意



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



指示



スラグをコンセントから抜く

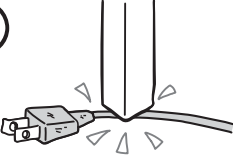
**危険** 火災 感電  
次の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

## 内部に水や異物を入れない



水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

## 電源コードを傷つけない



電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみこんだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

## 内部をむやみに開けない



本機および付属の機器（ケーブルを含む）は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

## 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない



上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。この説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

## 指定のACアダプタ以外は使用しない



火災や感電の原因となります。

## ひざの上で長時間使用しない



長時間使用すると本機の背面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

## 運転者は走行中に操作しない

---



指示

本機を車両走行中には使用しないでください。わき見運転により事故の原因となります。また、歩きながらお使いになるときは、周囲の状況に気を配り、安全にお使いください。

## 本機は日本国内専用です

---



指示

本機は国内専用です。海外などで使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

## コネクタ(ネットワーク/LAN)コネクタに指定以外のネットワークや電話回線を接続しない

---



禁止

付属のディスプレイ/LANアダプタやポートリプリケーターに次のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。

特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

また、付属のディスプレイ/LANアダプタやポートリプリケーターをお使いになるときは、職場などのネットワーク管理者にご相談ください。

## 落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

---



禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電を防ぐために電源プラグを抜いてください。また、雷が鳴りだしたら、本機には触らないでください。

## 本機を付属の保護ポーチに入れた状態で使用しない

---



禁止

内部に熱がこもり、異常な発熱、発火、やけどにつながるおそれがあります。



## 警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

### 満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

---



禁止

付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

### 心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離して使用する

---



禁止

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

### 病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

---



禁止

電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

### 航空機内ではワイヤレス機能を使用しない

---



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

### 本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

---



禁止

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

## ⚠ 警告

次の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

### ディスプレイ画面を長時間続けて見ない



禁止

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。

ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

### キーボードを使いすぎない



禁止

キーボードやポインティング・デバイスなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。

キーボードやポインティング・デバイスを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

### 大音量で長時間つづけて聞きすぎない



禁止

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

## ⚠ 注意

次の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の商品に損害を与えたりすることがあります。

### ぬれた手で電源プラグにさわらない



ぬれ手禁止

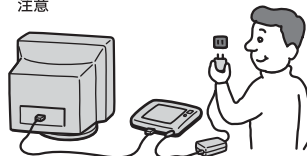


ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

### 接続するときは電源を切る



注意



ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

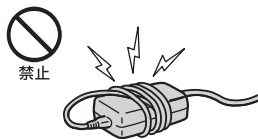
### 指定された電源コードや接続ケーブルを使う



注意

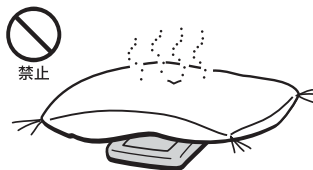
この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

## 電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない



断線により発熱の原因となることがあります。

## 排気口、吸気口をふさがない



排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物(じゅうたんや毛布など)の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

## 排気口からの排気に長時間あたらない



本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

## 通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない



長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

## 本機やACアダプタを布や布団などでおった状態で使用しない



熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

## 安定した場所に置く



ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

## 本機の上に乗らない、重いものを載せない



壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

## お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



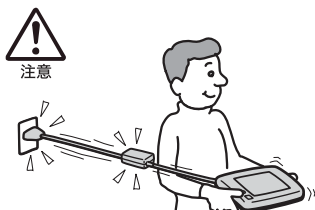
プラグをコンセントから抜く



電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



## 移動させるときは、電源コード や接続ケーブルを抜く



接続したまま移動させると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

また、本機を落とさないようにご注意ください。

## コネクタはきちんと接続する



- コネクタの内部に金属片を入れないでください。  
ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、ピンとピンがショートして、火災の原因となります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

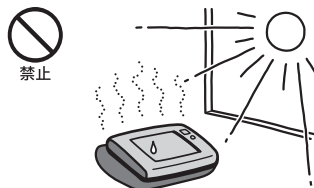
## 長時間使用しないときは電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

## 直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない



内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

## 液晶画面に衝撃を与えない



重い物をのせたり、落としたりしないでください。

液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

## 本機に強い衝撃を与えない



故障の原因となることがあります。

## ストラップを持って持ち運ばない、振り回さない



禁止

付属のストラップを持って持ち運んだり、振り回したりしないでください。本体に衝撃を与えたり、落としたりすると故障やけがの原因となります。

本機を手を持って使用する場合は、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けたストラップは手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。

また、ストラップは首にかけないでください。

## キーボード開閉時に折りたたみ部分に指を入れない



注意



折りたたみキーボードの開閉時に、スライド部分や発生する隙間に指をはさみ、けがの原因となることがあります。

## 電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、次の注意事項を必ずお守りください。

### ⚠危険

- 指定された充電方法以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解しない。電子レンジやオープンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリーに衝撃を与えない。落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリーから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属または指定された別売りのバッテリーをご使用ください。
- 以下のバッテリーを使用した場合の安全性は保証できません。
  - 一本機に付属、または指定された別売りのバッテリー以外を使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリーを使用した。

### ⚠警告

バッテリーを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

## **使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリーが熱くなることがあります**

---

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

## **本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは**

---

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリーを取りはずしてください。



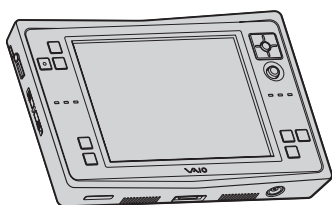
はじめに



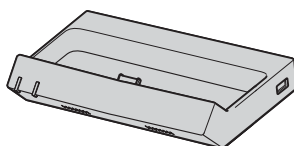
# 付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。  
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

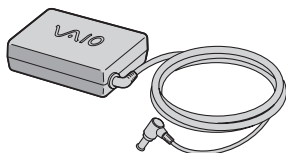
## □ パソコン本体



## □ ポートリプリケーター

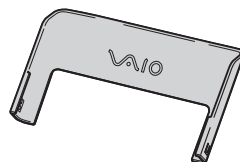


## □ ACアダプタ

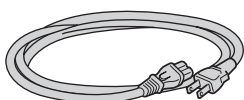


## □ ホルダ

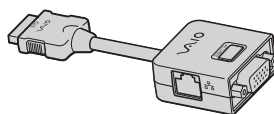
ポートリプリケーターをお使いになるときは、ホルダを取り付けてください。(36ページ)



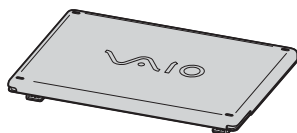
## □ 電源コード



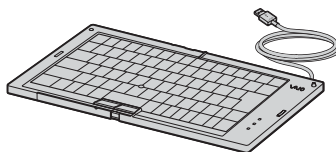
## □ ディスプレイ/LANアダプタ\*1



## □ バッテリー



## □ 折りたたみキーボード

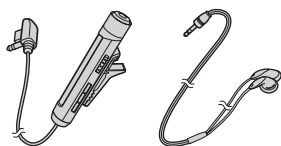


## □ 予備用キャップ(2)\*2



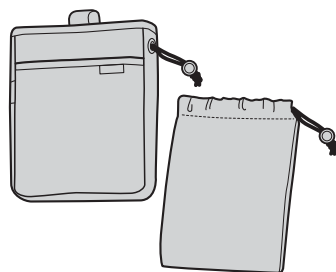
## □ リモコン\*3とヘッドホン

お買い上げ時は、イヤープース(Mサイズ2)が装着されています。



## □ 保護ポーチ(本体用、キーボード用)

保護ポーチのご使用については、138ページをご覧ください。

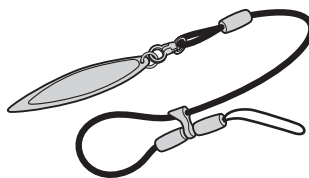


## □ イヤープース(Sサイズ2、Lサイズ2)\*4



## □ ストラップとスタイラス

本機のストラップホルダーに取り付けます。取り付けかたは、30ページをご覧ください。スタイラスの使用方法は、72ページをご覧ください。



- \*1 使用方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[接続/拡張]→[外部ディスプレイ]、[液晶プロジェクタ]、[ネットワーク(LAN)]の下にある項目をクリックして表示される情報をご覧ください。
- \*2 使用方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン]→[折りたたみキーボード/ポインティング・デバイス]→[ポインティング・デバイスを使う]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- \*3 使用方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[リモコン/ヘッドホン]→[リモコンで操作する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。
- \*4 使用方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[リモコン/ヘッドホン]→[リモコン/ヘッドホンを準備する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

取扱説明書

「Microsoft® Windows® XP Home Edition」ファースト ステップ ガイド (VGN-U50のみ)

VAIOカスタマー登録・保証書お申込書

バイオ サービス・サポートのご案内

VAIOカルテ

ソフトウェア使用許諾契約書

その他パンフレット類

大切な情報が記載されている場合があります。必ずご覧ください。

**ヒント**

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(142ページ)をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。  
詳しくは「リカバリについて」(109ページ)をご覧ください。



# 本機のスタイルについて

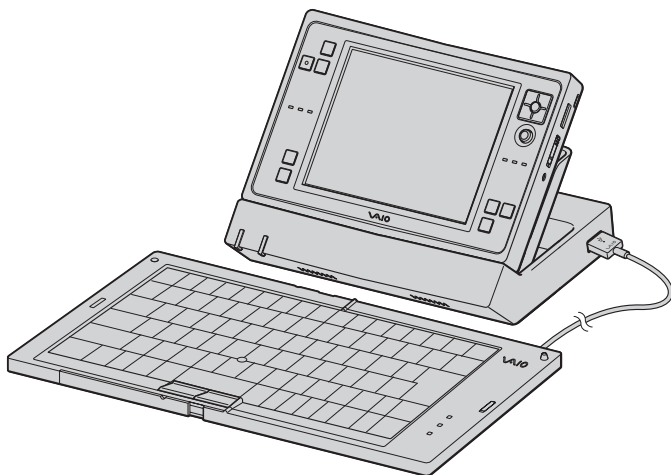
本機には使用する目的に応じた3種類の「スタイル」があります。

本機を手を持って使用する場合、ストラップを本機右側面(31ページ)や左側面(30ページ)のストラップホルダーに取り付けてください。

## デスクトップ・スタイル

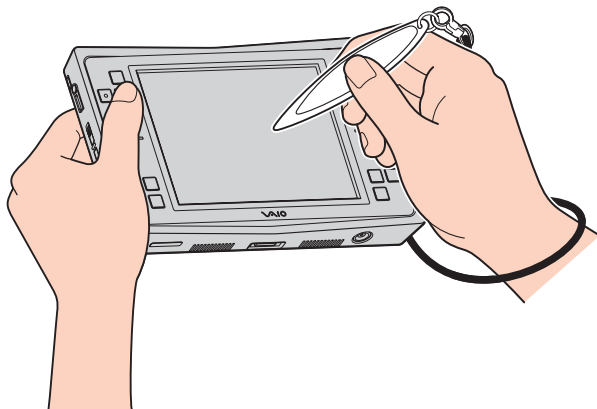
本機をパーソナルコンピュータとして机の上などで使用するときのスタイルです。

本機を付属のポートリプリケーターに取り付け(68ページ)、折りたたみキーボードをポートリプリケーターにつなぎます(67ページ)。



## モバイルグリップ・スタイル

本機を横に持って操作するスタイルです。付属のスタイラスを使って、文字を入力したり(75ページ)、ソフトウェアを実行することができます。

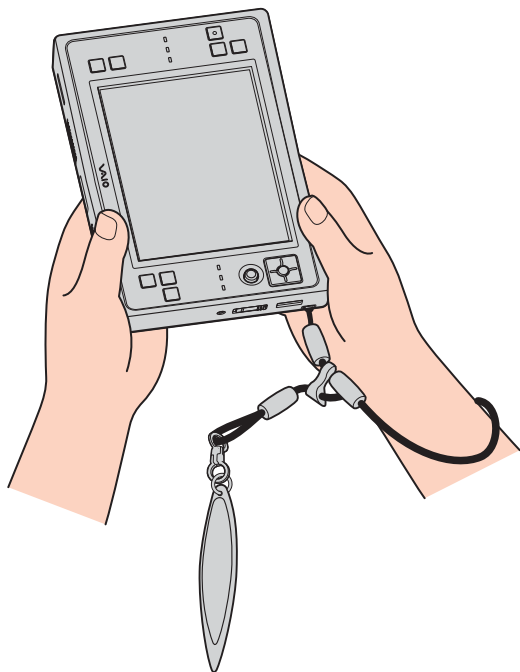


## パーティカル・スタイル

90度回転させた本機を持って操作するスタイルです。

Webページなどの閲覧に適しています。

付属のスタイラスを使って、文字を入力したり(75ページ)、ソフトウェアを実行することもできます。



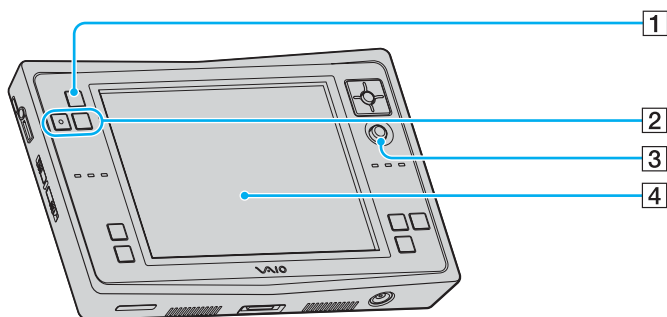
### ！ご注意

- 本機下面の吸気口(33ページ)や上面の排気口(32ページ)を指などでふさがないようにご注意ください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり、低温やけどや火災、故障の原因となります。
- 本機の故障の原因となるため、以下の項目にご注意ください。
  - モバイルグリップ・スタイルやパーティカル・スタイルで使用するときは、付属のストラップを手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
  - 本機に強い衝撃や振動を与えないようにしてください。
- 使用状況によっては、本機表面やバッテリーが熱くなる場合があります。そのまま長時間使用すると、低温やけどの原因となるおそれがありますのでご注意ください。
- モバイルグリップ・スタイルやパーティカル・スタイルで長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。これらのスタイルで使用中に体の一部に不快感や痛みを感じた場合は、本機の使用をやめて休息してください。
- 付属のストラップを首からかけないでください。

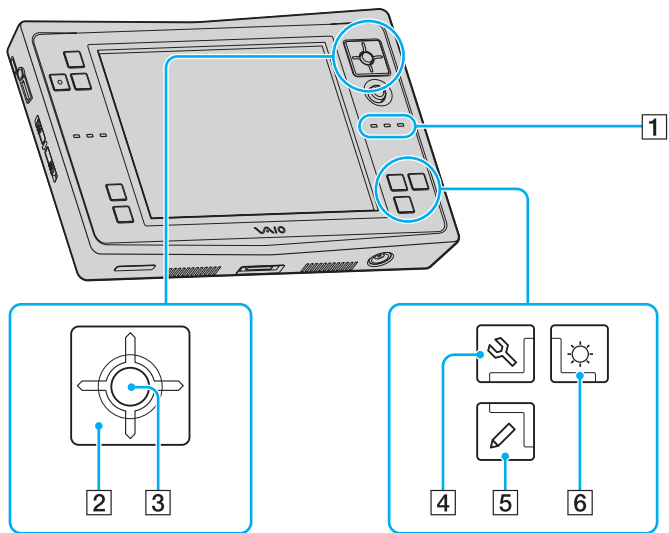
# 各部の説明

詳しい説明は、( )内のページ、または「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

## 本機正面



- 1 センターボタン (78ページ)**  
マウスのホイールに相当します。
- 2 左/右ボタン (78ページ)**  
マウスの左/右ボタンに相当します。
- 3 マルチポインター (78ページ)**  
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。
- 4 タッチパネル式液晶ディスプレイ (72、176ページ)**  
以降、液晶ディスプレイまたはタッチパネルと称します。



**1 内蔵スピーカー**

**2 上下左右カーソルキー (80ページ)**

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。本機の上下左右カーソルキーは、付属の折りたたみキーボード上の矢印キーと同じ機能が実行できます。

**3 Enterボタン**

付属の折りたたみキーボード上のEnterキーと同じ機能が実行できます。

**4 (ファンクションセクター)ボタン**

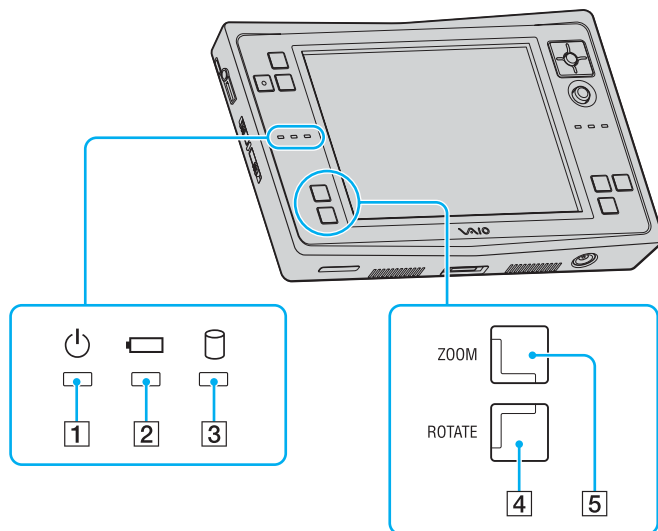
「VAIO Function Selector」を起動します。  
 音量や液晶ディスプレイの明るさ、外部ディスプレイへの出力切り替えなどの操作ができます。  
 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン]→[ボタン]→[音量、輝度、外部出力先を設定する(ファンクションセクターボタン)]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

**5 (NextText)ボタン (76ページ)**

「NextText」ソフトウェアを起動します。

**6 (輝度)ボタン**

液晶ディスプレイの明るさを変更します。



**1 冫(パワー)ランプ(45ページ)**

電源が入ると点灯(グリーン)します。  
スタンバイモード時には点滅(アンバー(赤褐色))します。

**2 𠂆(バッテリー)ランプ**

バッテリーの動作状態をお知らせします。

**3 𠂇(ハードディスク) アクセスランプ**

ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

**4 ROTATE(ローテート)ボタン(176ページ)**

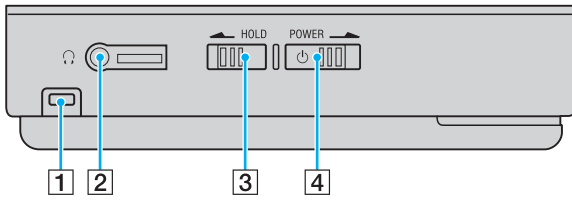
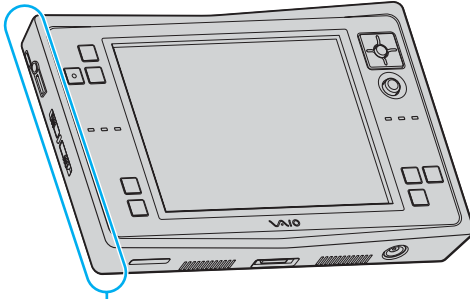
画面を90度回転します。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[本機のスタイルについて]→[パーティカル・スタイルで使う]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

**5 ZOOM(ズーム)ボタン(82ページ)**

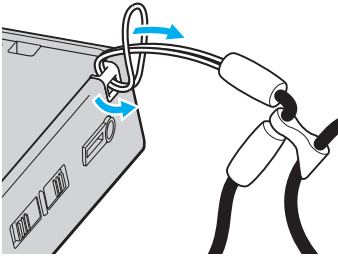
画面を拡大、縮小します。

## 本機左側面



### 1 ストラップホルダー(25,31ページ)

付属のストラップを取り付けます。



#### ！注意

- 本機を手にとって操作するときは、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けしたストラップを手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
- 取り付けした付属のストラップは、首にかけないでください。
- 取り付けした付属のストラップ部分を持って、本機を移動させないでください。衝撃を加えたり、落としたりすると本機の故障の原因となります。

### 2 〇(ヘッドホン)コネクタ

付属のヘッドホンやスピーカーをつなぎます。

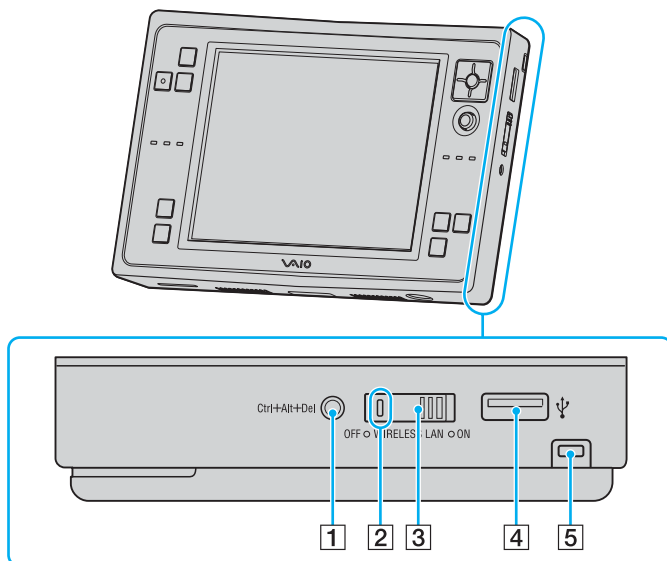
### 3 HOLD(ホールド)スイッチ(157ページ)

誤ってボタンが押されたり、画面がクリックされることを防ぎます。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン]→[本機の誤動作を防止する(HOLD(ホールド)スイッチ)]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

### 4 〽POWER(パワー)スイッチ(45ページ)

## 本機右側面



### 1 Ctrl+Alt+Delボタン

付属の折りたたみキーボード上でCtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押したときと同じ機能が実行できます。

### 2 WIRELESS LANランプ

ワイヤレスLANが使える状態のときに点灯します。

### 3 WIRELESS LANスイッチ

ワイヤレスLANの機能をオン/オフします。

### 4 USBコネクタ (67ページ)

付属の折りたたみキーボードやUSB規格に対応した機器をつなぎます。

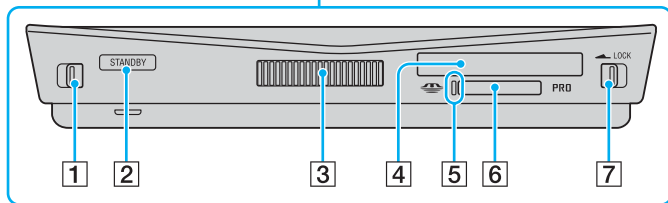
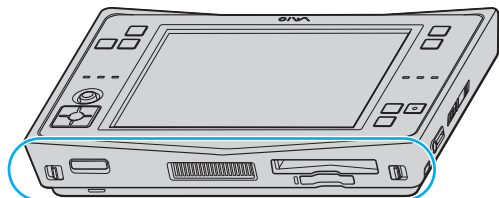
### 5 ストラップホルダー (25、30ページ)


付属のストラップを取り付けます。

#### ！ご注意

- 本機を手にとって操作するときは、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けたストラップを手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
- 取り付けた付属のストラップは、首にかけないでください。
- 取り付けた付属のストラップ部分を持って、本機を移動させないでください。衝撃を加えたり、落としたりすると本機の故障の原因となります。

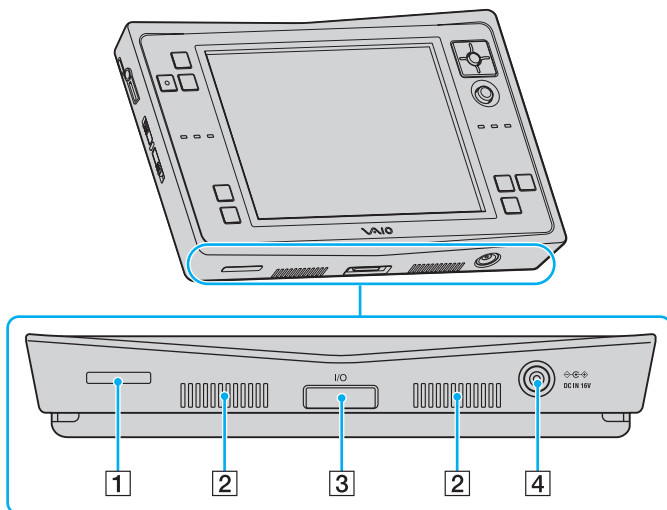
## 本機上面



- 1 リリースレバー**
- 2 STANDBY(スタンバイ)ボタン**  
省電力動作モードにします。
- 3 排気口**
- 4 CF(コンパクトフラッシュ)スロット**  
コンパクトフラッシュを挿入します。
- 5  (メモリースティック) アクセスランプ**  
“メモリースティック”にアクセスしているときに点灯します。
- 6 メモリースティックスロット**  
“メモリースティック”を挿入します。
- 7 LOCK(ロック)レバー(42ページ)**



## 本機下面



### 1 IDラベル

型名が記載されています。

### 2 吸気口

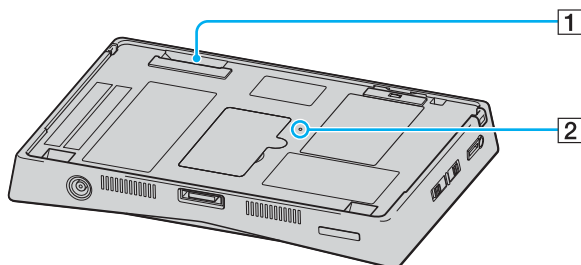
### 3 I/Oコネクタ

付属のディスプレイ/LANアダプタを使って、外部ディスプレイや液晶ディスプレイ、LANケーブルをつなぎます。また、ポートリプリケータを接続します。(68ページ)

### 4 ⚡ DC IN 16V コネクタ (44ページ)

ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

## 本機背面

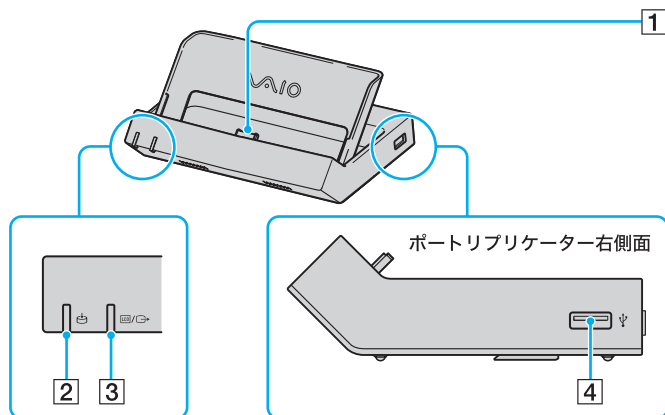


### 1 バッテリコネクタ

バッテリーコネクタ部には、クリップなどの金属物を接触させないようにご注意ください。

### 2 リセットスイッチ (159ページ)

# ポートリプリケーター



## 1 I/Oコネクタ

本機下面のI/Oコネクタとつなぎます。

## 2 (ダウンロード)ボタン (69ページ)

「VAIO Video Download Manager」ソフトウェアを起動します。

ポートリプリケーターに本機が正しく装着されると、ボタンがグリーンに点灯します。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[データのやりとり/保存]→[ビデオコンテンツをダウンロードする(「VAIO Video Download Manager」ソフトウェアを使う)]→[「VAIO Video Download Manager」ソフトウェアでできること]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## 3 LCD / (外部出力)ボタン (69ページ)

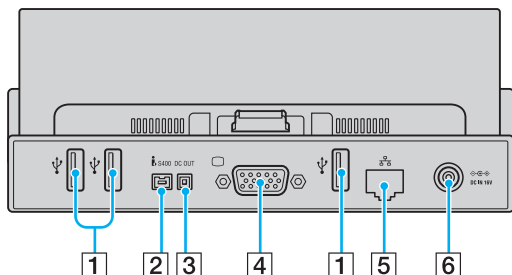
本機に接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。

ポートリプリケーターに本機が正しく装着されると、ボタンがグリーンに点灯します。

## 4 (USB)コネクタ (67ページ)

付属の折りたたみキーボードやUSB規格に対応した機器をつなぎます。

## ポートリプリケーター後面



### 1 USB (USB) コネクタ (67ページ)

付属の折りたたみキーボードやUSB規格に対応した機器をつなぎます。

### 2 i.LINK (i.LINK) コネクタ

i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

### 3 バイオノート関連製品専用DC OUT (電源供給) コネクタ

バイオノート専用ドライブのみ接続してください。

バイオノート専用ドライブ以外のドライブを接続すると、本機の故障の原因となる場合があります。

以降、専用DC OUTコネクタと略します。

### 4 □ (モニタ) コネクタ

外部ディスプレイや液晶プロジェクタをつなぎます。

### 5 ㊦ (ネットワーク/LAN) コネクタ (95ページ)

LANケーブルなどをつなぎます。

LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

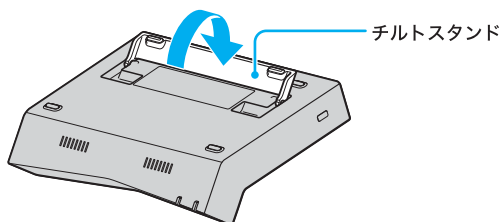
### 6 ㊦ DC IN 16Vコネクタ (44ページ)

ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

## ヒント

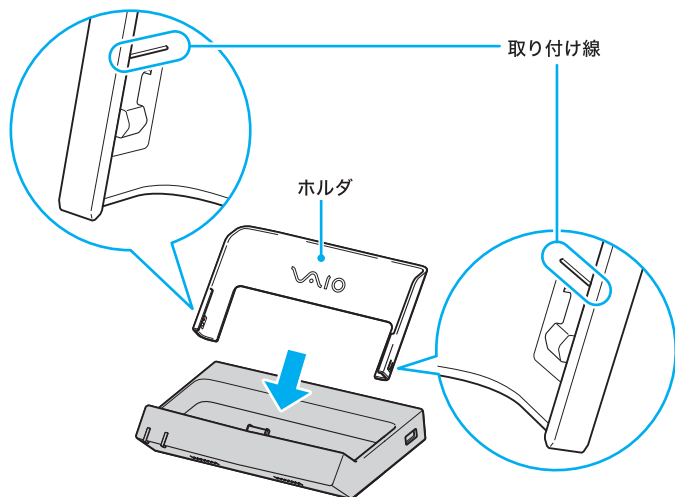
ポートリプリケーターの底面にはチルトスタンドが付いています。

チルトスタンドを立てることで角度を変えることができます。

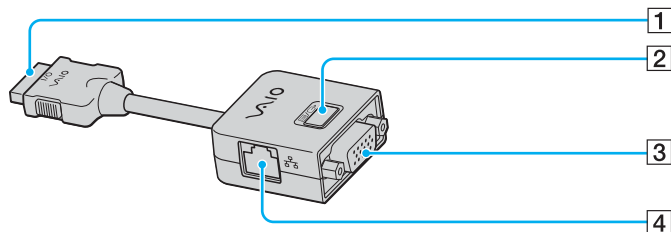


## ホルダを取り付けるには

ポートリプリケーターをご使用になるときは、必ずホルダを取り付けてください。ホルダが、左右の取り付け線まできちんと入っていることを確認してください。取り付ける際は、あまり無理な力を加えないようご注意ください。



## ディスプレイ/LANアダプタ



### 1 I/Oコネクタ

本機下面のI/Oコネクタにつなぎます。

### 2 LCD / (外部出力) ボタン

本機に接続した外部ディスプレイなどと、本機の液晶ディスプレイの表示を切り替えます。

### 3 モニタコネクタ

外部ディスプレイや液晶プロジェクタをつなぎます。

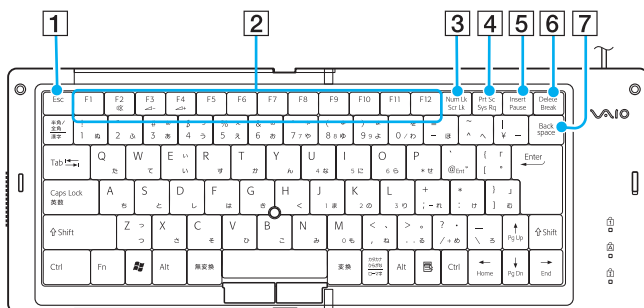
### 4 ㊦ (ネットワーク/LAN) コネクタ (95ページ)

LANケーブルなどをつなぎます。

LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

# キーボード

「キーボードを取り付けるには」(67ページ)や各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。




## 1 Esc(エスケープ)キー

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

## 2 ファンクションキー

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

## 3 Num Lk(ナムロック)キー

テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの右にある  (Num Lock) ランプが点灯します。もう1度 Num Lkキーを押すと、消灯します。

## 4 Prt Sc(プリントスクリーン)キー

表示されている画面全体をクリップボードに取り込みます。Altキーを押しながらこのキーを押すと、選択されているウィンドウだけを取り込みます。取り込んだ画像は「ペイント」などのソフトウェアで保存、加工、印刷できます。

## 5 Insert(インサート)キー

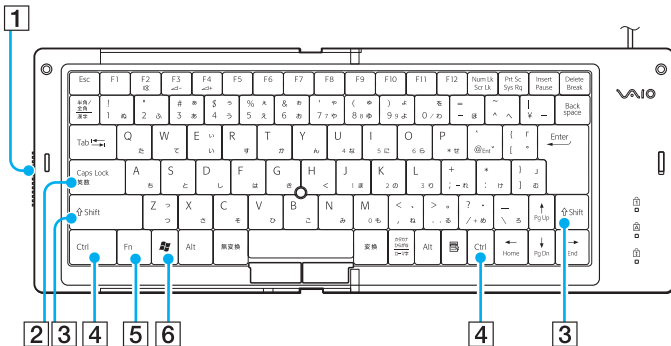
文字入力モードを切り替えます。文字を入力するとき、このキーを押すごとにカーソルの位置に文字を挿入するか、カーソルの位置から文字を上書きするか切り替えることができます。使用するソフトウェアによっては働かない場合があります。

## 6 Delete(デリート)キー

カーソルの右側の文字を消します。

## 7 Backspace(バックスペース)キー

カーソルの左側の文字を消します。



## 1 ロックレバー(66ページ)

折りたたみキーボードを閉じた後に、ロックレバーをLOCK側にずらして固定します。

## 2 Caps Lock(キャプスロック)キー

Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの右にある **Ⓐ** (Caps Lock) ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

もう1度、Shiftキーを押しながらこのキーを押すと、**Ⓐ** (Caps Lock) ランプが消え、アルファベットの小文字入力に戻ります。

## 3 Shift(シフト)キー

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。また、文字キーと他の機能キーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

## 4 Ctrl(コントロール)キー

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

例)Ctrlキーを押しながら、Sキーを押す。

メニューから「保存する」を選ばずに、ファイルを保存できます。

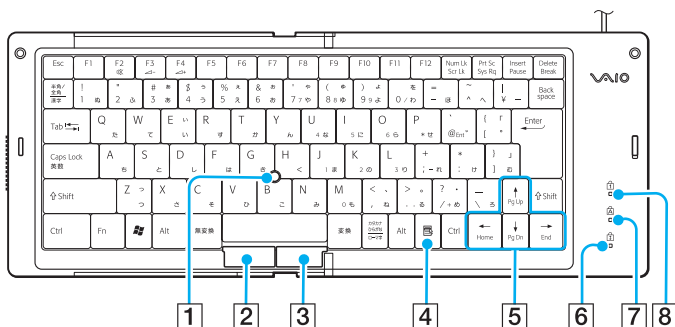
## 5 Fn(エフエヌ)キー

キーボード上で紫色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

## 6 Windows(ウィンドウズ)キー

Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

他のキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



**1** マルチポインター

マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

**2** 左ボタン

マウスの左ボタンに相当します。

**3** 右ボタン


マウスの右ボタンに相当します。

**4** アプリケーションキー

ポインティング・デバイスの右ボタンを押したときと同じ動きをします。

**5** 矢印キー

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

**6**  (Scroll Lock) ランプ

Fnキーを押しながら Scr Lkキーを押して、Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

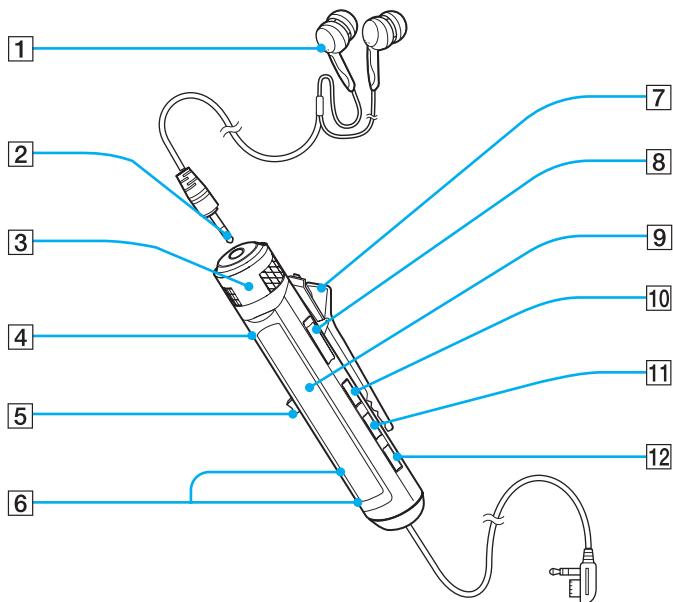
**7**  (Caps Lock) ランプ

Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

**8**  (Num Lock) ランプ

Num Lkキーを有効にすると点灯します。

# リモコン/ヘッドホン



- 1 ヘッドホン**
- 2 ステレオミニプラグ**
- 3 VOL(音量) +, - つまみ**  
つまみを+または-側に回して音量を調節します。
- 4 ■(停止) ボタン**  
コンテンツの再生を停止します。
- 5 ジョグレバー (◀◀◀▶▶▶/ENT▶▶▶)**  
コンテンツの再生、一時停止、頭出しや早送り/早戻しをします。  
また、Do VAIOでメニュー画面を操作します。
- 6 ◀ (コンテンツブラウズ) +, - ボタン**  
Do VAIOでメニュー画面を操作します。
- 7 クリップ**
- 8 HOLD (誤作動防止) スイッチ**  
誤ってボタンが押されることを防ぎます。
- 9 表示窓**  
バッテリー残量やコンテンツの情報などを表示します。
- 10 DISPLAY ボタン**  
再生しているコンテンツに関する情報(曲名、アルバム名、残り時間など)を表示します。
- 11 P MODE/◀ (再生モード/リピート) ボタン**  
再生方法を設定します。
- 12 SOUND ボタン**  
メガベースをオン/オフします。



# 本機をセットアップする

# 電源を入れる

次の手順に従って、本機の電源を入れてください。

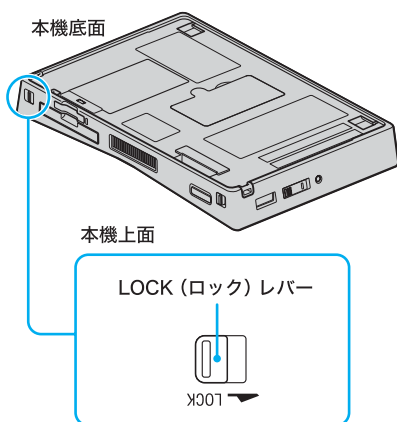
## ！ご注意

安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリーおよびACアダプタをご使用ください。

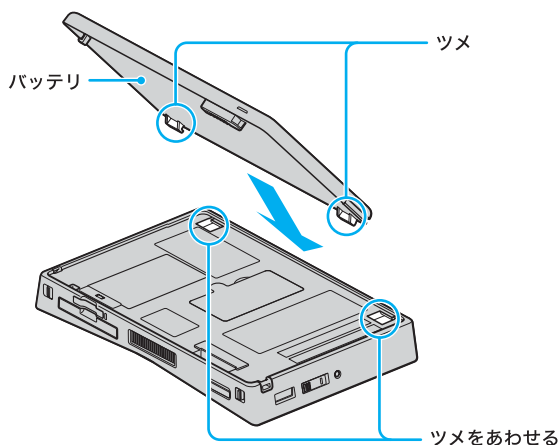
## 1 バッテリーを取り付ける。

停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリーを本機背面に取り付けます。

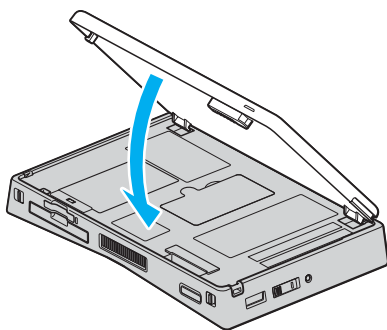
- ① 本機上面のLOCK(ロック)レバーが外側(矢印と逆方向側)にあることを確認する。



- ② 本機背面の穴にバッテリーにある2か所のツメをあわせる。  
バッテリーのツメを下向きにして斜めにツメをあわせてください。



- ③ バッテリーを矢印の方向に倒す。  
正しく取り付けられると、「カチッ」と音がします。



- ④ LOCK(ロック)レバーを内側(矢印方向側)へずらして、バッテリーを固定する。

**！ご注意**

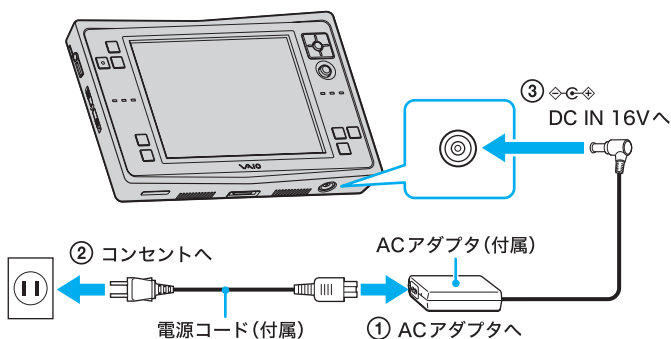
- バッテリーがはずれると、作業中のデータが失われたり、バッテリー破損の原因となります。
- 正しくバッテリーを取り付けていない場合は、本機をポートリプリケーターに取り付けることができません。

## 2 AC電源をつなぐ。

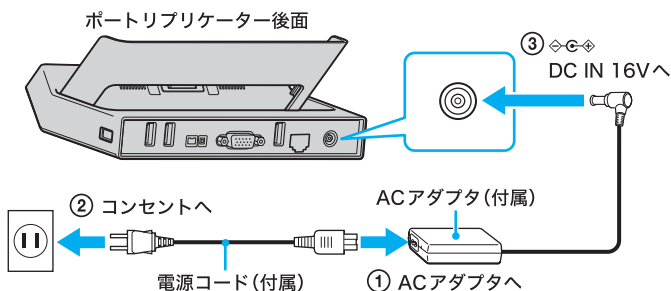
本機と壁のACコンセントを接続します。

- ① 電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。
- ② 電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。
- ③ ACアダプタのプラグを、本機下面の  $\diamond \text{c} \diamond$  DC IN 16V コネクタに差し込む。

本機につなぐには



ポートリプリケーターにつなぐには



### 【重要】

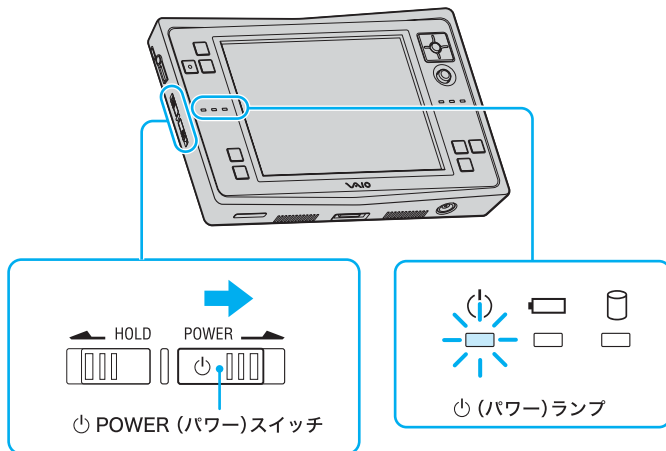
ポートリプリケーターに本機を取り付け/取りはずしする場合は、68ページをご覧ください。

### 3 ①POWER(パワー)スイッチを矢印の方向にずらし、①(パワー)ランプが点灯(グリーン)したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

#### ！ご注意

①POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにすると、電源は切れてしまいます。①(パワー)ランプが点灯したら指を離してください。



本機の電源をはじめて入れる場合は、Windowsのロゴの画面が表示され、しばらくして「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されます。

「Windowsを準備する」(49ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

#### ！ご注意

安全のため、バッテリーでご使用中に本機の温度が上がりすぎると、自動的に現在作業中の状態をハードディスクに保存して、本機の電源を切ります(休止状態)。ただし、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中止することができないために、この機能が正しく働かないことがあります。休止状態に移行せずにさらに温度が上昇すると、本機の電源が切れて、作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

保障温度以上の環境になるため、付属の保護ポーチに入れた状態で本機をご使用にならないでください。

#### ！ご注意

- 「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。  
途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 本機を安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や第三者から本機を守るために「セキュリティについて」(104ページ)をご覧ください。

## ヒント

本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ<sup>\*1</sup>)。元の状態に戻すには、以下の方法があります。

- STANDBY(スタンバイ)ボタンを押す
- 本機のEnterボタンや上下左右カーソルキーのいずれかのキーを押す
- ⏻POWER(パワー)スイッチを矢印の方向に一瞬ずらす
- 付属のリモコンを取り付けている場合は、ジョグレバーを押し込む

また、バッテリーでご使用中に約1時間操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります(休止状態<sup>\*1</sup>)。元の状態に復帰させるには、STANDBY(スタンバイ)ボタンを押すか⏻POWER(パワー)スイッチ<sup>\*2</sup>を矢印の方向に一瞬ずらしてください。

<sup>\*1</sup> 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリー/省電力]→[省電力]→[本機を使っていないときに消費電力をおさえる(省電力動作モード)]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

<sup>\*2</sup> ⏻POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにすると、電源は切れてしまいます。⏻(パワー)ランプが点灯したら指を離してください。

## バッテリーを上手に使うには

本機をバッテリーで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリーを長持ちさせることができます。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリー/省電力]→[バッテリー]→[バッテリーを上手に使うヒント]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする  
お買い上げ時の設定は明るくなっています。液晶ディスプレイは、暗くして使用するほうがバッテリーを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う  
こまめにスタンバイや休止状態にすることで、バッテリーを長持ちさせることができます。また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。

## キーボードを取り付けるには

「Windowsを準備する」(49ページ)でWindowsを使うための準備をする際に、キーボードが必要になります。

付属の折りたたみキーボードを本機またはポートリプリケーターの $\Psi$  (USB) コネクタに接続してください。

折りたたみキーボードについて詳しくは、「キーボードを使うには」(66ページ)をご覧ください。また、折りたたみキーボードをポートリプリケーターに取り付ける場合は、「ポートリプリケーターに取り付ける/取りはずす」(68ページ)をご覧になり、本機とポートリプリケーターを接続してからキーボードを取り付けてください。

## 電源を切るには

次の手順に従って、本機の電源を切ります。

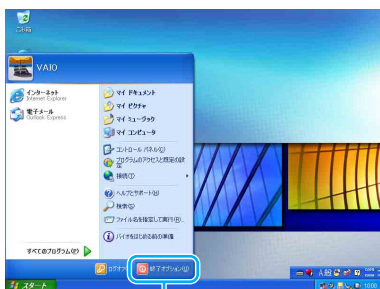
### ！ご注意

必ず次の手順に従って電源を切ってください。手順に従って電源を切らないと本機の故障の原因となったり、作成した文書などのファイルが使えなくなることがあります。

## 1 [スタート]ボタンをクリックする。

「スタート」メニューが表示されます。

## 2 メニューの[終了オプション]をクリックする。



ここをクリックする。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されます。


### ヒント

画面は実際のものとは異なる場合があります。

### 3 [電源を切る]をクリックする。



ここをクリックする。

数秒後に本機の電源が自動的に切れ、 (パワー) ランプ(グリーン)が消灯します。

#### ヒント

- 移動するときなどしばらく作業を中断するときや、翌日まで本機を使わないときなどは、休止状態を使うと便利です。
- **STANDBY**(スタンバイ) ボタンを押すと、作業中の状態を保持したまま一時的に省電力状態にできます。再度 **STANDBY**(スタンバイ) ボタンを押すと、すぐに起動するので、電源を切った場合より早く復帰できます。



# Windowsを準備する

本機を使う前に、Windowsを使うための準備が必要です。

Windowsが使える状態になると、本機に付属のソフトウェアやいろいろな機能も使えるようになります。次の手順に従って、Windowsを使う準備をします。

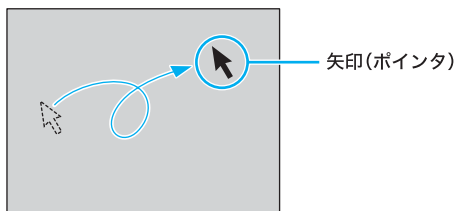
## ポイント

- 停電や誤ってAC電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、次の操作を行う前に付属のバッテリーを本機に取り付けてください。  
取り付けかたについては「電源を入れる」(42ページ)をご覧ください。
- 「タッチパネルを使う」(72ページ)や「タッチパネルで文字を入力する(「NextText」ソフトウェアを使う)」(75ページ)では、タッチパネルや文字入力の方法について説明しています。そちらもあわせてご覧ください。

## 1

「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されたら、画面右下にある[次へ]をクリックする。

マルチポインターを指で押し、[次へ]の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押しですぐに離します。これを「クリックする」と言います。

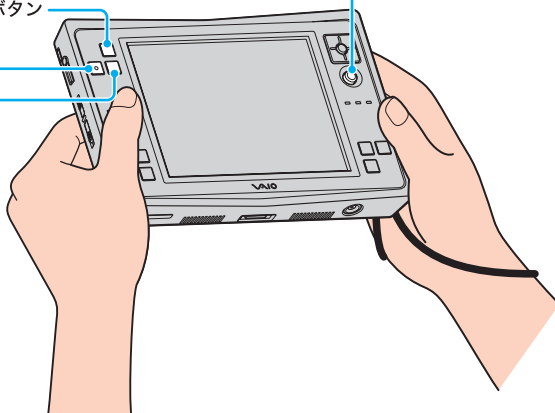


マルチポインター

センターボタン

左ボタン

右ボタン






ここをクリックする。

「付属の折りたたみキーボードを接続してください」画面が表示されます。

## 2

付属の折りたたみキーボードを本機の  (USB) コネクタに接続し、Enter キーを押す。

「タッチパネルを補正します」画面が表示されます。

## 3

付属のスタイラスで画面を1回タップする。

### ポイント

スタイラスで画面をタッチしてすぐに離すことをタップと言います。

## 4

タッチパネルの補正画面が表示されたら、「×」の中心を正確にタップする。

タップする「×」印は、全部で4か所に表示されます。

タップが終わると「タッチパネルの補正」画面が表示されます。

### ポイント

タッチパネルの補正は、Windowsのセットアップ後にも行えます。

その場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[タッチパネル]の順にポインタをあわせ、[タッチパネルの補正]をクリックします。

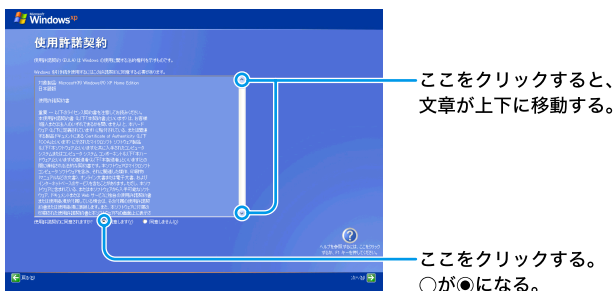
## 5

[次へ]をクリックする。

「使用許諾契約」画面が表示されます。

## 6

画面に表示された内容を読み、内容に同意するときは[同意します]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。



### ！注意

[同意しません]の○をクリックすると、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されます。

## 7

必要な場合はコンピュータ名を変更し、[次へ]をクリックする。

コンピュータ名は、本機をネットワークに接続して使用する場合にコンピュータを識別するために必要です。「このコンピュータの名前」の欄に自動的に表示されますが、必要な場合は認識しやすい名前に変更してください。

また、コンピュータにわかりやすい説明をつけることもできます。その場合は「コンピュータの説明」欄に入力してから[次へ]をクリックしてください。

Windows XP Home Edition搭載モデルをお使いの場合は、手順10へ進んでください。

## 8

「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、「管理者パスワード」と「パスワードの確認入力」の欄にパスワードを入力し、[次へ]をクリックする。

## 9

「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示されたら、ネットワーク環境に合わせて設定し、[次へ]をクリックする。

## 10

「インターネットに接続する方法を指定してください。」または「インターネット接続が選択されませんでした。」画面が表示されたら、[省略]をクリックする。

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示されます。

### ポイント

「インターネットに接続する方法を指定してください。」画面でお使いのデバイスの○をクリックして[次へ]をクリックすると、デバイスによってはインターネットへ接続するための設定画面が表示されます。

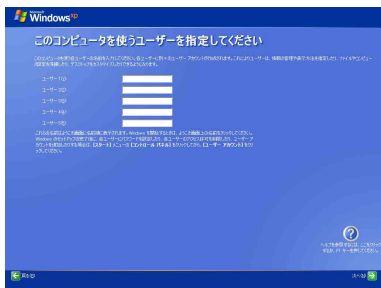
その場合は画面の指示に従って操作してください。

また、インターネットに接続するための設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。詳しくは「インターネットを始める」(86ページ)をご覧ください。

## 11

[いいえ、今回はユーザー登録しません]の○をクリックして●にし、[次へ]をクリックする。

「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されます。



### ポイント

「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面で、[はい、今すぐユーザー登録します]を選んで[次へ]をクリックすると、マイクロソフトへのオンライン登録ができます。ただし、オンライン登録するには本機を電話回線に接続しておく必要があります。

インターネットに接続するための設定について詳しくは「インターネットを始める」(86ページ)をご覧ください。

## 12

ユーザーの名前を入力し、[次へ]をクリックする。

複数のユーザーを入力した場合、ここで入力した名前は、本機の電源を入れたときに表示される「ようこそ」画面に表示されます。Windowsを起動するときは、表示された名前をクリックします。Windowsのセットアップ完了後に、使用するユーザーを追加したり、設定を変更することもできます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いかた」タブをクリックし、画面左側にある[コンピュータの基礎を学べるWindows for VAIO]をクリックして表示される情報をご覧ください。

「設定が完了しました」画面が表示されます。

## 13 [完了]をクリックする。

## 14 Windowsの起動後、本機に設定されている日時を確認し、現在の日時に合わせる。

- ① [スタート]をクリックして、[コントロールパネル]→[日付、時刻、地域と言語のオプション]→[日付と時刻]の順にクリックする。  
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。
- ② [日付と時刻]タブをクリックして、「日付」と「時刻」を現在の日時にあわせる。
- ③ [OK]をクリックする。  
日時の設定が有効になります。

これでWindowsが使えるようになりました。

## 「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールする

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」ソフトウェアをお使いになるためには、「Norton AntiVirus」をインストールする必要があります。

次の手順でインストールしてください。

なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

## 1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→ Norton AntiVirus 2004 インストーラ]の順にクリックする。

「ウイルススキャンしますか？」画面が表示されます。

## 2 [はい]をクリックする。

ウイルススキャンが開始されます。

## 3 ウイルススキャンが終了した後、表示されるテキスト画面のをクリックする。

## 4 表示された画面の指示に従って、「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールする。

### 【注意】

「Norton AntiVirus」ソフトウェアのCD-ROMは同梱されていません。  
MSN インスタントメッセージャースキャナは初期状態では機能しません。

## 5 インストール完了の画面が表示されたら、[完了]をクリックする。

「Norton AntiVirus 情報ウィザード」が起動します。  
画面に従って、設定を行います。  
これで「Norton AntiVirus」ソフトウェアが使えるようになりました。

引き続きいろいろな操作をするためには、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックして表示される情報をご覧ください。  
電源の切りかたについては、「電源を切るには」(47ページ)をご覧ください。

### 【注意】

- 本機に付属のOS(Operating System)以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。本機のOSは、「Microsoft® Windows® XP Professional\*」または「Microsoft® Windows® XP Home Edition\*」です。
  - \* この説明書では、WindowsまたはWindows XPと略します。
- デスクトップ画面上にあるアイコンには、一定の期間使用しないと自動的にデスクトップ画面上から削除されるものがあります。Windowsの初回起動時から60日後に、アイコンを削除するかどうかを確認する画面が表示されます。  
その後60日ごとに、使用していないデスクトップ画面上のアイコンが自動的に検索され、削除するかどうかを確認する画面が表示されます。デスクトップ画面上のアイコンを削除しても、ソフトウェア自体は削除されません。

### 【ヒント】

#### 本機を複数のユーザーで使えます

登録したユーザーごとに専用のデスクトップ画面やマイドキュメントが用意され、それぞれのユーザーが自分専用のコンピュータのように使用することができます。  
複数のユーザーでのWindowsの使用について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[コンピュータの基礎を学ぶできるWindows for VAIO]をクリックして表示される情報をご覧ください。

# カスタマー登録する

## VAIOカスタマー登録について

ソニーマーケティング株式会社およびソニー株式会社(以下、「ソニー」)はバイオをご所有のお客様へセキュリティ情報などの必要な情報をお知らせし、充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」を行っていただくことをおすすめしています。ご登録のメリットについては、VAIOホームページ(<http://www.vaio.sony.co.jp/>)をご覧ください。

出荷時点で付属する保証書が提供する製品の保証期間はご購入時から3か月間です。ご登録を行っていただくことで、カスタマー専用デスクから、ご購入日より1年間有効な保証書(「My Sony ID」と「お客様サポート番号」を記載)をお送りします。

なお、保証について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の「バイオの使いかた」タブをクリックし、画面左側にある[ご注意/その他]→[その他]→[保証書とアフターサービス]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」までご連絡ください。詳しくは、本機に付属の「バイオ サービス・サポートのご案内」の「各種お問い合わせ先」をご覧ください。

## VAIOカスタマー登録の方法

次の方法で手軽に登録を行うことができます。

- オンラインで登録  
インターネットに接続して手軽にご登録を行うことができます。
- 付属のお申込書を郵送して登録  
付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」にご記入の上、郵送いただくことでもご登録を行うことができます。  
付属の「VAIOカスタマー登録・保証書お申込書」を使ってお申し込みいただく場合は、「VAIOカスタマーID」を記した保証書をお送りします。その後、次の手順に従って、「My Sony ID」を取得することができます。

## ポイント

- 本機は内蔵モデムを搭載していません。VAIOオンラインカスタマー登録をご利用いただくには、付属のディスプレイ/LANアダプタ、ポートリプリケーター、別売りのモデムカード、PHSカードなどを使ってあらかじめインターネットに接続している必要があります。
- 次の場合を除き、ソニーがお客様の同意なく登録内容を外部へ開示することはありません。ただし、お客様個人を特定できない統計情報はこの限りではありません。
  - お客様にお知らせした使用目的のために、業務を委託する協力会社に開示が必要な場合。  
(ソニーは、当該協力会社に対して、お客様の情報の厳重な管理と使用目的の遵守を徹底します。)
  - 司法機関または行政機関から法的義務を伴う要請を受けた場合。
- 13才より小さいおこさまは、ほごしゃのかたといっしょにとるくしてください。

## ！ご注意

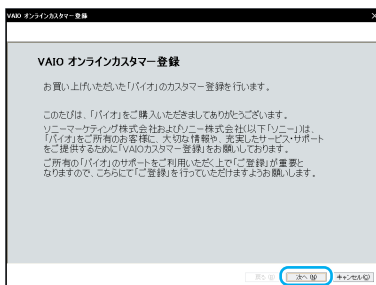
- カスタマー登録するには、あらかじめインターネットに接続できる環境が必要です。
- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。住所などのご登録内容の変更を行うときは、VAIOホームページ内 (<http://www.vaio.sony.co.jp/>) のページ上で、変更手続きが行えます。  
また、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックして変更手続きを行うこともできます。

**1** [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

## ポイント

カスタマー登録をしない、または後でするときは、[キャンセル]をクリックして表示される画面で[終了]をクリックしてください。

**2** [次へ]をクリックする。



ここをクリックする。

「登録手順について」画面が表示されます。



### 3 [次へ]をクリックする。

「ID・パスワードの入力」画面が表示されます。

#### ヒント

1つ前の画面を見たいときは、[戻る]をクリックします。

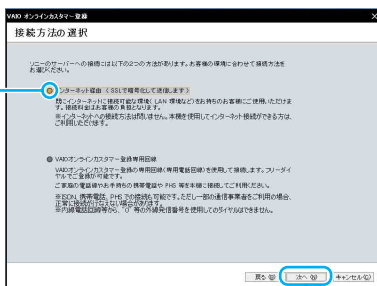
### 4 [次へ]をクリックする。

#### ヒント

本機を含めてバイオをすでに2台以上お持ちの方など、すでに「VAIOカスタマーID」や「My Sony ID」をお持ちの方はIDを入力し、画面の指示に従って操作してください。

### 5 [インターネット経由]の○を●にし、[次へ]をクリックする。

#### ①ここをクリックする。



#### ②ここをクリックする。

「インターネット経由の接続設定」画面が表示されます。

#### ！ご注意

- 外線発信(0発信)はできません。
- 「インターネット経由」を選んでご登録いただく場合、接続料金はお客様の負担となります。
- 本機は内蔵モデムを搭載しておりません。「VAIOオンラインカスタマー登録専用回線」をご利用になるには、本機に付属のディスプレイ/LANアダプタ、ポートリプリケーター、別売りのモデムカード、PHSカードなどが必要です。

#### ヒント

[次へ]をクリックすると、手順6に進む前に「接続デバイスの選択」画面が表示されることがあります。この場合は、通信に使う機器を選び、[次へ]をクリックしてください。

## 6 画面の指示に従って入力し、[次へ]をクリックする。

### ヒント

LANの環境などによっては、「インターネット経由の接続設定」画面でプロキシの設定をする必要があります。プロキシの設定について詳しくは、各法人・団体様のシステム管理者におたずねください。

## 7 インターネットに接続していることを確認し、[問い合わせる]をクリックする。

インターネットに接続して通信が行われ、完了すると「問い合わせ完了」画面が表示されます。

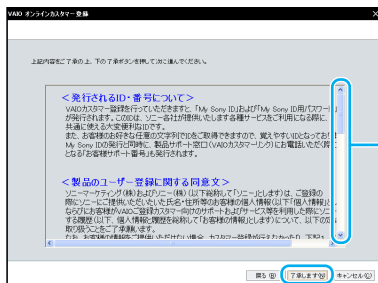
## 8 [次へ]をクリックする。

「VAIO カスタマー登録の特典／VAIO カスタマー登録のご注意」画面が表示されます。

## 9 [次へ]をクリックする。

## 10 スクロールバーをドラッグするか、▲または▼をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容を了承するときは[了承します]をクリックする。

- 1 スクロールバーを操作して文章を表示させる。



- 2 ここをクリックする。

「IDの規約の確認」画面が表示されます。

# 11

スクロールバーをドラッグするか、▲または▼をクリックして、画面に現れた内容をすべて読み、内容に同意するときは[同意する]をクリックする。

## 【ご注意】

[同意しない]をクリックすると、カスタマー登録は完了しません。

# 12

画面の指示に従って入力し、[次へ]をクリックする。

### ① どちらかを選ぶ。

VAIO オンラインストア 登録

お客様氏名の入力

画面の指示に従って、必要事項を入力してください。

■ 登録方法を選択する

個人名で登録  法人・団体名で登録

■ ご登録者のお名前(姓・名)とフリガナを入力してください。

お名前

フリガナ

戻る [次へ] キャンセル

② お名前とフリガナを入力する。

③ ここをクリックする。

# 13

すでに電子メールアドレスをお持ちの方は、電子メールアドレスを入力し、[次へ]をクリックする。

### ① 電子メールアドレスを入力する。

電子メールアドレスをお持ちでない方や電子メールアドレスを教えたくない方は、何も入力せずに [次へ] をクリックする。

電子メールアドレスの入力

ご登録者の電子メールアドレス  
(このチェックボックスにチェックを入れる場合は、必ずご入力ください)

電子メールアドレス

確認のため、もう一度入力してください。

電子メールアドレス

VAIOがいつでも随時発行している、お名前や住所などの登録情報に、以下の種類の電子メールを送信してのご案内や、お名前や住所などの登録情報、ご購入した商品に関するお知らせ、(電子メールアドレスをお持ちの方はご登録ください)

◆ VAIO E-News  
ご登録いただいた商品に関する情報、関連する商品やサービス、キャンペーンなどの新着情報をお届けします。  
 購読を希望する  購読を希望しない

◆ My Sony メールマガジンの配信  
My Sony に関する電子メール、My Sony に関するサービスなどの情報をお届けいたします。  
 購読を希望する  購読を希望しない

戻る [次へ] キャンセル

② 確認のため、もう1度入力する。

③ ここをクリックする。

## 14 必要な項目を入力し、[次へ]をクリックする。

- ① 生年月日を入力する。 ② 性別を選ぶ。

- ③ 郵便番号を入力する。  
(ハイフンは入力しない。)

- ④ ここをクリックする。

### ヒント

「郵便番号」を入力したあと、「住所検索」をクリックすると、簡単に住所検索ができます。

### 注意

- 「郵便番号」はハイフンを除いて入力してください。
- 保証書等の送付先がここで入力した住所と同様の場合は、画面下部の「保証書等の送付先住所と同様にする」の  をクリックして  にしてください。



本機のモデル名を確認し、本機の購入日や販売店名を入力し、[次へ]をクリックする。

- ① ここがお使いの機種か確認する。

- ② ここを入力する。 ③ ここをクリックする。

「登録内容の確認」画面が表示されます。

#### ヒント

「製品情報の入力」が完了すると、「アンケート」画面が表示される場合がありますので、画面の指示に従って入力してください。

登録内容を確認し、[次へ]をクリックする。

「確認してください」画面が表示されます。

[登録する]をクリックする。

登録内容がインターネットに接続して送られ、送信が終わると「登録完了」画面が表示されます。

[次へ]をクリックする。

「ご登録の完了」画面が表示されます。

#### ヒント

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」について

VAIO登録カスタマー向けのサービスをご利用の際には「My Sony ID」をお使いください。

VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際には「お客様サポート番号」をご使用ください。

#### ！注意

VAIOカスタマーリンクへ電話でお問い合わせいただく際に、「My Sony ID」はご使用できません。

#### ヒント

「My Sony ID」と「お客様サポート番号」は後日、ソニーより「1年間保証書」などとともに郵送でお知らせいたします。

## 20 [ID と番号をファイルに保存する]をクリックする。

「名前を付けて保存」画面が表示されます。

## 21 ファイルに任意の名前を付け、[保存]をクリックする。

お客様の「My Sony ID」と「お客様サポート番号」の情報がファイルとして「マイドキュメント」フォルダの中に保存されます。

### 【ご注意】

保存されたデータを他人に見られたり、紛失しないようご注意ください。

## 22 「ご登録の完了」画面の[OK]をクリックする。

これでVAIOオンラインカスタマー登録は終了です。

### 【ヒント】

[OK]をクリックすると、サービス内容などをお知らせする画面が表示されることがあります。この場合は、[次へ]をクリックしてください。

## VAIOカスタマー登録情報を変更するには

### 1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]にポインタをあわせ、[VAIO オンラインカスタマー登録]をクリックする。

「お客様はすでにVAIOカスタマーに登録されています。……」というメッセージが表示されます。

### 2 [はい]をクリックする。

「VAIO オンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

### 3 [次へ]をクリックする。

「登録情報変更手順について」画面が表示されます。

### 4 [次へ]をクリックする。

「My Sony ID、My Sony ID用パスワードの入力」画面が表示されます。画面の指示に従って操作し、登録内容を変更してください。

# バイオの基本設定をする

## Do VAIOを楽しむ

### Do VAIOとは

Do VAIOは、テレビやビデオなどの映像、音楽、デジタル写真、音楽CD、DVDをコンピュータで楽しむための統合プレーヤーです。

コンピュータのさまざまな入力デバイス（タッチパネル、ポインティング・デバイス、リモコンなど）を使って、どのコンテンツも同様の操作で楽しむことができます。

#### 【注意】

本機にためた音楽コンテンツを再生する場合は「SonicStage」ソフトウェアであらかじめ取り込んでおく必要があります。また、デジタル写真を見るときもあらかじめ取り込んでおく必要があります。

### 基本設定を行う

はじめてDo VAIOを使うときには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンしてから、次の手順に従って、Do VAIOで使用するフォルダの設定を行ってください。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタをあわせ、[Do VAIO]をクリックする。

Do VAIOの準備画面が表示されます。

- 2 [完了]をクリックする。

「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限を持つユーザーでログオンしている場合、「[マイドキュメント]フォルダに保存されたコンテンツをDo VAIOで楽しめるように設定してよろしいですか？」画面が表示されます。



### 3 [はい]をクリックする。

「マイドキュメント」に保存されたコンテンツを Do VAIO で楽しめるようになります。

#### ポイント

- [はい]をクリックすると、他のユーザーからも「マイドキュメント」に保存されたコンテンツが利用できるため、注意が必要です。  
また、[いいえ]をクリックすると、「マイドキュメント」に保存されたコンテンツを Do VAIO で利用しません。
- Do VAIO の基本設定を後から変更する場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Do VAIO]の順にポインタをあわせ、[Do VAIO 設定]をクリックして表示される画面で設定してください。詳しくは、Do VAIO のヘルプをご覧ください。

Do VAIO の基本設定が完了します。

#### Do VAIO のご使用方法について

Do VAIO の操作について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」に掲載されています。

「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある [Do VAIO を楽しむ] の下にある項目をクリックして表示される情報をご覧ください。

# 付属品を取り付けて使う

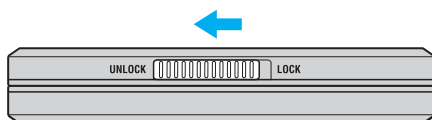
## キーボードを使うには

本機には、付属の折りたたみキーボードをつなぐことができます。  
折りたたみキーボードは、本機の電源を入れたままで取り付け/取りはずしができます。

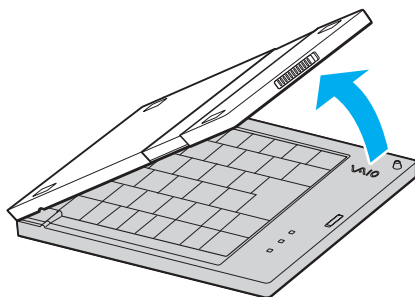
## キーボードを開くには

付属の折りたたみキーボードは折りたたむことができます。使用する際は、開いてください。

### 1 ロックレバーを UNLOCK 側にずらす。




### 2 折りたたみキーボードを開く。



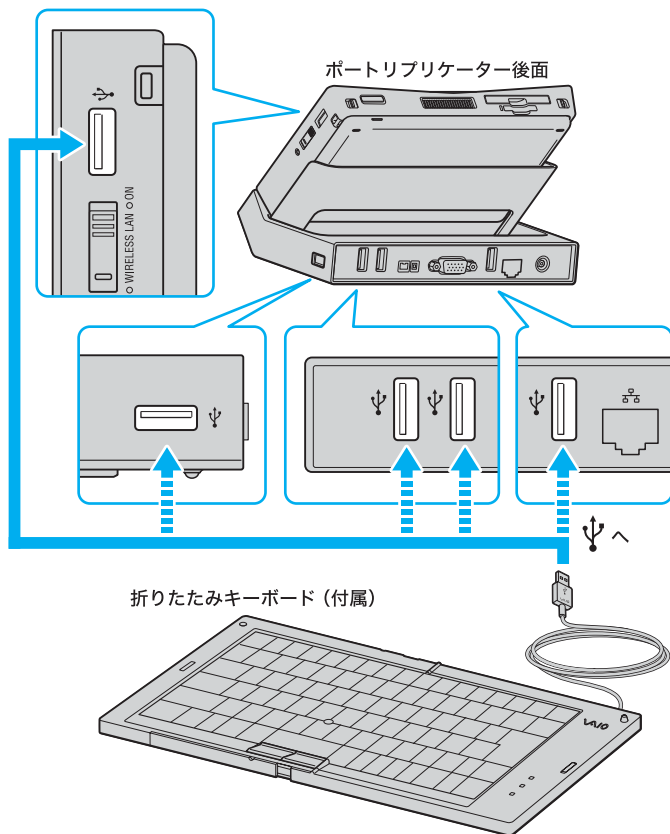
#### **ヒント**

使用しない場合など、折りたたみキーボードを閉じた後はロックレバーを LOCK 側にずらしてください。


## キーボードを取り付けるには

付属の折りたたみキーボードを本機またはポートリプリケーターの  (USB) コネクタに接続できます。

接続すると、折りたたみキーボードは自動的に認識されます。




### イベント

ポートリプリケーターの  (USB) コネクタに接続すると、デスクトップ・スタイル(25ページ)でお使いいただけます。

### ！ご注意

- USBコネクタ部に力が加わると、本機の故障の原因となります。折りたたみキーボードをお使いになるときは、USBコネクタ部に力が加わらないようにキーボードを設置してください。
- 本機または折りたたみキーボードの破損を防ぐために、キーボードを接続した状態で本機を持ち運んだり、カバンや保護ポーチなどの中に入れてください。

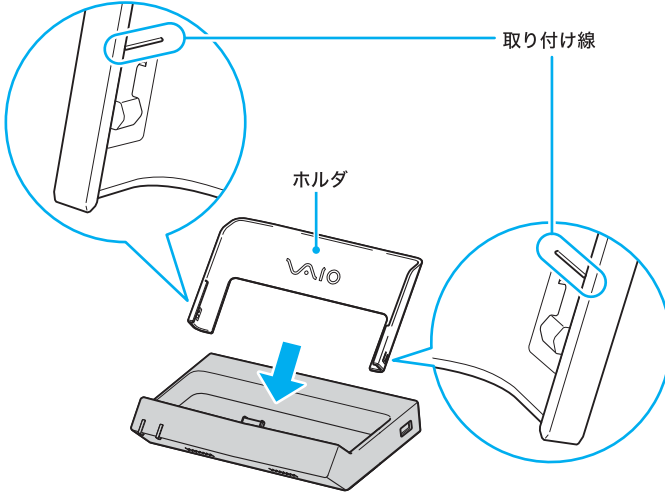
## キーボードを取りはずすには

折りたたみキーボードを本機またはポートリプリケーターの  (USB) コネクタから抜いてください。

## ポトリプリケーターに取り付ける／取りはずす

### ポトリプリケーターに取り付けるには

ポトリプリケーターをご使用になるときは、必ずホルダを取り付けてください。ホルダが、左右の取り付け線まできちんと入っていることを確認してください。取り付けの際は、あまり無理な力を加えないようご注意ください。

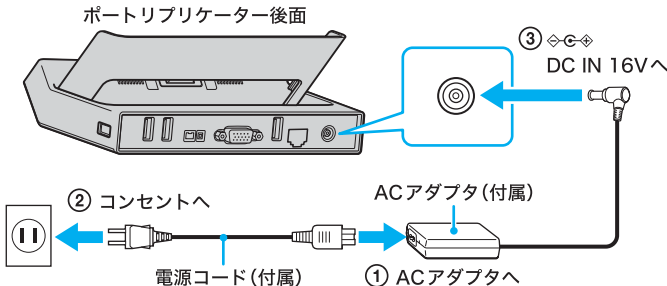


#### ！ご注意



- ポトリプリケーターは必ず指定のACアダプタを使って、AC電源に接続してお使いください。
- 本機にポトリプリケーターを取り付けるときは、必ずバッテリーを取り付けてください。
- 本機にポトリプリケーターを取り付けるときは、必ず本機の電源を切ってから取り付けてください。
- ポトリプリケーターを取り付けた状態で、本機を移動させたり、無理な力を加えないでください。移動時にポトリプリケーターがはずれ、落下してけがをしたり、本機やポトリプリケーターが破損するおそれがあります。

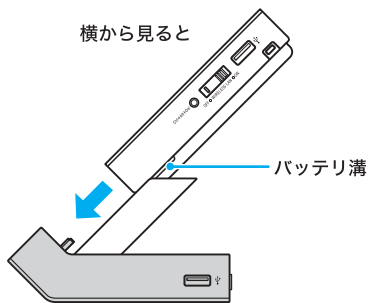
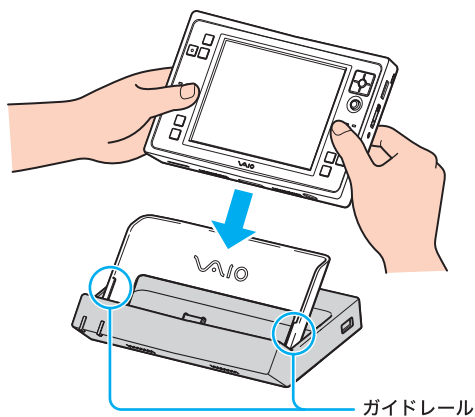
**1** 本機および周辺機器の電源を切り、接続したすべての機器を取りはずす。

**2** ポトリプリケーターをAC電源に接続する。



### 3 バッテリーの溝とホルダのガイドレールをあわせながら、本機を静かに装着する。

正しく装着されると、ポータリプリケーターの  (ダウンロード) ボタンと  (外部出力) ボタンがグリーンに点灯します。



#### ！注意

本機をポータリプリケーターに無理に押しついたり、力を加えたりしないでください。故障や破損の原因となります。

#### ポイント

本機をポータリプリケーターに取り付けると、本機を使ってもバッテリーは充電されます。

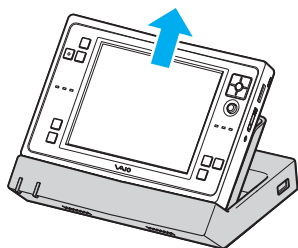
## ポトリプリケーターから取りはずすには

### ！ご注意

ポトリプリケーターを本機から取りはずすときは、必ず本機の電源を切ってから取りはずしてください。電源を切らずに取りはずすと、作業中のデータが失われるおそれがあります。

**1** 本機および周辺機器の電源を切る。

**2** そのまま本機を引き抜く。





# 基本的な使いかた

# タッチパネルを使う

本機は、付属のスタイラスを使って文字を入力したり、ソフトウェアを実行できます。

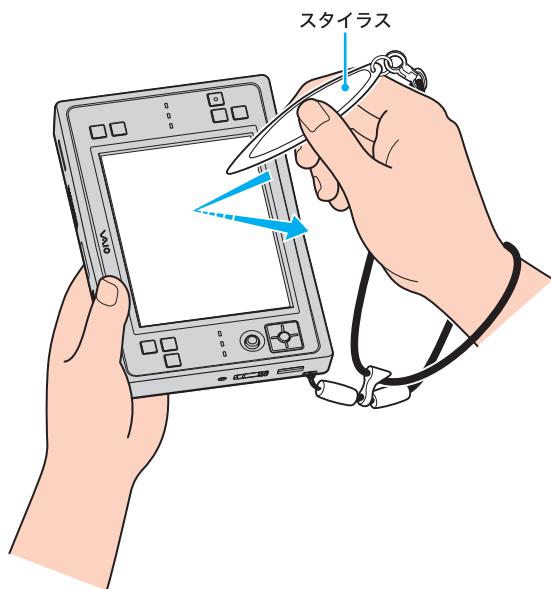
## ！注意

- 本機を手に持って使用する場合は、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けたストラップは手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
- タッチパネルを操作する場合は、必ず付属のスタイラスを使用してください。ボールペンなどを使用すると、本機の画面が傷つくおそれがあります。

## ポイント

### スタイラスとは？

本機の画面を直接さわって操作するためのペンです。



## ポイント

液晶ディスプレイは乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと感じたら、こまめに拭くようにしてください。



## タップする

スタイラスで画面をタッチしてすぐに離します。  
本機の左ボタンを1回押す動作に相当します。  
また、以降タップすることをクリックと称します。

## ダブルタップする

スタイラスで画面を軽く2回続けてタップします。  
本機の左ボタンを続けて2回押す動作に相当します。  
また、以降ダブルタップすることをダブルクリックと称します。

## ドラッグする

スタイラスを軽く当てたまま画面をなぞります。

## 右クリック機能

タッチパネルの設定を変更することで、スタイラスで画面を長押しして右クリック機能を有効にすることができます。

タッチパネルの設定変更について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

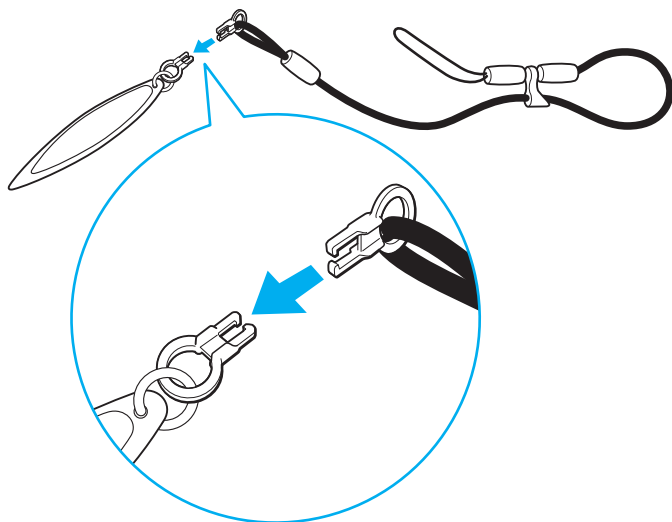
**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン]→[タッチパネル]→[タッチパネルの設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## ミヒット

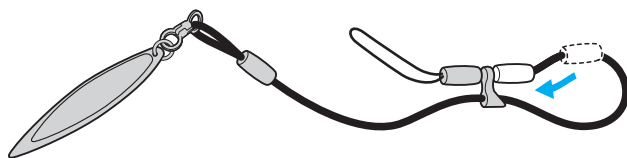
タッチパネルを操作したときに、タッチした位置と実際の動作にずれを感じた場合は、タッチパネルの補正をすることができます。タッチパネルの補正について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** をクリックし、画面左側にある[タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン]→[タッチパネル]→[タッチパネルの設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## スタイラスを取り付ける／取りはずす

付属のスタイラスは、ストラップに取り付け／取りはずしすることもできます。



ストラップのゴムの位置がずれてしまった場合は、元の位置に戻してからお使いください。



### ！ご注意

スタイラスは紛失してしまわないように、使い終わったら付属のストラップに取り付けてください。

はじめに  
本機を  
セットアップする  
基本的な使いかた  
インターネットを  
始める  
その他  
困ったときは

# タッチパネルで文字を入力する （「NextText」ソフトウェアを使う）

## 「NextText」ソフトウェアでできること

「NextText」ソフトウェアは、文字を入力するためのソフトウェアです。タッチパネルを操作して（72ページ）入力できますので、屋外でも気軽に操作することができます。

「NextText」ソフトウェアには3つの入力方式があります。詳しくは「NextText」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

- 手書き入力  
手書き文字から予測して文字を入力します。
- 携帯キー入力  
携帯電話のように少ないボタンで文字を入力します。
- キーボード入力  
キーボード配列表示から文字を入力します。


また、手書き入力と携帯キー入力では予測変換機能により、入力された文字から変換候補を予測して表示します。予測変換は学習機能を備えていますので、一度入力した文字は次回から優先して変換候補に表示されます。

### ！ご注意

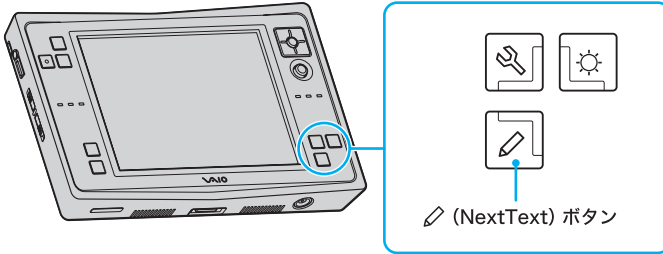
- 本機下面の吸気口（33ページ）や上面の排気口（32ページ）を指などでふさがないようにご注意ください。吸気口や排気口をふさぐと内部に熱がこもり、低温やけどや火災、故障の原因となります。
- 本機の故障の原因となるため、以下の項目にご確認ください。
  - ー モバイルグリップ・スタイルやパーティカル・スタイルで使用するときは、付属のストラップを手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。
  - ー 本機に強い衝撃や振動を与えないようにしてください。
- 使用状況によっては、本機表面やバッテリーが熱くなる場合があります。そのまま長時間使用すると、低温やけどの原因となるおそれがありますのでご注意ください。
- モバイルグリップ・スタイルやパーティカル・スタイルで長時間使いつづけると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。  
これらのスタイルで使用中に体の一部に不快感や痛みを感じた場合は、本機の使用をやめて休息してください。

## 「NextText」ソフトウェアを起動する／終了する

### 「NextText」ソフトウェアを起動するには

 (NextText) ボタン (28ページ) を押しと、「NextText」ソフトウェアが起動して「NextText」画面が表示されます。

操作について詳しくは、「NextText」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。



### ヒント

[スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] → [NextText] の順にポインタをあわせ、[NextText] をクリックしても起動できます。

### 「NextText」画面



#### 1 モード切り替えボタン

「手書き(横)」「手書き(縦)」「携帯キー」「キーボード」の4種類から選択し、文字入力モードを切り替えます。

#### 2 ヘルプボタン

ヘルプを表示します。

「NextText」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。

#### 3 閉じるボタン

「NextText」画面を閉じます。

## 「NextText」ソフトウェアを終了するには

 (NextText) ボタンを押すか、「NextText」画面右上の  をクリックして終了します。

## ようこそ画面での「NextText」ソフトウェアの表示を変更するには

ログイン時に「NextText」ソフトウェアを表示するか非表示にするかを設定することができます。

- 1** [スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] → [Sony Notebook Setup] の順にポインタをあわせ、[Sony Notebook Setup] をクリックする。

「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。

- 2** [VAIO画面設定] タブをクリックする。

設定画面が表示されます。

- 3** [ようこそ画面でNextTextを表示する] のチェックボックスをクリックして変更する。

チェックをはずすと、ようこそ画面で「NextText」ソフトウェアが表示されなくなります。

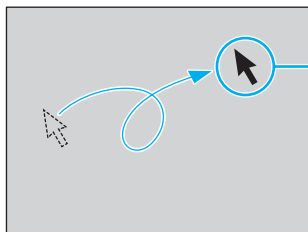
- 4** [OK] をクリックする。

### ヒント

「NextText」ソフトウェアの常駐機能を解除したい場合は、[アクション] をクリックして表示されるメニューから [設定] を選択し、常駐機能を解除する設定にしてください。

# 本機のポインティング・デバイスを使う

マルチポインターを軽く指で押すと、画面上のポインタは押した方向に移動します。  
マルチポインターを押す力(圧力)によって動く速度を調整できます。  
マルチポインターを強く押すとポインタは速く動きます。



ポインタ  
マルチポインターを押した  
方向に移動します。

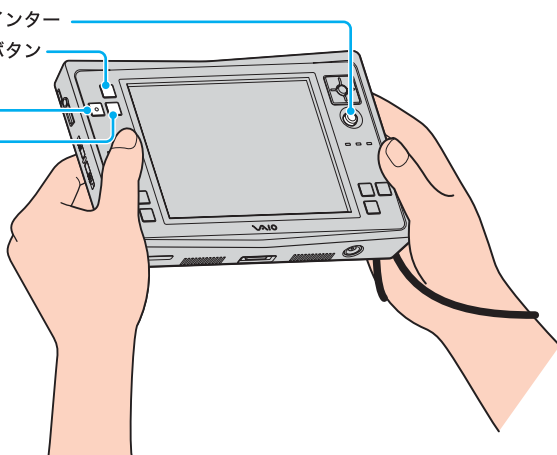
ポインタを目的の位置まで動かして左ボタンまたは右ボタンを押すだけで、メニューを選んだり、さまざまな命令をコンピュータに伝えることができます。

## 【注意】

ポインタが自然に動くことがまれにありますが、故障ではありません。しばらくマルチポインターから指を離していればポインタは止まります。

## デスクトップ・スタイル、モバイルグリップ・スタイル時

マルチポインター  
センターボタン  
左ボタン  
右ボタン



はじめに

本機を  
セットアップする

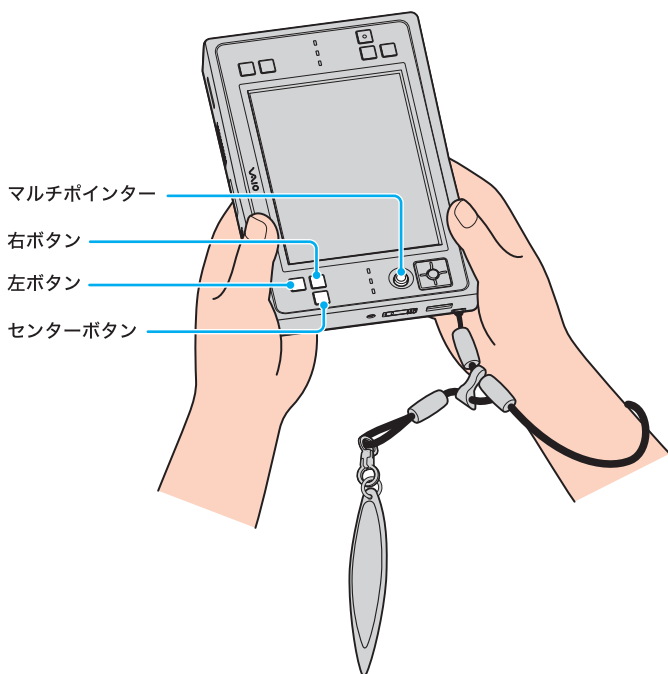
基本的な使いかた

インターネットを  
始める

その他

困ったときは

## パーティカル・スタイル時



### ポイント

上記のボタン位置はお買い上げ時の設定です。

設定を変更したり、マルチポインターをより便利に使うこともできます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン]→[ボタン]→[本機とポートリプリケーターのボタンの機能を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

### クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを1回押します。[OK]や[キャンセル]などのボタンを押したり、メニューを選ぶときなどに使います。

また、マルチポインターを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

### ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。

ワードプロセッサや表計算などのソフトウェアを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。

また、マルチポインターを指で2回続けて軽くたたいても同じ働きをします。

### 右クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。

押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

## ドラッグする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを押したまま、マルチポインタを押します。ファイルを移動したり、ウィンドウの大きさを変更するときなどに使います。

また、マルチポインタを指で押し込み、そのままマルチポインタを動かしても同じ働きをします。

## ドラッグアンドドロップする

ファイルなどのアイコンをドラッグし、他のフォルダやウィンドウ、ソフトウェアのアイコンなどの上で左ボタンを離します。ファイルを移動したり、コピーするときなどに使います。

また、マルチポインタを指で押し込み、マルチポインタを動かしてアイコンなどの上で指を離しても同じ働きをします。

## スクロールする

センターボタンを押しながらマルチポインタを指で押します。ソフトウェア上のスクロールバーを上下左右に移動できます。

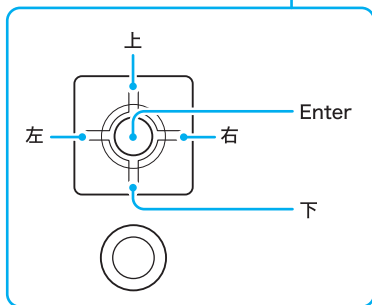
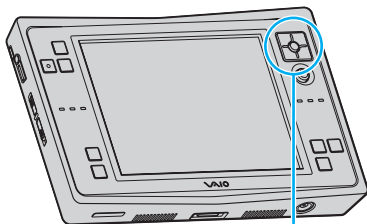
### 【注意】

スクロール機能を使うには、ソフトウェア側の対応が必要です。対応していないソフトウェアでは、この機能は使えません。

## 上下左右カーソルキーを使う

本機の上下左右カーソルキーは、付属の折りたたみキーボード上の矢印キーと同じ機能が実行できます。

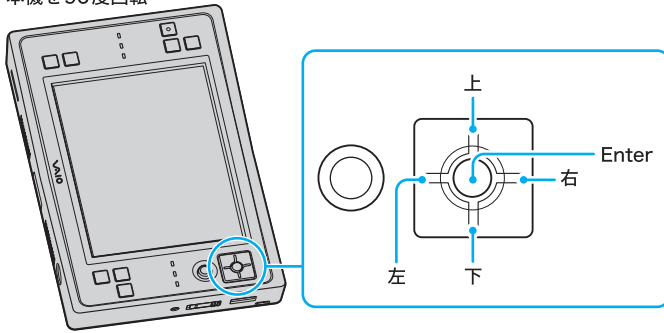
## デスクトップ・スタイル、モバイルグリップ・スタイル時





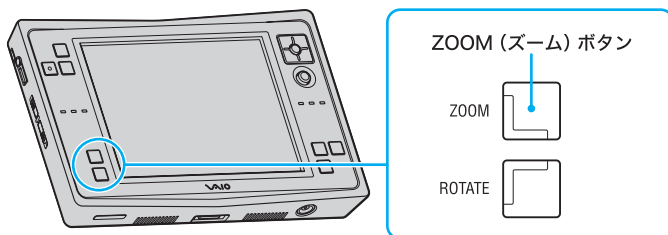
## パーティカル・スタイル時

本機を90度回転

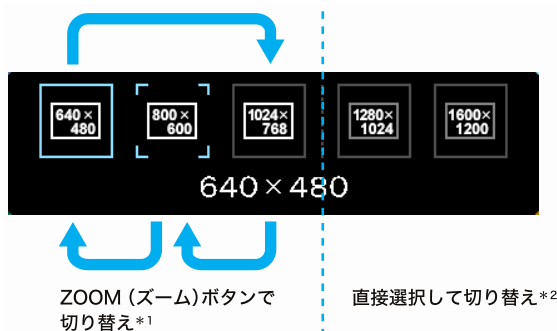


# 画面を拡大／縮小して表示する

液晶ディスプレイに表示される文字などが小さい場合には、ZOOM(ズーム)ボタンを押すことにより、画面を拡大して見やすくすることができます。



ZOOM(ズーム)ボタンを押すと、解像度選択画面が表示され、選んだ解像度にあわせた画面が表示されます。



\*1 解像度の選択画面は、ZOOM(ズーム)ボタンを押すたびに切り替ります。

- 液晶ディスプレイ／外部ディスプレイの解像度  
VGA: 640 × 480 ドット、最高(32 ビット)  
SVGA: 800 × 600 ドット、最高(32 ビット)  
XGA: 1,024 × 768 ドット、最高(32 ビット)
- 画面が90度回転しているときの解像度  
VGA: 480 × 640 ドット、最高(32 ビット)  
SVGA: 600 × 800 ドット、最高(32 ビット)  
XGA: 768 × 1,024 ドット、最高(32 ビット)

\*2 解像度の選択画面をクリックしたり、上下左右カーソルキーを押して上記以外の解像度を選択できます。

- 液晶ディスプレイ/外部ディスプレイの解像度  
SXGA:1,280 × 1,024 ドット、最高(32 ビット)  
UXGA:1,600 × 1,200 ドット、最高(32 ビット)
- 画面が90度回転しているときの解像度  
SXGA:1,024 × 1,280 ドット、最高(32 ビット)  
UXGA:1,200 × 1,600 ドット、最高(32 ビット)

また、付属のディスプレイ/LANアダプタやポートリプリケータを使って、本機にディスプレイを接続している場合は、外部ディスプレイの解像度を変更します。


## 縮小表示ウィンドウについて


液晶ディスプレイの解像度より画面の解像度が大きい場合は、液晶ディスプレイにはデスクトップの一部が表示されます。このような場合に縮小ウィンドウを表示して、デスクトップ画面のどの部分を表示しているか確認できます。


表示領域を変更する場合は、表示させたい部分をクリックしてください。



この枠で囲まれた部分が  
デスクトップ画面に表示  
されています。

-  (マウスモード)  
通常のマウス操作ができます。

-  (ムーブモード)  
画面をつかんで移動できます。マウスモードに戻すには、マウスモードボタンを押すか、右クリックします。

-  (フィットモード)  
液晶ディスプレイのサイズにあわせて画面が縮小表示されます。任意の場所をクリックすると、その点を中心にして元の解像度に戻ります。

## ヒント

縮小表示ウィンドウの表示/非表示設定は、「Sony Notebook Setup」ソフトウェアの「VAIO画面設定」タブで変更できます。

詳しくは、「パイオ電子マニュアル」画面上部の **パイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[ディスプレイ/音]→[ディスプレイ]→[画面表示の設定を変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## 注意

ZOOM (ズーム) ボタンを使って解像度を変更する場合は、下記の点にご注意ください。

- 動作中の画面解像度変更に対応しないソフトウェアでは不具合が生じることがあります。この場合は、ソフトウェアをいったん終了してからZOOM(ズーム)ボタンを押してください。
- 解像度を変更することで画面の拡大表示を行っているため、画像などの表示には効果がないことがあります。
- 拡大表示時や元の設定に戻ったときに、ソフトウェアのウィンドウの位置やサイズが変更されていることがあります。
- 拡大表示した画面は拡大表示(補完表示)しているため、ややぼけた感じの画面となります。

はじめに

本機を  
セットアップする

基本的な使いかた

インターネットを  
始める

その他

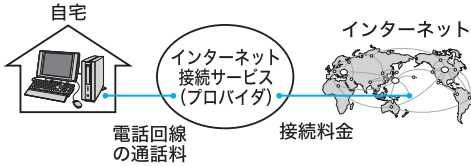
困ったときは

The background features a soft, ethereal glow with horizontal light streaks and a dark horizontal bar in the center. The text is white and centered within this bar.

**インターネットを始める**

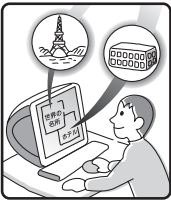
# インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながった、地球規模のネットワークのことです。インターネット接続サービスを提供する会社(「インターネットサービスプロバイダ(ISP)」や単に「プロバイダ」と言います。以下「プロバイダ」と記します)と契約すれば、インターネットに接続することができます。



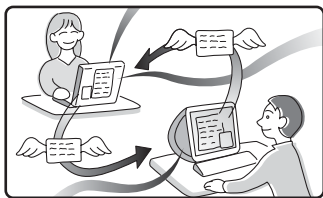
インターネットに接続すると、次のようなことができるようになります。

## ホームページを見る



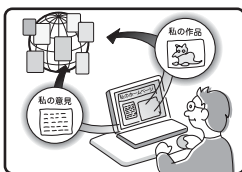
- 調べたい情報を検索する。
- 世界の景色を見る。
- ホテルや乗物の予約をする。
- 趣味の仲間をさがす。
- オンラインショッピングをする。

## 電子メールをやりとりする



電子メールで時差を気にせず世界中の人たちとコミュニケーション。

## 情報を発信する



- 自分の意見を発言する。
- 趣味の仲間をつのる。
- 絵や文芸作品を発表する。
- 仕事の広告を出す。

# インターネット接続方法の種類について

インターネットに接続する方法には、いろいろな種類があります。接続方法によって、通信速度やプロバイダの料金、接続に必要な機器などが異なります。詳しくは、プロバイダにお問い合わせいただくか、または「インターネット接続に必要なものは」(90ページ)をご覧ください。

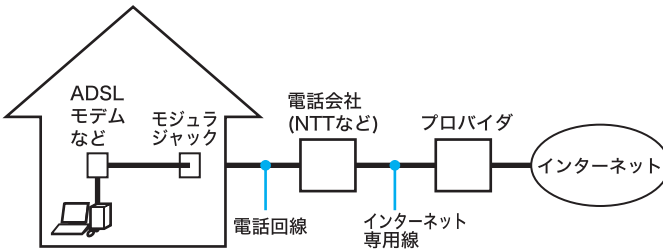
## 各接続方法の特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
ADSL	○	○	◎
ISDN	○	△	△
CATVインターネット	△	○	◎
光 (FTTH)	△	◎	◎

◎:最適 ○:適している △:あまり適さない

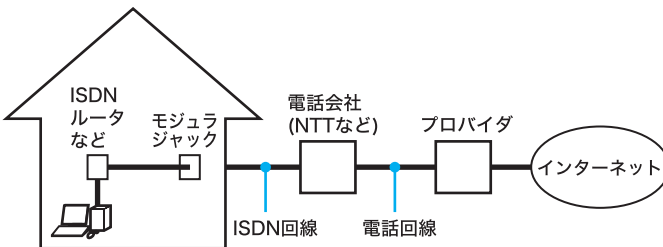
## ADSL

通常の電話回線を使ってインターネットに接続します。高速通信・常時接続ができる接続方法です。回線の申し込みや、ADSLで接続するための機器(ADSLモデムなど)が必要です。



## ISDN

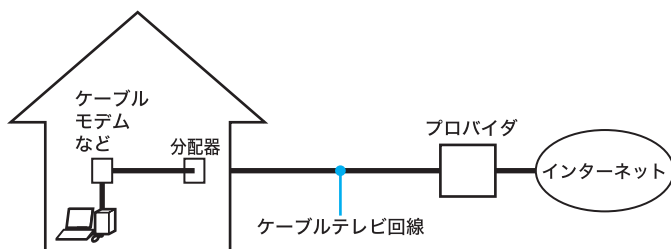
NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。一般電話回線よりも高速ですが、ADSLよりは低速です。回線の申し込みや、ISDNで接続するための機器(ISDNルータなど)が必要です。なお、ISDNからADSLへ接続方法を切り替える場合は、回線変更の申し込みが必要になります。





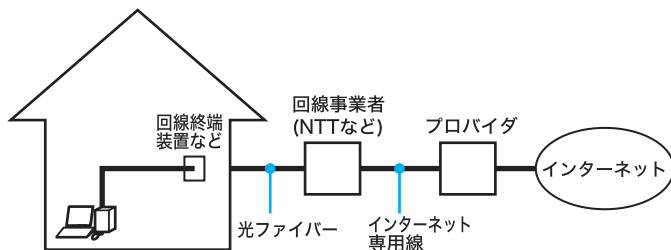
## CATVインターネット

ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。多くの場合、ADSLと同程度の速度で接続ができます。ケーブルテレビ局への申し込みが必要で、接続にはケーブルテレビの端末を使います。



## 光 (FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。一般的にADSLより高速に接続できます。回線の申し込みが必要です。



その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

# インターネット接続に必要なものは

世界中の情報に接することのできるインターネットですが、情報を受け取ったり、発信したりするためには接続する回線や機器、専用のソフトウェアが必要になります。  
また、電話回線などを通してインターネットにつなぐためにプロバイダと契約する必要があります。

インターネットに接続するために必要な主なものは以下のとおりです。

## 接続回線

インターネットに接続するための回線には、主に以下のような種類があります。  
接続について詳しくは「インターネットに接続する」(95ページ)をご覧ください。

回線の種類	解説	お問い合わせ先
ADSL	ADSLとは「Asymmetric Digital Subscriber Line」の略で、一般電話回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。 <b>!!ご注意</b> ISDN回線でADSLを利用することはできません。詳しくは、契約するADSL接続業者にお問い合わせください。	ADSL接続サービスを提供しているプロバイダ
ISDN	NTTのデジタル通信網を使った回線で、1回線で従来の2回線分の通話/通信ができます。	NTT(局番なし116番)
CATVインターネット	CATV事業者が提供するCATVインターネット回線を利用してインターネットに常時接続できるサービスのことです。	CATV事業者
その他	上記のほかに光ファイバーで接続する方法(FTH)や、外出先などでも接続可能な無線での接続方法などもあります。	プロバイダ NTTなどの回線事業者

## インターネット接続サービス(インターネットサービスプロバイダ:ISP)との契約

インターネットにつながるためには、インターネット接続サービスを提供する会社と契約する必要があります。この会社のことを「インターネットサービスプロバイダ」(ISP)または単に「プロバイダ」と言います。

プロバイダはインターネットと本機との間を仲介する役割を持っています。プロバイダと契約すると、インターネットを使って、いろいろな情報が載ったホームページを見ることができます。また、ほとんどのプロバイダでは、「電子メールアドレス」という、あなたの住所のようなものが契約時に用意されます。電子メールアドレスは、電子メールを送受信するときの宛先になります。これらの他に、契約するプロバイダによっていろいろなサービスがあります。

プロバイダと契約すると、サービスに応じた接続料金がかかります。また、プロバイダとの契約条件によっては、接続料金とは別に電話回線の通話料がかかることがあります。

### ！ご注意

本機および付属ソフトウェアの設定によっては、本機の電源を切っている間でも、自動的にインターネットに接続することがあります。自動接続すると、接続を自動的に終了しないことがあります。この場合、通話料と接続料金が多額になる可能性がありますので、ご注意ください。インターネットに接続している間は、電話をかけたり、受けたりできないことがあります。

## モデム

インターネット上のホームページを見たり、電子メールをやりとりするために電話をかける装置です。回線の種類によって、以下のようなものがあります。

回線の種類	モデムの種類
ADSL	ADSLモデム(別売り)
ISDN	ISDNダイヤルアップルータ(別売り) または、ターミナルアダプタ(別売り)
CATVインターネット	ケーブルモデム(別売り)

## ソフトウェア

インターネットに接続してホームページを見るには専用のソフトウェア(「ウェブブラウザ」と言います。)が必要です。また、電子メールをやりとりするにも専用のソフトウェアが必要です。本機には両方の専用ソフトウェアが付属しています。

本機には以下のウェブブラウザおよび電子メールソフトウェアが付属しています。

### □ ウェブブラウザ



Microsoft Internet Explorer

### □ 電子メールソフトウェア



Outlook Express

このマニュアルでは、「Microsoft Internet Explorer」ソフトウェアと「Outlook Express」ソフトウェアの設定と使いかたを中心に説明していきます。

これらのソフトウェアの特徴について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**ソフト活用ナビ** をクリックし、[付属ソフトご紹介/お問い合わせ先]→[インターネット・メール]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## 目次

### ワイヤレスLANでの接続について

ワイヤレスLAN機能を使えば、接続回線とコンピュータの間の接続を無線にすることができます。例えば、部屋の中で接続コードを気にせずコンピュータを移動させてインターネットを楽しんだり、接続コードの長さを気にせずにコンピュータを設置することができます。

ワイヤレスLAN機能<sup>\*1</sup>を使ってインターネットに接続する場合は、ワイヤレスLANアクセスポイント<sup>\*2</sup>が必要です。

ワイヤレスLANアクセスポイントの設定については、ワイヤレスLANアクセスポイントに付属の取扱説明書をご覧ください。また、外出先などからワイヤレスLANサービスを利用してインターネットに接続することも可能です。外出先でのインターネット接続をする場合は、対応しているプロバイダや、NTTなどの回線事業者にお問い合わせください。

\*1 ワイヤレスLAN機能搭載モデルをお使いの場合は、無線でインターネットに接続できます。詳

しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** をクリックし、[ワイヤレス機能] → [ワイヤレスLAN] → [ワイヤレスLANを使ってできること]の順にクリックして表示される情報をご覧ください(ワイヤレスLAN内蔵モデルのみ)。ワイヤレスLANを搭載していないモデルをお使いの場合は、ワイヤレスLANカードなどが必要です。

\*2 ADSLモデムなどに内蔵されている場合もあります。

はじめに

本機を  
セットアップする

基本的な使いかた

インターネットを  
始める

その他

困ったときは

# インターネット上のトラブルについて

現在一般に普及し、さまざまなサービスを提供しているインターネットですが、普及に伴いトラブルも発生しています。

インターネットは非常に便利なものですが、使いかたを誤ったり、安易な気持ちで使用すると思わぬトラブルにあう可能性があります。

## インターネット上の情報について

インターネット上の情報はすべてが正しいとは限りません。

ひぼう・中傷・暴力・わいせつなど、情報を受ける側もモラルを持って情報を利用する必要があります。また、情報を発信する場合もマナーを守って行わないと、気がつかないところで自分が加害者になる恐れもあります。

ユーザー名やパスワードなどは他人に知られないように管理してください。

## コンピュータウイルスやチェーンメールなどの被害について

ホームページからダウンロードしたファイルや悪意を持った人たちから突然送られてくる電子メールには、コンピュータウイルス(コンピュータの動作に悪影響を与えるプログラム)が潜んでいたり、チェーンメールなどにより不快な内容の電子メールが送られてくることもあります。不審な電子メールが送られてきた場合は、安易に開いたり、添付されているプログラムを実行せずに削除してください。

また、できるだけインターネットサービスプロバイダなどに報告して、自分が加害者にならないようにしましょう。

### ヒント

コンピュータウイルスについて詳しくは、「セキュリティについて」(104ページ)をご覧ください。

## 情報の機密性について

ソフトウェアやOSなどの不具合により、コンピュータの情報などがインターネット上にもれ出すことがあります。悪意を持った人たちの標的になりやすいため対応することが必要です。

ウェブブラウザやOSの各ソフトウェアの情報が、開発元のホームページなどに掲載されていますので、不具合情報をこまめに確認することをおすすめします。

また、電子メールには完全な機密性はありません。送信する内容にはご注意ください。

### ヒント

## OSとは？

「オペレーティングシステム」の略称で、「オーエス」と読みます。

リソースなど、コンピュータ全体を管理し、コンピュータを操作するのに必要なソフトウェアです。本機で使用しているWindowsも代表的なOSの1つです。

## インターネットショッピングでのトラブル

インターネットショッピングをするときに、むやみにクレジットカードの番号を入力しないようにご注意ください。プライバシー情報がもれる可能性があります。  
注文した品物と違う、代金を送金したのに品物が届かないなどのトラブルも発生しています。できるだけ信用のおけるところを利用するなどの注意が必要です。

## その他

インターネット上で無料で公開されているソフトウェアの中には、国際電話やダイヤルQ2などに接続してしまうものもあります。  
知らない間に接続し、課金されている場合がありますのでご注意ください。

- インターネット上での個人情報の公開には細心の注意を払いましょう。
- 社会的に犯罪とされているものはインターネット上でも犯罪です。

はじめに

本機を  
セットアップする

基本のひな型について


インターネットを  
始める


その他

困ったときは

# インターネットに接続する

本機はさまざまな通信方法に対応しており、ご家庭や外出先などお使いになる環境にあわせて通信方法を選ぶことができます。契約したプロバイダから送られてくる資料やお使いになる通信機器の取扱説明書をご覧になり、接続するための設定を行ってください。


ここでは本機に付属しているディスプレイ/LANアダプタやポートリプリケータの  (ネットワーク/LAN) コネクタを使った、代表的な接続例をご紹介します。

 (ネットワーク/LAN) コネクタを使えば、ADSLなどインターネットに高速で常時接続するブロードバンド接続サービスを利用することができます。これらのサービスを利用するには、サービスを提供している接続業者に申し込む必要があります。接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約する接続業者にお問い合わせください。

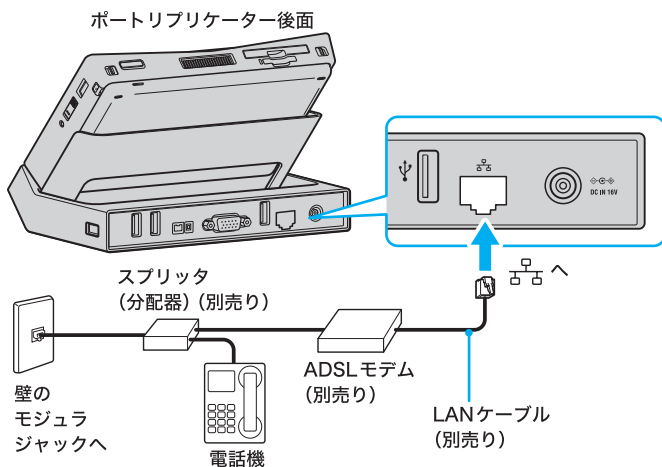
## ヒント

別売りのモデムカードやPHSカードなどを介してインターネットに接続することもできます。詳しくは、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。

## ！ご注意

- 本機は内蔵モデムを搭載していません。
- 本機に付属しているディスプレイ/LANアダプタやポートリプリケータの  (ネットワーク/LAN) コネクタに下記のネットワークや回線を接続すると、コネクタに必要な以上の電流が流れ、故障の原因になります。特に、ホームテレホンやビジネスホンなどの回線には、絶対に接続しないでください。
  - － 10BASE-Tと100BASE-TXタイプ以外のネットワーク
  - － 一般電話回線
  - － ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
  - － PBX(デジタル式構内交換機)回線
  - － ホームテレホンやビジネスホンの回線
  - － 上記以外の電話回線など

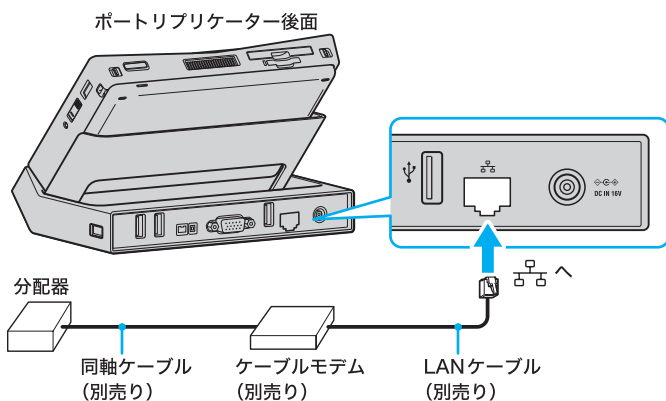
## ADSL接続サービスを利用するときは



### ポイント

付属のディスプレイ/LANアダプタのネットワーク/LANコネクタに接続することもできます。

## CATVインターネット回線を利用するときは



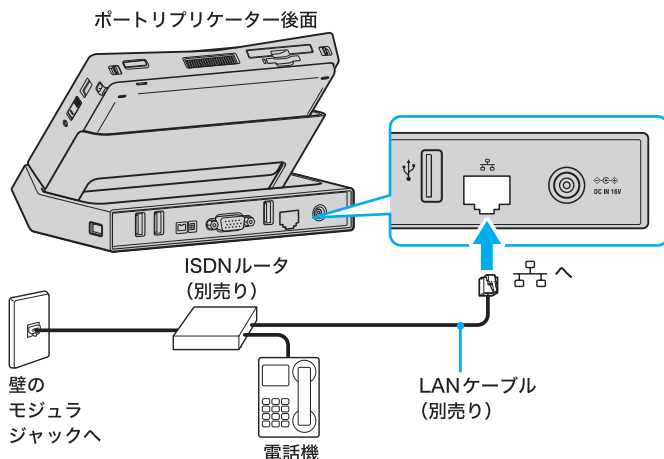
### ポイント

付属のディスプレイ/LANアダプタのネットワーク/LANコネクタに接続することもできます。


はじめに  
本機をセットアップする  
基本的な使いかた  
インターネットを始める  
その他  
困ったときは



## ISDN回線を利用するときは



### ポイント

付属のディスプレイ/LANアダプタの  (ネットワーク/LAN) コネクタに接続することもできます。

### 注意

プロバイダによってはCD-ROMを使って設定する場合があります、その際は別売りの専用ドライブが必要です。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[CD/DVD]→[ドライブの取り付け/取りはずし]→[CD-ROMドライブなどを取り付ける/取りはずす]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。  
また接続する際、LANケーブルなどお客様ご自身でご用意していただくものがあります。詳しくは、契約したプロバイダなどから送られてくる資料をご覧ください。

なお、「VAIO Synchronizer」ソフトウェアでファイルを同期する場合や「VAIO Video Download Manager」ソフトウェアでビデオコンテンツをダウンロードする場合に、他のコンピュータと接続するには、HUBやブロードバンドルーター、LANケーブルなどが必要になることがあります。詳しくは「VAIO Synchronizer」および「VAIO Video Download Manager」のヘルプをご覧ください。

# 電子メールをやりとりする

インターネットを使って、電子メールをやりとりできます。電子メールをやりとりするには、電子メールソフトウェアが必要です。

ここでは、付属の「Outlook Express」ソフトウェアを使って自分の電子メールアドレスに電子メールを送ったり、受け取ったりしてみます。

## ！注意

電子メールをやりとりする手順は、インターネットへの接続やソフトウェアの設定によって変わることがあります。

## [1] 「Outlook Express」ソフトウェアを起動する

まず「Outlook Express」ソフトウェアを起動します。

### 1 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「ダイヤルアップの接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

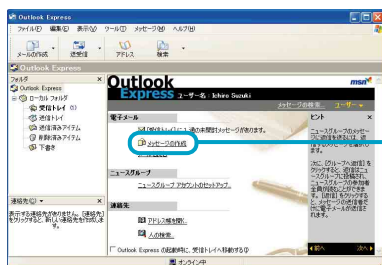
## ヒント

「ダイヤルアップの接続」画面で[キャンセル]をクリックするとオフライン作業となります。

## [2] 電子メールを送信する

ために自分のメールアドレス宛に電子メールを送信してみましょう。

### 1 [メッセージの作成]をクリックする。



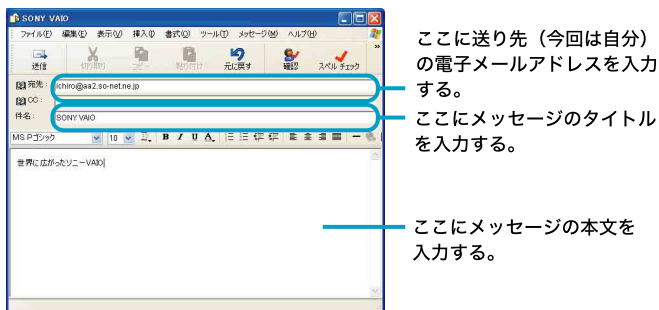
ここをクリックする。

## ヒント

電子メールを書くときや電子メールを受け取った後に読むときは、インターネットに接続していない状態(オフライン作業)の方が接続料金と通話料がかからなくてすみます。

## 2 メッセージを作成する。

ここでは、メッセージに「世界に広がったソニーVAIO」と入れてみます。  
タイトル(件名)は「SONY VAIO」にしましょう。



## 3 画面左上の[ファイル]をクリックし、[オフライン作業]をクリックする。

「オフライン作業」の前のチェックマークが消えます。

## 4 画面左上の[送信]をクリックする。

「(ダイヤルアップ接続名)に接続中」画面が表示されたのち、[接続]をクリックすると、作成した電子メールが送り先に送られます。

### ！ご注意

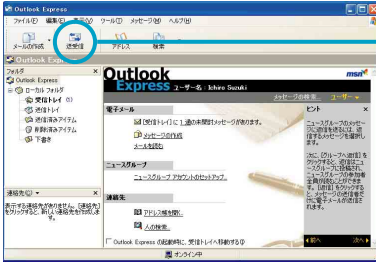
オフライン(インターネットに接続していない状態)で[送信]をクリックした場合は、電子メールは送信トレイに保管されます。「Outlook Express」画面左上の[送受信]をクリックすると、電子メールが送り先へ送られます。

### [3] 電子メールを受信する

手順[2]で送った自分のメールアドレス宛の電子メールを受信してみましょう。

## 1 インターネットに接続した状態で、画面左上の[送受信]をクリックする。

手順[2]で送った電子メールが届きます。



ここをクリックする。

#### 【注意】

オフライン(インターネットに接続していない状態)のときは、「オフライン作業しています。オンラインに切り替えますか?」というメッセージが表示されます。この場合は、「はい」をクリックしてください。

#### 【ヒント】

作成した電子メールが送信トレイにある場合は、同時に送り先に送られます。インターネットに接続していない場合は、「接続」画面が表示され、接続を促します。インターネットに接続したあとに電子メールが送受信されます。

## [4] 受け取った電子メールを見る

手順[3]で届いた電子メールを見てみます。

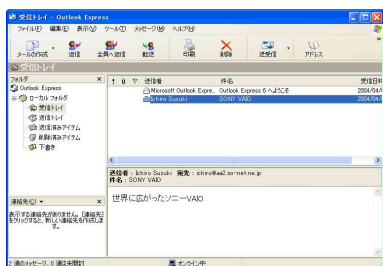
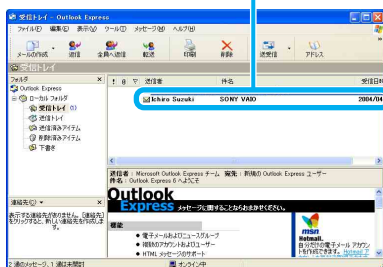
### 1 [受信トレイ]をクリックする。

受信トレイの中身が表示されます。

### 2 [SONY VAIO]をクリックする。

受け取った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



## [5] 送った電子メールを見る

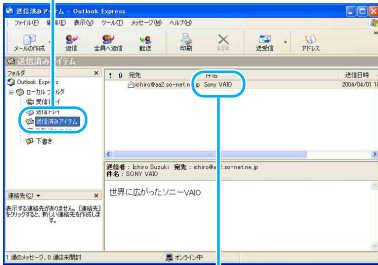
手順[2]で送った電子メールを見てみます。

### 1

画面左側の[送信済みアイテム]をクリックし、[SONY VAIO]をクリックする。

送った電子メールのメッセージが表示されます。

ここをクリックする。



ここをクリックする。

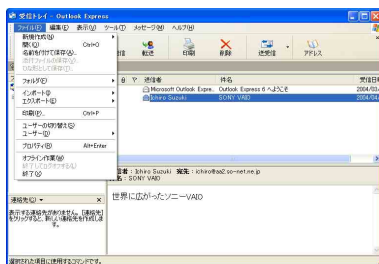
電子メールをやりとりできなかった場合は、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**困ったときは/サポート** タブをクリックし、画面左側にある[よくあるトラブルと解決方法]→[電子メール]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

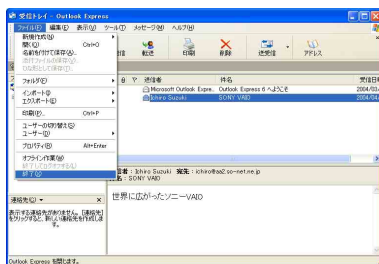
## [6] 「Outlook Express」ソフトウェアを終了する

最後に「Outlook Express」ソフトウェアを終了します。

### 1 画面左上の[ファイル]をクリックする。



### 2 [終了]をクリックする。



「Outlook Express」ソフトウェアが終了します。

「Outlook Express」ソフトウェアについて詳しくは、ヘルプをご覧ください。「Outlook Express」のヘルプを見るときは、「Outlook Express」画面上部の[ヘルプ]をクリックしてください。

# セキュリティについて

パソコンを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からパソコンを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

## コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータの中のファイルやプログラムに悪影響を与えるプログラムのことです。ほとんどがいたずら半分で作成されたものですが、下記の「コンピュータウイルスに侵入されると...」に見られるような被害が起きてしまいます。

コンピュータウイルスは他のプログラムと異なり、それ自体が増殖し、データのコピーなどを通じて他のコンピュータにも悪影響を及ぼしていきます。

### コンピュータウイルスに侵入されると...


- 意味不明なメッセージや、ウイルスが侵入したことを知らせるメッセージが画面上に表示される。
- ファイルが勝手に消去される。
- ハードディスク上の情報が意味のないもの書き換えられる。
- 画面上に意味のないものが表示される。
- ハードディスクの空き容量が急に少なくなる。

## 「Norton AntiVirus」ソフトウェアについて

### ！ご注意

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、「Norton AntiVirus」をインストールする必要があります。

なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

インストールするには、[スタート]→[すべてのプログラム]→ Norton AntiVirus 2004 インストーラ]の順にクリックします。

以降、画面の指示に従って「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールしてください。

コンピュータウイルスから守るため、定期的なウイルスチェックをおすすめします。「Norton AntiVirus」ソフトウェアの操作方法について詳しくは、「Norton AntiVirus」のヘルプをご覧になるか、下記にお問い合わせください。

## シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

ホームページ:

<http://www.symantecstore.jp/oem/sony/>

### ！ご注意

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

※ テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。



## イベント

### ウイルス定義ファイルなどのアップデートについて

本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行してください。

なお、「LiveUpdate」を実行するには、インターネットに接続する必要があります。

次の手順で「LiveUpdate」を行ってください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Norton AntiVirus]→[LiveUpdate-Norton AntiVirus]の順にクリックする。
- ② 表示される画面の指示に従って、「LiveUpdate」を実行する。

### 「Windows Update」の「重要な更新と Service Pack」のご利用について

次の手順で「Windows Update」にて提供されるプログラムの更新を定期的に行ってください。

「Windows Update」を行うには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

- 1** [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[Windows Update]の順にクリックする。

「Windows Update へようこそ」画面が表示されます。

- 2** [更新をスキャンする]をクリックする。

「利用可能な更新を検索しています」というメッセージが表示され、検索が始まります。

- 3** 画面左側の「インストールする更新の選択」メニューの[重要な更新と Service Pack]をクリックし、[更新の確認とインストール]をクリックして「重要な更新と Service Pack」をインストールする。

## ！注意

「Windows XP」や「ドライバの更新」の更新はおすすめしません。ドライバの更新により、本機のブレインストール状態の動作に不具合を生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機の Windows Update に関する情報は、次の VAIO カスタマーリンクのホームページをご参照ください。

- 「Windows Update 関連情報」  
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html>
- 「Windows XP サービスパック 関連情報」  
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winxp-service/index.html>

## インターネット接続ファイアウォール機能について

本機では、インターネット接続ファイアウォール機能と呼ばれるファイアウォール形式のインターネットセキュリティが提供されています。

本機能を有効にすると、インターネットに接続するコンピュータを保護することが可能となりますが、次のような一部の機能が正常に動作しなくなることがあります。

- Windowsの一部の機能
- 本機搭載のアプリケーション

正常に動作させるにはインターネット接続ファイアウォールの設定変更が必要となります。

上記の設定変更などの詳細につきましては、下記のホームページをご参照ください。

### VAIO カスタマーリンク ホームページ

インターネット接続ファイアウォール機能について

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/xptech/info1.html>

本機能を有効にしない場合、インターネットに接続するコンピュータが保護されなくなりますので次のような対策をとられることをおすすめします。

- ハードウェアファイアウォール(ワイヤレスLANアクセスポイントやブロードバンド ルーターなどの製品の多くに搭載されています)による保護を行う。
- 「Windows Update」の実施により、システムを最新の状態に更新し、セキュリティを強化する。
- 本機にインストールされているコンピュータウイルス検査・ウイルス除去用ソフトウェアを使い、定期的なウイルスチェックを行う。

### インターネットのセキュリティについて

インターネットに接続してご使用中は、常にセキュリティが守られなくなる可能性や、コンピュータウイルスによる被害などの危険性が潜んでいます。

セキュリティやウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。

ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。

### VAIOカスタマーリンク ホームページ セキュリティについて

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html>

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。

### VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口

電話番号：(0466)30-3016

受付時間：平日 10:00～20:00、土・日・祝日 10:00～17:00



その他

# メモリを拡張する(VGN-U50)

別売りの専用メモリを拡張すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。

## ！ご注意

専用メモリの拡張は、販売店やVAIOカスタマーリンクにて行ってください。ご自分で拡張されて故障が発生した場合は、保証期間中であっても有償修理となります。

はじめに

本機で  
メモリを  
拡張する

基本的な  
使いかた

インター  
ネットを  
始める

その他

困った  
ときは

# リカバリについて

## リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。次のような場合などにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなったとき
- 何らかの原因で本機の動作が不安定になったとき
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまったとき

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

また、リカバリディスクを作成することもできます。

## ポイント

### リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うための「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」に必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。

通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

## ！ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらしぐにリカバリディスクを作成してください。(124ページ)

## リカバリの流れ

リカバリは、以下の流れに従って行います。

### ① リカバリの準備 (バックアップ)

データのバックアップを行います。

### ② リカバリする

自分の目的にあった方法でリカバリします。

### ③ バックアップしたデータを戻す

リカバリの前にバックアップしておいたデータを元に戻します。

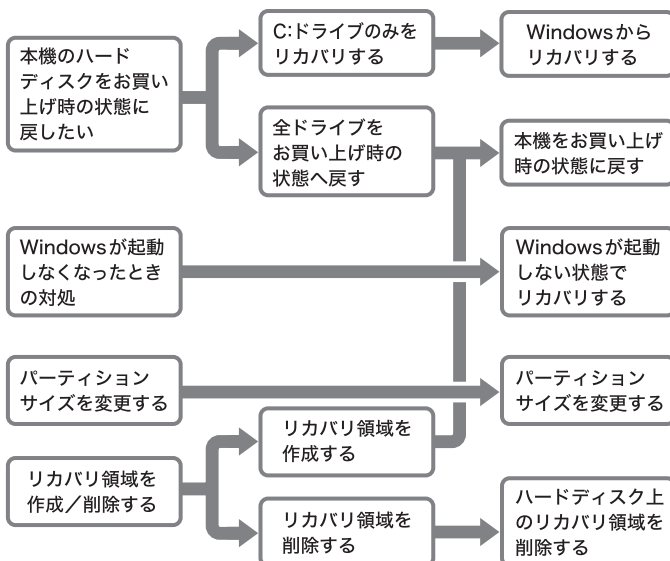
## ポイント

### どの方法でリカバリすればいいの？

下記を参照して、ご自分にあった方法でリカバリしてください。

## 目的


## 方法





## リカバリの種類

リカバリ方法を次の4種類から選択することができます。通常は、「C:ドライブをリカバリする」を行うことをおすすめします。



- C:ドライブをリカバリする

Windowsからリカバリ	C:ドライブにあるすべてのファイルを削除した上で、お買い上げ時の設定を復元します。
Windowsが起動しない状態でリカバリ	<p><b>ハードディスクの状態</b></p>  <p>※ C:ドライブのデータは削除されますが、D:ドライブのデータは削除されません。</p>

- パーティションサイズを変更してリカバリする

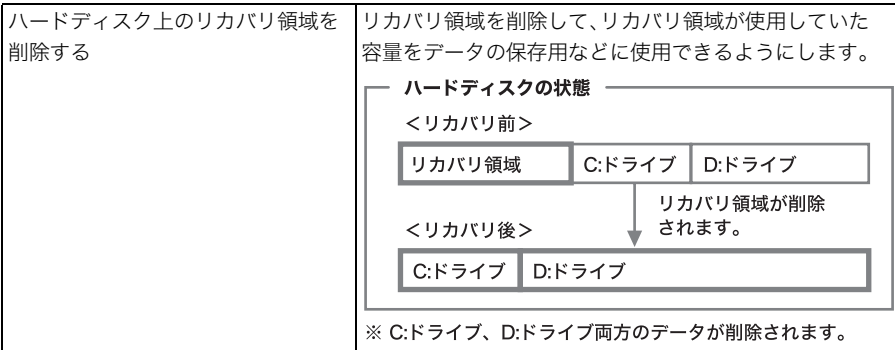
パーティションサイズを変更する	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除して、サイズを変更します。その後、ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。
	<p><b>ハードディスクの状態</b></p> <p>&lt;リカバリ前&gt;</p>  <p>&lt;リカバリ後&gt;</p>  <p>C:ドライブとD:ドライブのサイズを変更します。</p> <p>※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。</p>

- お買い上げ時の状態にリカバリする

本機をお買い上げ時の状態に戻す	現在あるC:ドライブとD:ドライブのパーティションを削除し、パーティションの構成をリカバリ領域も含めてお買い上げ時状態に戻します。その後、ハードディスクをフォーマットした上でお買い上げ時の設定を復元します。
	<p> リカバリディスクを使用</p> <p>↓</p> <p><b>ハードディスクの状態</b></p> <p>&lt;ハードディスクはすべてお買い上げ時の状態に戻ります&gt;</p>  <p>※ C:ドライブ、D:ドライブ両方のデータが削除されます。</p>

また、リカバリディスクを使用して、ハードディスクのリカバリ領域を削除することができます。

- ハードディスク上のリカバリ領域を削除する



## リカバリの準備(バックアップ)

リカバリする前に、データのバックアップを行ってください。

### データのバックアップを作成する

本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。バックアップをとるには、次の方法があります。

- フロッピーディスクにコピーする。
- CDなどのディスクにコピーする。
- D:ドライブにデータを残して、リカバリを行う。

本機のハードディスクは、C:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれています。「Windowsからリカバリする」(117ページ)の手順6で「C:ドライブをリカバリする」を選んだ場合、C:ドライブのファイルはすべて消えてしまいますが、D:ドライブにあるファイルは残ります。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ方法を紹介します。

- 1 [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

- 2 [ツール]メニューから[オプション]をクリックする。

「オプション」画面が表示されます。



### 3 [メンテナンス]タブをクリックして[保存フォルダ]をクリックする。

「保存場所」画面が表示されます。

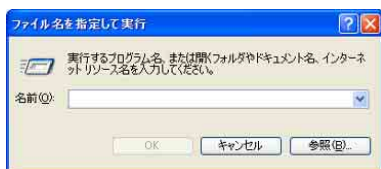


### 4 「個人メッセージストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[すべて選択]をクリックする。

### 5 再度、「個人メッセージストアは下のフォルダに保存されています」に表示されているアドレスにポインタをあわせ、右クリックして表示されるリストから[コピー]をクリックする。

### 6 [スタート]ボタンをクリックして、[ファイル名を指定して実行]をクリックする。

「ファイル名を指定して実行」画面が表示されます。



**7** 「名前」のテキストボックスにポインタをあわせ、右クリックして[貼り付け]をクリックし、[OK]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのデータが保存されているフォルダの画面が表示されます。



**8** 表示されているファイルの中から、拡張子が「\*.dbx」になっているファイルを、すべて外部記憶メディアに保存する。

以上で「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールのバックアップ作成は完了です。

**ヒント**

「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」のバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタをあわせ、[SonicStage]をクリックします。

**！ご注意**

ハードディスクのパーティションサイズを変更すると、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

## リカバリ前に確認してください

- 本機に接続しているすべての周辺機器をはずし、ACアダプタと付属の折りたたみキーボードのみを接続してから、作業を行ってください。リカバリ作業中は、タッチパネルでの操作はできません。  
周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。  
また、リカバリディスクを作成・使用する場合は、この他に本機専用のドライブと付属のポートリプリケーターが必要になります。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう1度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず「システムリカバリ」と「アプリケーションリカバリ」の両方のリカバリを行ってください。「アプリケーションリカバリ」を行わずにリカバリを完了すると、本機の動作が不安定になる場合があります。
- 「Sony Notebook Setup」ソフトウェアでパスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。  
万一パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

## バックアップしたデータを戻す

リカバリが完了したら、リカバリを行う前にバックアップを取っておいたデータを元に戻し、変更していた設定などがあれば、それもリカバリ前の状態に戻します。

ここでは、例として「Outlook Express」ソフトウェアの電子メールデータの戻しかたを紹介します。

- 1** [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]にポインタをあわせ[Outlook Express]をクリックする。

「Outlook Express」ソフトウェアが起動します。

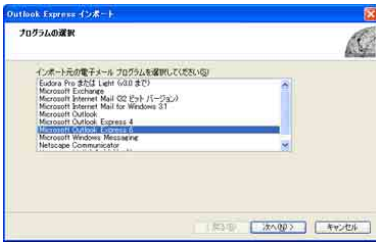
「(ダイヤルアップ接続名)へ接続」画面が表示されたときは、[キャンセル]をクリックして画面を閉じてください。

- 2** [ファイル]メニューから[インポート]→[メッセージ]の順にクリックする。

「Outlook Express インポート」画面が表示されます。

### 3

「インポート元の電子メールプログラムを選択してください」から、  
[Microsoft Outlook Express 6]をクリックして[次へ]をクリックする。



「場所の指定」画面が表示されます。

### 4

[Outlook Express 6ストアディレクトリからメールをインポートする]を選  
んでクリックし、[OK]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

### 5

[参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メー  
ルのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]  
をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

### 6

[すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

### 7

[完了]をクリックする。

以上で、電子メールのデータが元の状態に戻ります。

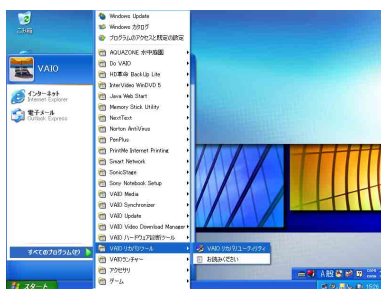
# リカバリする

## Windowsからリカバリする

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリする」(121ページ)をご覧ください。

**1** 付属の折りたたみキーボードを取り付ける。(67ページ)

**2** [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタを合わせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。



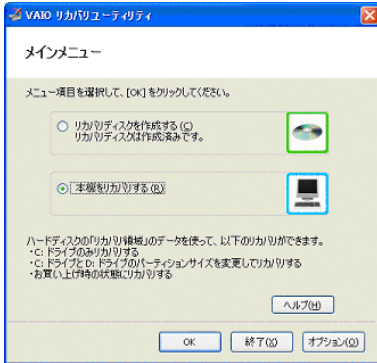
「メインメニュー」画面が表示されます。

### ヒント

「リカバリ領域が削除されています」画面が表示された場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(122ページ)をご覧ください。

### 3

[本機をリカバリする]を選んでクリックし、[OK]をクリックする。



「リカバリウィザード」画面が表示されます。

### 4

内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

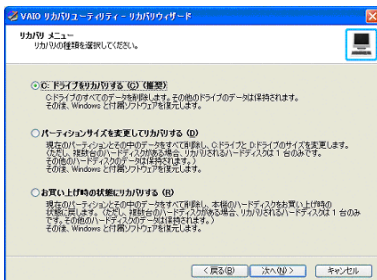
### 5

引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

### 6

[C: ドライブをリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。



「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

### 7

表示された内容をよく読んでから、[リカバリ開始]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

---

## 8 [はい]をクリックする。

「リカバリを実行しています」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。リカバリを中止するときは、リカバリ開始確認画面で[いいえ]をクリックし、続いて「リカバリ設定の確認」画面で[キャンセル]をクリックします。

### ヒント

リカバリ作業には、数十分かかる場合があります。

---

## 9 「システムリカバリ」の処理が完了しました。」と表示されたら[OK]をクリックする。

「リカバリ実行中」画面が表示されます。

---

## 10 [再起動]をクリックする。

本機が再起動します。

### ！ご注意

- Windowsのロゴの画面が表示されてから、「Microsoft Windowsへようこそ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。
- 必ず画面の指示に従って操作してください。

---

## 11 「Windowsを準備する」(49ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

---


## 12 「アプリケーションリカバリ」を行います」画面が表示されたら、[OK]をクリックする。

自動的にアプリケーションソフトウェアのリカバリが始まります。リカバリ実行中、ディスクを入れ替えるメッセージが表示された場合は、指示に従って操作してください。アプリケーションソフトウェアのリカバリが終わるとメッセージが表示されるので、[OK]をクリックして本機を再起動してください。

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」をお使いになるためには、インストールを行う必要があります。

次の手順でインストールしてください。

なおこの操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

**13** [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[ Norton AntiVirus 2004 インストーラ]の順にクリックする。

「ウイルススキャンしますか？」画面が表示されます。

**14** [はい]をクリックする。

ウイルススキャンが開始されます。

**15** ウイルススキャンが終了した後、表示されるテキスト画面の  をクリックする。

**16** 表示された画面の指示に従って、「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールする。

**！ご注意**

「Norton AntiVirus」ソフトウェアのCD-ROMは同梱されていません。

MSN インスタントメッセージャースキャナは初期状態では機能しません。

**17** インストール完了の画面が表示されたら、[完了]をクリックする。

「Norton AntiVirus情報ウィザード」が起動します。

画面に従って、設定を行います。

これで「Norton AntiVirus」ソフトウェアが使えるようになりました。



## Windowsが起動しない状態でリカバリする

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。

また、リカバリディスクを作成している場合には、リカバリディスクを使用してリカバリを開始できます。(124ページ)

---

**1** 付属の折りたたみキーボードを取り付ける。(67ページ)

---

**2** ㊦POWER(パワー)スイッチを矢印の方向にずらして本機の電源を入れる。

---

**3** VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

### ヒント

リカバリディスクでも「リカバリウィザード」を起動させることができます。本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れてください。

### ！ご注意

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、再び手順2からやり直してください。何度やり直しても「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(122ページ)をご覧ください。

---

**4** 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

---

**5** 「Windowsからリカバリする」(117ページ)の手順5以降の操作を行う。

## 本機をお買い上げ時状態に戻す

本機のすべてのハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すには、以下の手順に従って操作します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成をもとに戻したい場合も、この手順を行ってください。

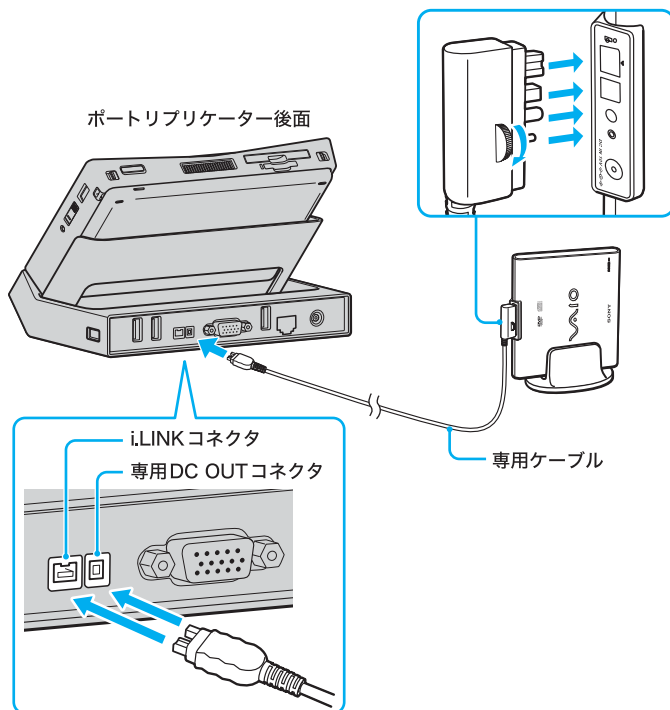
### ！注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったデータは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。お買い上げ時状態に戻す前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

## 1 本機にポートリプリケーターを取り付ける。(68ページ)

## 2 付属の折りたたみキーボードを取り付ける。(67ページ)

## 3 ドライブを本機に取り付ける。




---

**4** 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。

---

**5** [スタート]ボタン→[終了オプション]の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。

---

**6** 30秒ほど待ってから  POWER (パワー) スイッチを矢印の方向にずらして本機の電源を入れる。

VAIOのロゴマークが表示されたあと、リカバリディスクから本機が起動し、「リカバリウィザード」画面が表示されます(起動には数分かかる場合があります)。

**！ご注意**

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順4からやり直してください。

---

**7** 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

---

**8** 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

---

**9** [お買い上げ時の状態にリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

---

**10** 「Windowsからリカバリする」(117ページ)の手順7以降の操作を行う。

# リカバリディスクを作成する

## リカバリに使用するディスクについて

リカバリでは、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、お買い上げ後すぐに作成してください。

入手方法	使用目的
ご自分で作成	• ハードディスクのリカバリ領域を使用しないでリカバリする。 • ハードディスクのリカバリ領域を作成／削除する。
ご購入(125ページ)	

### ！注意

本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。

## リカバリディスクを作成するには

リカバリディスクとは、本機をリカバリするための情報をDVD-RやCD-Rなどのディスクに書き出したものです。「VAIO リカバリユーティリティ」を使うと、リカバリディスクが作成できます。リカバリディスクを用意しておく、本機のハードディスク上のリカバリ領域を使わなくても、リカバリすることができます。ハードディスクが破損したときや、リカバリ領域を削除してより大きなハードディスク容量を確保したいときに使用します。

万一の場合に備えて、本機を使用する準備ができたなら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

### ！注意

下記のような操作を行った場合などに、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き換えてしまい、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- VAIO リカバリユーティリティを使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをお勧めします。本機を使用する準備ができましたら、はじめに、以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

## リカバリディスクとは

ハードディスクリカバリに対応した「バイオ」をリカバリする機能をもったディスクです。

### ！ご注意

リカバリディスクを作成するときには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

### リカバリディスク作成に必要なもの

リカバリディスクの作成にはブランクメディア（データが書き込まれていないDVD-RまたはCD-R）、付属のポートリプリケーターおよびDVD±RWドライブ PCGA-DDRW シリーズなどの専用ドライブが必要です。

リカバリに使用できる専用ドライブとディスクは以下のとおりです。

リカバリに使用できる専用ドライブ\*1とブランクメディア

	リカバリディスクの作成	リカバリディスクの使用*2
DVD-ROM ドライブ PCGA-DVD1 シリーズ	作成不可	使用可
DVD-RW ドライブ PCGA-DVRW1	DVD-R1 枚、または CD-R 複数枚	使用可
DVD±RW ドライブ PCGA-DDRW シリーズ	DVD+R1 枚、または DVD-R1 枚、 または CD-R 複数枚	使用可

\*1 専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。

専用ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

\*2 リカバリディスクは有償にてVAIOカスタマーリンクからご購入いただくことも可能です。

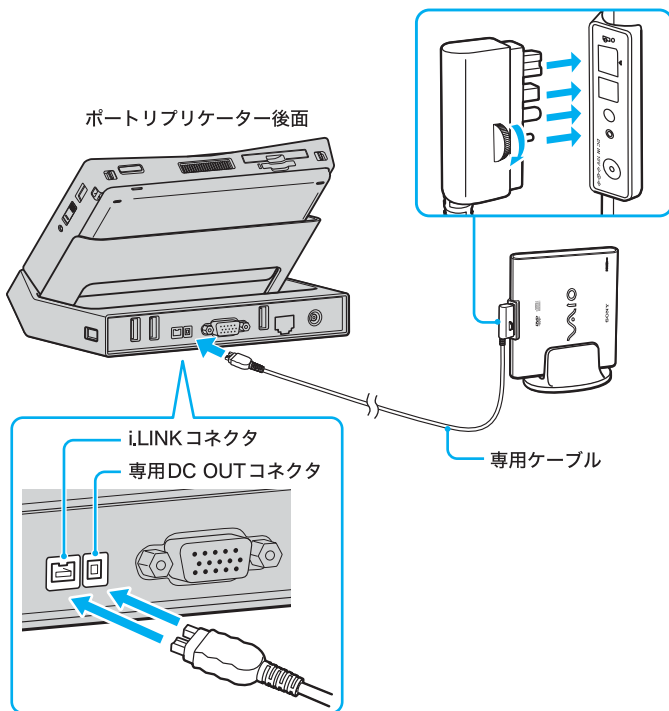
### リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。VAIOカスタマーリンクが別途指定するWebページ「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。  
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html>

\* ご購入にはVAIOカスタマー登録(55ページ)が必要です。

# 1 本機にポートリプリケーターを取り付ける。(68ページ)

## 2 ドライブを本機に取り付ける。

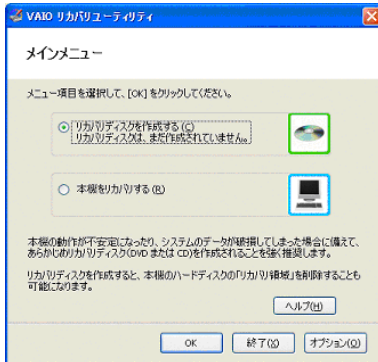


## 3 [スタート]ボタンをクリックして[すべてのプログラム]→[VAIO リカバリツール]の順にポインタをあわせ、[VAIO リカバリユーティリティ]をクリックする。

「メインメニュー」画面が表示されます。

## 4

[リカバリディスクを作成する]を選んでクリックし、[OK]をクリックします。



## 5

「リカバリディスク作成ウィザード」画面が表示されるので、内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

「ディスクの確認」画面が表示されます。

### ヒント

必要なディスクの枚数は、「ディスクの確認」画面で確認できます。

## 6

[次へ]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面が表示されます。

## 7

[作成開始]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示され、リカバリディスクの作成が始まります。

### ヒント

リカバリディスクの作成が2回目以降の場合は、ここでリカバリディスクを選択し、希望するリカバリディスクのみ作成することができます。

## 8

指示されたディスクをドライブに挿入し[OK]をクリックする。

「リカバリディスクの作成」画面に現在の作成状況が表示されます。

画面の指示に従って操作してください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ドライブからトレイが自動的に引き出されます。

**9** ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順8,9を繰り返します。

リカバリディスクの作成がすべて完了すると、リカバリディスク作成が終了したメッセージが表示されます。

**！注意**

ディスク名を書き込むときに、ボールペンを使用しないでください。

**10** [OK]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。



# パーティションサイズを変更する

## パーティションとは

ハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機のハードディスクはC:ドライブとD:ドライブの2つのパーティションに分かれており、D:ドライブは、動画などの容量が大きいデータを保存したり、操作したりするための領域(データスペース)として使えるように設定されています(お買い上げ時)。

本機はリカバリ機能を使ってC:ドライブとD:ドライブのパーティションサイズを変更できます。より多くのハードディスク容量が必要な場合は、リカバリ領域を削除することができます。(131ページ)

動画の取り込みや書き出しを行う場合は大容量のデータを高速で読み書きするため、ハードディスクの断片化が起こることがあります。ハードディスクの断片化はフレーム落ちの原因となるため、データスペースとしてお使いになるパーティションは、ハードディスクの空き容量が常に連続になるよう、最適化(デフラグ)またはフォーマットを行ってください。

パーティションを区切ると、WindowsはC:ドライブにインストールされます。C:ドライブを最適化するには非常に時間がかかる場合がありますので、D:ドライブをデータスペースとしてお使いになることをおすすめします。

## 断片化とは

### 断片化とは

「フラグメンテーション」とも言います。ディスクに記録するファイルが連続した領域に収まらずに、あちこちに散らばって記録された状態のことです。通常は大きな問題になりませんが、データの記録や読み出しに時間がかかるなどの症状があらわれます。長期間にわたって断片化を放置すると、断片化した場所が大きくなり、エラーが頻発する原因になることもあります。

## デフラグ(最適化)とは

### デフラグ(最適化)とは

ディスク中の断片化したデータをきれいにまとめることです。デフラグ(最適化)により、データの読み出しや書き込みが速くなったり、エラーが起きる可能性が低くなったりします。

## パーティションサイズを変更するには

以下の手順に従ってパーティションサイズを変更します。

### ！ご注意

この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルはC:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。パーティションサイズを変更する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

### ヒント

「SonicStage」ソフトウェアに取り込んだ曲や管理データは、「SonicStage」のバックアップツールを使って必ずバックアップをとってください。バックアップツールについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。  
「SonicStage」ソフトウェアを起動するには、[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[SonicStage]の順にポインタをあわせ、[SonicStage]をクリックします。

## 1 「Windowsからリカバリする」(117ページ)の手順1～5を行う。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

## 2 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。  
ここで現在のパーティションサイズを確認できます。

## 3 C:ドライブのパーティションサイズをドロップダウンリストから指定し、[次へ]をクリックする。



「リカバリ設定の確認」画面が表示されます。

---

## 4 表示された内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

---

## 5 「Windowsからリカバリする」(117ページ)の手順8以降の操作を行う。

### ハードディスク上のリカバリ領域を削除する

以下の手順でリカバリディスクを使ってハードディスク上のリカバリ領域を削除できます。

#### ！ご注意

- リカバリディスクを作成していない場合は、「リカバリディスクを作成するには」(124ページ)の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。
- リカバリ領域を削除した場合、ハードディスクからリカバリできなくなります。リカバリ領域を削除した後、リカバリするためには、リカバリディスクでリカバリするか、「本機をお買い上げ時状態に戻す」(122ページ)の手順に従いリカバリ領域を作成してから行ってください。
- この操作を行うと、それ以前にハードディスク上にあったファイルは、C:ドライブだけでなくD:ドライブのものも含めてすべて消えてしまいます。リカバリ領域を削除する前に、大切なデータはCDなどのディスクまたはフロッピーディスクなどに保存するなどして、必ずバックアップをとってください。

リカバリ領域を削除するには、付属のポートリプリケーターとDVD-RWドライブ PCGA-DVRW1などの専用ドライブ(125ページ)が必要です。

専用ドライブは接続するだけでご使用いただけます。改めてドライバをインストールする必要はありません。専用ドライブをお使いになるときは、各ドライブに付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

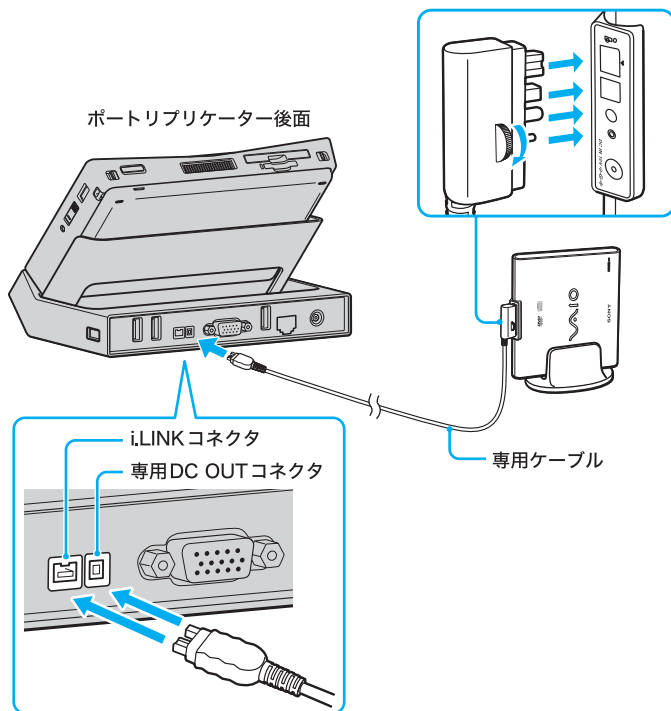
---

## 1 本機にポートリプリケーターを取り付ける。(68ページ)

---

## 2 付属の折りたたみキーボードを取り付ける。(67ページ)

### 3 ドライブを本機に取り付ける。



### 4 本機の電源が入っている状態で、リカバリディスクをドライブに入れる。

### 5 [スタート]ボタン→[終了オプション]の順にクリックして「コンピュータの電源を切る」画面を表示し、[電源を切る]をクリックして本機の電源を切る。

### 6 30秒ほど待ってから $\odot$ POWER(パワー)スイッチを矢印の方向にずらして本機の電源を入れる。

「リカバリウィザード」画面が表示されます。

#### 【注意】

「リカバリウィザード」画面が表示されない場合は再び手順4からやり直してください。

---

## 7 内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリについてのご注意」画面が表示されます。

---

## 8 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

「リカバリ メニュー」画面が表示されます。

---

## 9 [パーティションサイズを変更してリカバリする]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「リカバリ領域 オプション」画面が表示されます。

---

## 10 [リカバリ領域を削除する]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。



「実行確認」画面が表示されます。

---

## 11 [はい]をクリックする。

「パーティションサイズの設定」画面が表示されます。

---

## 12 引き続き内容をよく読んでから、[次へ]をクリックする。

リカバリ開始確認画面が表示されます。

---

## 13 「Windowsからリカバリする」(117ページ)の手順8以降の操作を行う。

# 使用上のご注意

## 本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れてください。
- バッテリコネクタ部には、クリップなどの金属物を接触させないようにご注意ください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- 液晶ディスプレイ保護のため、持ち運ぶときは本機を本体用保護ポーチに入れてください。
- 本機を手を持って操作するときは、必ず付属のストラップを取り付けてください。取り付けたストラップを手首にかけ、しっかりと持ち、落とさないようにしてください。また、取り付けた付属のストラップは、首にかけないでください。
- 取り付けた付属のストラップ部分を持って、本機を移動させないでください。衝撃を加えたり、落としたりすると本機の故障の原因となります。

- CF(コンパクトフラッシュ)スロットの中に異物を入れないようにしてください。コンパクトフラッシュを取り出したあとは、スロットを保護するために必ずCF(コンパクトフラッシュ)スロットにCF(コンパクトフラッシュ)用プロテクタを挿入してください。

## 液晶ディスプレイについて

- 画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や減点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってずじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
- タッチパネルを操作する場合は、必ず付属のスタイラスを使用してください。ボールペンなどを使用すると、本機の画面が傷つくおそれがあります。

## 結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。

本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。

そのままご使用になると故障の原因となります。

結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。

管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。

全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

## ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。

何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10°C以上の変化)のある場所では使用しないでください。
- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクドライブを取りはずさないでください。

## ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクの内容は定期的にバックアップを取ることをおすすめします。

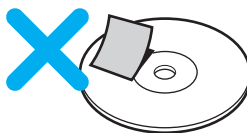
ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、**Windows**のヘルプをお読みください。

データの損失については、一切責任を負いかねます。

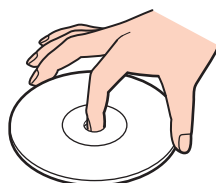
## CDやDVDなどのディスクの取り扱いについて

ディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 紙などを貼ったり、傷つけたりしないでください。



- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと、本体内部にラベルが貼り付いて、本機の故障の原因となることがあります。ラベルが正しく貼られていることを確認してからディスクをお使いください。ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- 外縁を支えるようにして持ち、記録面(再生面)に触れないようにしてください。記録面が汚れると、データの読み込み、書き込みができなくなります。



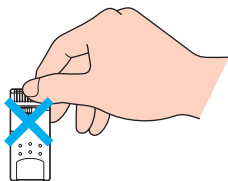
- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- 直射日光が当たって高温になった自動車の中に長時間放置しないでください。
- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、必ずケースなどに入れて保管してください。

- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなどで文字を書くと、記録面を傷つけ、データの読み込みや書き込みができなくなることがあります。

## “メモリスティック”の取り扱いについて

“メモリスティック”に記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- 端子部には手や金属で触れないでください。



- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリスティック”を付属の収納ケースに入れてください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所

## “メモリスティック デュオ” 使用上のご注意

- “メモリスティック デュオ”を本機でお使いの場合は、必ずメモリスティック デュオ アダプターに正しい方向に挿入してからお使いください。メモリスティック デュオ アダプターに装着されていない状態で挿入すると、“メモリスティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。また、機器に不具合が生じることがあります。
- メモリスティック デュオ アダプターに装着して本機でご使用になるときは、正しい挿入方向をご確認の上ご使用ください。間違った方向に挿入すると、機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリスティック デュオ アダプターに“メモリスティック デュオ”が装着されていない状態で、本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリスティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。

## “マジックゲート メモリスティック” 使用上のご注意

本機のメモリスティックスロット(32ページ)は、“マジックゲート メモリスティック”に記録した音楽ファイルなど、著作権保護されたファイルの取り扱いには対応していません。エクスプローラなどでこれらのファイルやディレクトリを操作した場合、ファイルが無効となり、使えなくなる場合があります。

著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、メモリスティックウォークマンなどの“マジックゲート メモリスティック”に対応した機器と、「SonicStage」ソフトウェアなどの著作権保護されたファイルに対応したソフトウェアをご使用ください。

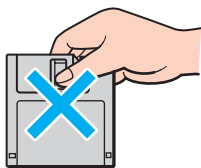
著作権保護されているファイルの操作を行う場合は、本機のメモリスティックスロットは使用しないでください。



## フロッピーディスクの取り扱いについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。



- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれている、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

## ワイヤレス機能の取り扱いについて

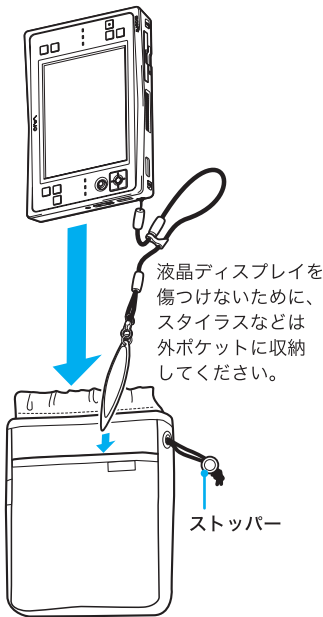
- 本機のワイヤレスLAN機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレスLAN対応機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレスLAN対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- IEEE802.11gは、IEEE802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 14チャンネルに対する規制が他チャンネルと異なるため、14チャンネルは、IEEE802.11bモードで動作します。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、WIRELESS LANスイッチを「OFF」にあわせてください。

## 付属の保護ポーチに本機やキーボードをしまうときのご注意

### 本機のしまいかた

液晶ディスプレイ保護のため、持ち運ぶときは本機を付属の本体用保護ポーチに入れてください。

本機を保護ポーチにしまうときには、ひもを締めてストッパーでしっかりとめてください。



本体用保護ポーチ (付属)

### ！ご注意

- 液晶ディスプレイ保護のため、本機をキーボード用保護ポーチに入れないでください。
- 保護ポーチにしまうときは、本機の電源を切るか、省電力モードにしてください。保護ポーチにしまった状態で本機を使用しないでください。
- HOLD(ホールド)スイッチをオンにして、誤作動防止をしてください。

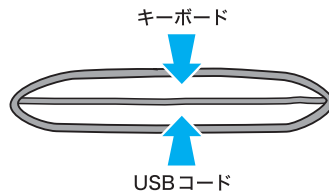
### キーボードのしまいかた

付属の折りたたみキーボードをキーボード用保護ポーチへ入れてください。

キーボード用保護ポーチは中に仕切りが付いています。

キーボードの表面を傷つけないために、キーボードとUSBコードを別々の仕切りに入れてください。

保護ポーチにしまうときには、ひもをしっかりと締めてください。



### 付属の保護ポーチ使用上のご注意

- 本機やキーボードの傷防止用として作られています。そのため、耐衝撃性はありませんので、万一何らかの衝撃が加わった場合、故障の原因となりますのでご注意ください。
- 用途や機能性を考慮しデザインされています。容量以上の物を詰めすぎると破損の原因となる場合がありますので、取り扱いにはご注意ください。
- 保護ポーチから出し入れするときは、滑りやすいのでご注意ください。
- 防水加工されておりません。
- 水に濡れると色落ちすることがあります。ぬれた場合はすぐに拭き取ってください。
- 保護ポーチに対してベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- しまうときは、本機から“メモリースティック”やコンパクトフラッシュを取り出してください。

## ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

## バッテリーについてのご注意

### バッテリーについて

- 付属のバッテリーは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリーをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリーを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスタンバイのときにバッテリーを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

### はじめてバッテリーをお使いになるときは

付属のバッテリーは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリーが消耗している状態になっていることがあります。

## バッテリーの充電について

バッテリーは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。

使用前には、再度、充電することをおすすめします。

また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。

このため、十分に充電を行っても使用可能時間短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。

この場合には、新しいバッテリーをお買い求めください。

### 省電力動作モードでお使いのときは

スタンバイ時にバッテリーが消耗すると、スタンバイに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スタンバイに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。

なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリーが消耗してもデータがなくなることはありません。長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

### バッテリーの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリーの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。

長時間席をはずされるときなどにバッテリーが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。

バッテリーでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

## ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的に Windows XP 用、DOS/V 用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。

市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属の OS 以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

## ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。

また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

## CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク (CD) 規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中には CD 規格に準拠していないものもあり、本機で再生・録音できない場合があります。

# お手入れ

## 本機のお手入れ

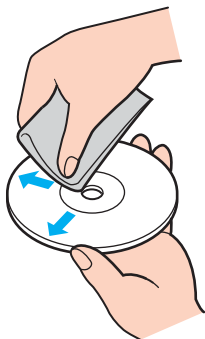
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 液晶ディスプレイは、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れてきたと思ったら、こまめに拭くように心がけてください。
- 付属の折りたたみキーボード (キートップ) の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のブロワーなどを使って吹き飛ばしてください。  
キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

### ！ご注意

- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。

### DVD-ROM、CD-ROMディスクのお手入れ

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読みとりエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ふだんのお手入れは、柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽く拭きます。



- 汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。

### 書き込みのできるCDやDVDディスクのお手入れ

- 未記録部分に傷やほこりがあると、正しいデータが記録できないことがあります。取り扱いには充分ご注意ください。
- ベンジンやシンナー、クリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

## コンピュータ廃棄時などのハードディスク上のデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化(フォーマット)する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。

従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。

廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要**となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(いずれも有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁氣的に破壊して、データを読み取れなくすることをおすすめします。

なお、消去のための専用ソフトウェアなどについての詳細は、VAIOホームページ内「サポート」ページ(<http://vcl.vaio.sony.co.jp>)の「セキュリティについて」より「ハードディスク上のデータ消去に関するご注意」をご覧ください。

# 付属ソフトウェアのお問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。

なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

**1** [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。

**2** 画面上部の **ソフト活用ナビ** タブをクリックし、画面左側にある[付属ソフトご紹介/お問い合わせ先]をクリックする。

## ！ご注意

- Windows XPは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。  
本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。  
インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。  
その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。  
「コンピュータの管理者」の権利使用を許可されていない場合は、職場などのシステム管理者にご相談ください。  
ユーザー権利とアクセス許可について詳しくは、[スタート]ボタンをクリックし、[コントロールパネル]→[ユーザーアカウント]を順にクリックして表示される「ユーザーアカウント」画面左のヘルプをご覧ください。  
なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。  
ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

## AVエンターテインメント

### Do VAIO

VAIOカスタマーリンク

### ビデオ編集・再生

### Windows Media(TM) Player

VAIOカスタマーリンク

### WinDVD for VAIO(ドルビーバーチャル スピーカー/ドルビーヘッドホン対応)

VAIOカスタマーリンク

## 音楽

### SonicStage

VAIOカスタマーリンク

## ホームネットワーク

### VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

### VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

## コミュニケーション

### みんなでTV電話

NTTコミュニケーションズ(株)ドットフォン  
パーソナルインフォメーションセンター

電話番号: (0120)050-506

受付時間: 月曜～金曜: 9時～17時  
(指定休業日、祝日を除く)

ホームページ: <http://www.ntt.com/pcsp/>

## インターネット・メール

### Microsoft(R) Outlook Express

VAIOカスタマーリンク

### Microsoft(R) Internet Explorer

VAIOカスタマーリンク

### Liquid Surf for VAIO

ファックス番号: (03)5365-1235

ホームページ: <http://www.portrait.co.jp/>

## エンターテインメント

### AQUAZONE 水中庭園 for VAIO

ユーザーサポートセンター

電話番号: (03)5281-8206

受付時間: 月曜～金曜: 10時～17時  
(年末年始、祝日を除く)

電子メール: [support@f-groove.com](mailto:support@f-groove.com)

ホームページ:

<http://www.aztv.gr.jp/azve/index.html>

## 実用ツール

### 駅すばあと LE

ユーザーサポートセンター

電話番号(テクニカル): (03)5373-3522

電話番号(バージョンアップ):  
(03)5373-3521

受付時間: 月曜～金曜:  
10時～12時、13時～17時

(祝日、年末年始、夏期休暇を除く)

ファックス番号: (03)5373-3523

電子メール: [support@val.co.jp](mailto:support@val.co.jp)

ホームページ: <http://ekiworld.net/>

### HD革命/BackUp Lite

株式会社 アーク情報システム サポート係

電話番号: (03)3234-9251

受付時間: 月曜～金曜:  
10時～12時と13時～17時まで

(年末年始、祝日を除く)

ファックス番号: (03)3234-9252

電子メール: [kakumei@ark-info-sys.co.jp](mailto:kakumei@ark-info-sys.co.jp)

ホームページ: <http://www1.ark-info-sys.co.jp/>

### **！ご注意**

バックアップ・復元を確実にを行うために、必ず  
ヘルプをお読みください。

## □ PenPlus for VAIO

ファックス番号: (048)290-6141

電子メール: penplus@plussoft.co.jp

ホームページ: <http://www.plussoft.co.jp/>

## □ Adobe(R) Reader(R)

VAIOカスタマーリンク

## □ Norton AntiVirus(TM) 2004

シマンテック コンシューマ テクニカル  
サポートセンター

ホームページ:

<http://www.symantecstore.jp/oem/sony/>


### 【注意】

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。

※ テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。

ウイルス対策ソフトウェア「Norton AntiVirus」ソフトウェアをお使いになるためには、「Norton AntiVirus」をインストールする必要があります。

なお、この操作を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーとしてログオンする必要があります。

インストールするには、[スタート]→[すべてのプログラム]→ Norton AntiVirus 2004 インストーラ]の順にクリックします。

以降、画面の指示に従って「Norton AntiVirus」ソフトウェアをインストールしてください。

## □ VAIO Synchronizer

VAIOカスタマーリンク

## 設定・ユーティリティ

## □ VAIOランチャー

VAIOカスタマーリンク

## □ メモリースティックフォーマッタ

ソニー株式会社

テクニカルインフォメーションセンター

電話番号: (0564)62-4979

受付時間: 月～金 9時～17時

(ただし年末、年始、祝日を除く)

ホームページ:

<http://www.sony.net/memorystick/support/>

## □ Smart Network

VAIOカスタマーリンク

## □ 「ホットスポット」自動ログインツール

ホットスポットインフォメーションデスク

電話番号: (0120)815244

受付時間: 月曜～金曜 10時～18時

(年末年始、祝日を除く)

電子メール: [hotspot@ntt.com](mailto:hotspot@ntt.com)

ホームページ: <http://www.hotspot.ne.jp/>

## □ Sony Notebook Setup

VAIOカスタマーリンク

## □ VAIO Video Download Manager

VAIOカスタマーリンク

## □ NextText

VAIOカスタマーリンク



## サポート・ヘルプ

### バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

### VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

### できるWindows XP for VAIO

インプレスカスタマーセンター

電話番号: (03)5213-9295

### VAIO リカバリユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

### VAIO Update

VAIOカスタマーリンク

## その他

### Java (TM) Software

サン・マイクロシステムズ株式会社

ホームページ: <http://www.java.com/ja/>

### VAIOオンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社 カスタマー  
専用デスク

電話番号: (0466)38-1410

受付時間: 月曜～金曜日 10時～18時(土曜、日  
曜、祝日、年末年始を除く)





困ったときは

# 困ったときは

本機を操作して困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次の流れに従ってください。また、メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

バイオ電子マニュアル → 1  
取扱説明書（本書） → 2

VAIO ハードウェア診断ツール → 3

サポートのホームページを見る → 4

サポートに電話で問い合わせる → 5

## □ ソフトウェアのヘルプ

お使いになるソフトウェアを起動して、ヘルプをご覧ください。（ヘルプのないソフトウェアもあります。）

## □ Windowsのヘルプ

[スタート]ボタンをクリックして、[ヘルプとサポート]をクリックして、「ヘルプとサポートセンター」をご覧ください。

[スタート]→[すべてのプログラム]→  
[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。



### □ 故障かな？と思ったときは

画面上部の **困ったときは/サポート** タブ→[よくあるトラブルと解決方法]の順にクリックして表示される情報から選んでご覧ください。

掲載しているQ&A情報は、「バイオ電子マニュアルQ&A一覧」(151ページ)をご覧ください。

### □ 本機の使いかたがわからないときは

画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックして表示される情報をご覧ください。

- 本機のスタイルについて
- 各部の説明(本体、ポートリプリケーター、ディスプレイ/LANアダプタ、キーボード、リモコン/ヘッドホン、デスクトップ画面)
- 電源/バッテリー/省電力
- タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン
- リモコン/ヘッドホン
- ディスプレイ/音
- CD/DVD
- “メモリースティック”/フロッピーディスク/コンパクトフラッシュ
- Do VAIOを楽しむ
- 音楽
- 静止画/動画
- インターネット/電子メール
- 接続/拡張
- データのやりとり/保存
- ワイヤレス機能
- 設定
- ご注意/その他

## 2 取扱説明書(本書)

バイオ電子マニュアルが起動できないときは、本書の下記の項目をご覧ください。

- 電源/起動(157ページ)
- パスワード(166ページ)
- 文字入力/キーボード(167ページ)
- ポインティング・デバイス(170ページ)
- ROTATE(ローテート)ボタン(176ページ)
- 画面/ディスプレイ/タッチパネル(176ページ)
- ポートリプリケーター(182ページ)
- ハードディスク(182ページ)
- エラーメッセージ(184ページ)

## 3 VAIO ハードウェア診断ツール

「VAIO ハードウェア診断ツール」ソフトウェアを使って、CPUやハードディスクなどのハードウェアに故障がないかチェックします。  
[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]→[VAIO ハードウェア診断ツール]の順にポインタをあわせ、[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックして起動できます。

## 4 サポートのホームページを見る

<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

VAIOカスタマーリンクホームページでは、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ情報やサービスを掲載しています。

詳しくは、付属の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

## 5 サポートに電話で問い合わせる

お電話でのお問い合わせについては、付属の「バイオ サービス・サポートのご案内」をご覧ください。

お問い合わせには、「お客様サポート番号」または「VAIOカスタマーID」が必要です。

詳しくは、55ページをご覧ください。

バイオ電子マニュアルに掲載されているQ&A情報は以下になります。  
故障かな?と思ったときなどにご参照ください。

画面上部の **困ったときは/サポート** タブ→[よくあるトラブルと解決方法]の順にクリックして表示される情報から選んでご覧ください。

### □ 電源/起動

- 電源が入らない。(⏻(パワー)ランプ(グリーン)がつかないとき)
- 電源を入れても、⏻(パワー)ランプ(グリーン)は点灯するが画面に何も表示されない。
- 電源が入らない、または電源ボタンが効かない。(◻がすばやく点滅している)
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- ハードディスクから起動できない。
- 起動時の音量や起動デバイスの設定方法がわからない。
- セーフモードでWindowsを起動したい。

### □ パスワード

- 「Sony Notebook Setup」ソフトウェアで設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。
- Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。
- Windows XPのインターネット接続パスワードの文字数が増えている。

### □ 省電力動作モード

- 休止状態に移行できない。
- バッテリ残量がわずかなのに、休止状態にならない。
- スタンバイに移行できない。
- スタンバイから通常モードに戻らない。
- バッテリで長時間使いたい。

### □ インターネット接続

#### ADSL

- ADSLでインターネットに接続できない。
- ADSL接続のネットワーク(LAN)コネクタの接続方法がわからない。

#### ネットワーク(LAN)

- ネットワーク(LAN)に接続できない。

## 携帯電話

- 携帯電話を使ってインターネットに接続できない。

### □ インターネット閲覧

- 接続するが通信速度が遅い。
- ADSL接続中に突然つながらなくなった。
- ホームページを見ることができない。
- ホームページが文字化けしている。
- ホームページの文字サイズを大きくしたい。
- ネットワークに接続すると、通知領域に「Smart Networkはネットワークの切換えを感知しました。…」というメッセージが表示される。

### □ 電子メール

- 電子メールをやりとりできない。
- 電子メールが文字化けしている。
- 電子メールに添付されているファイルが開けない。

### □ ワイヤレスLAN

- ワイヤレスLANが使えない。
- 本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない(インターネットにアクセスできない)。
- ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声、再生できなかつたり途切れたりする。また、通信速度が遅い。
- ネットワーク上の他のコンピュータが表示されない。
- コンピュータどうし(Ad hocモード)で通信できない。
- 内蔵ワイヤレスLANの物理アドレス(MACアドレス)を確認したい。
- ワイヤレスLANの通信を終了したい。

### □ リモコン

- リモコンで操作できない。
- Do VAIOを操作できない。
- リモコンを使って、省電力動作モードから通常モードに戻れない。
- Do VAIO使用時に自動的にメニュー画面から再生画面に戻ってしまう。

### □ 文字入力/キーボード

- 文字の入力方法がわからない。
- タッチパネルで文字が入力できない。
- 画面上のキーボード(「NextText」ソフトウェア)表示を消したい。
- 入力できない記号や文字がある。
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。
- IMEの言語バーが表示されない。
- 入力した文字が表示されない。
- 文字入力中に勝手にカーソルが移動する。



- ショートカットキーの使いかたがわからない。
- キートップがはずれた。

## □ ポインティング・デバイス

### 本機のポインティング・デバイス

- マルチポインターが使えない。
- 左/センター/右ボタンが使えない。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。
- マルチポインターに触れていないのにポインタが動く。
- 指がマルチポインターに触れただけで、クリックしてしまう。

### 折りたたみキーボードのポインティング・デバイス

- 文字入力中に勝手にカーソルが移動する。
- マルチポインターが使えない。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。
- マルチポインターに触れていないのにポインタが動く。
- 指がマルチポインターに触れただけで、クリックしてしまう。

## □ ZOOM(ズーム) ボタン / ROTATE(ローテート) ボタン

- ZOOM(ズーム) ボタンを押しても、画面の解像度が切り替わらない。
- ROTATE(ローテート) ボタンを押しても、画面が90度回転して表示しない。
- ROTATE(ローテート) ボタンを押すとBIOSセットアップ画面が表示される。

## □ 画面 / ディスプレイ / タッチパネル

- 画面に何も表示されない。
- 画面が固まって動かない。
- 画面の操作ができない。
- 画面が暗い。
- 画面の明るさ設定が変わってしまう。
- 画面の表示サイズがおかしい。(表示が中央に寄っている)
- デスクトップ画面上にウィンドウやアイコンの軌跡が残る。
- 画面に輝点・滅点(黒点)がある。
- Windowsの文字サイズを大きくしたい。
- 外部ディスプレイのつながりかたがわからない。
- 外部ディスプレイに何も表示されない。
- 外部ディスプレイの表示サイズ、表示位置がおかしい。
- 拡張デスクトップの設定方法がわからない。
- 液晶プロジェクタのつながりかたがわからない。
- タッチパネルの操作ができない。

## □ CD/DVDディスク

- CD-ROMから起動できない。
- 音楽CDの再生方法がわからない。
- DVDビデオの再生方法がわからない。
- 再生音量が小さい。

## □ フロッピーディスク

- フロッピーディスクが取り出せない。
- 「ディスクがいっぱいです」というメッセージが表示され、ファイルなどをフロッピーディスクに保存できない。
- 「書き込み禁止」というメッセージが表示された。
- フロッピーディスクを初期化しようとしたができない。
- フロッピーディスクにアクセスできない。
- フロッピーディスクが認識されない。
- フロッピーディスクにデータを保存したい。

## □ “メモリースティック”

- 「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」というメッセージが表示された。
- “メモリースティック”のフォーマットをしたい。
- “メモリースティック”の使いかたがわからない。
- “メモリースティック”にデータを保存したい。

## □ スピーカー/ヘッドホン

- スピーカーやヘッドホンから音が出ない。
- 本機に接続したドライブで音楽CDを再生してもスピーカーやヘッドホンから音が出ない。
- USBスピーカーを接続しても音が出ない。
- 折りたたみキーボードのFnキーを押しながらF3キーまたはF4キーを押しても、何も表示されない。
- 「Windows Media Player」ソフトウェアで録音すると雑音が混じる。

## □ プリンタ

- プリンタで印刷できない。
- プリンタで印刷できない。(今までできていたのにできなくなった場合)

## □ i.LINK/DV機器

- DV機器が使用できない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。
- 本機と接続したi.LINK対応機器が認識されない。または、「DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。」などのメッセージが表示される。
- DV機器への録画を行うソフトウェアを使用中にフレーム落ちが生じる。
- i.LINK接続したバイオどうして通信できない。

## □ ポートリプリケーター

- ポートリプリケーターに接続した周辺機器が使用できない。

## □ ハードディスク

- ハードディスクの空き容量を知りたい。
- ハードディスクの空き容量が少なくなった。
- 誤ってハードディスクを初期化してしまった。
- ハードディスクから起動できない。
- ハードディスクから異音がする。

## □ プロセッサ(CPU)

- 「システムのプロパティ」画面でCPUのクロック周波数が正しく表示されない。
- パフォーマンスが低下した。

## □ メモリ

- 「システムのプロパティ」画面でメモリの容量が正しく表示されない。

## □ ソフトウェア

- ソフトウェアの使いかたがわからない。
- ソフトウェアを終了した、または電源を切ったら、データが消えた。
- ソフトウェアの動作が遅い。
- ソフトウェアのインストール方法がわからない。
- ウイルス対策ソフトウェアが見つからない。

## □ エラーメッセージ

### 電源投入時のエラーメッセージ

- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- NTLDR is missing. Press any key to restart.
- Operating system not found
- Press <F1> to resume, <F2> to Setup
- System Disable
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。

### フロッピーディスクのエラーメッセージ

- アプリケーションが使用中です
- ディスクがいっぱいです
- 書き込み禁止

### “メモリースティック”のエラーメッセージ

- 「書き込み禁止」または「書き込み保護されています」

## その他のエラーメッセージ

- DV機器が接続されていないか、電源が入っていないので、動作しません。
- Smart Networkはネットワークの切換えを感知しました。…
- 無効な日時が入力されています。

### カスタマー登録

- オンラインでカスタマー登録できない。
- 「無効な日時が入力されています。」と表示され、オンラインカスタマー登録ができない。

はじめに

本機を  
セットアップする

基本の使いかた

インターネットを  
始める

その他

困ったときは

# よくあるトラブルと解決方法

ここでは、本機のよくあるトラブルと解決方法を説明します。

## ！ご注意

再起動または電源を入れ直す場合は、必ず「電源を切るには」(47ページ)の手順に従い、いったん電源を切ってください。  
他の方法で本機の電源を切ると、作成したファイルが使えなくなることがあります。

## 電源／起動

### Q 電源が入らない。(Ⓛ(パワー)ランプ(グリーン)がつかないとき)

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

**A** HOLD(ホールド)スイッチがオンになっている可能性があります。

HOLD(ホールド)スイッチを矢印とは逆方向にずらしてください。

**A** バッテリーが正しく装着されているか確認してください。(42ページ)

**A** 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。(44ページ)

- A** AC電源に接続しない状態で長期間放置した場合は、内蔵バックアップバッテリーが消耗すると、**⏻**POWER(パワー)スイッチを矢印の方向にずらしても電源が入らないことがあります。

ACアダプタと付属の折りたたみキーボードをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

- ①クリップなどの細い棒で本機背面のリセットスイッチ(33ページ)を押す。  
(シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。)
- ②電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。  
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。
- ③日時を確認する。  
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。
  - (1)「System Date」の項目に月/日/年(西暦)を入力する。  
例:2004年1月31日と設定するには、1 + Enterキー + 31 + Enterキー + 2004 + Enterキーの順で入力します。
  - (2)↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。  
例:午後2時35分00秒と設定するには、14 + Enterキー + 35 + Enterキー + 00 + Enterキーの順で入力します。
- ④Escキーを押す。
- ⑤↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。
- ⑥「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。
- ⑦[Exit(Save Changes)]が選ばれていることを確認してEnterキーを押す。
- ⑧「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。  
本機が起動します。
- ⑨タッチパネルの補正をする。  
[スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] → [タッチパネル]の順にポインタをあわせ、[タッチパネルの補正]をクリックします。  
表示された画面の指示に従って、タッチパネルの補正をしてください。

**A** 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。

クリップなどの細い棒で本機背面のリセットスイッチ (33 ページ) を押してから、電源を入れ直してください。

(シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。)

それでも電源が入らない場合は、AC アダプタとバッテリーをはずして 1 分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。


**A** 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露 (134 ページ) が生じている可能性があります。

その場合は、1 時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所 (80 % 以上) でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。



**A** 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIO カスタマーリンクにご相談ください。

---


**Q** 電源を入れても、 (パワー) ランプ (グリーン) は点灯するが画面に何も表示されない。

電源が入らないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

**A** 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。

付属のディスプレイ / LAN アダプタやポートリプリケーターの  /  (外部出力) ボタンを押して、表示を切り替えてください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

 **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある [ディスプレイ / 音] → [ディスプレイ] → [表示するディスプレイを選ぶ] の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

**A** しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

①本機の $\odot$ POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにし、(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

②それでも画面に何も表示されない場合は、クリップなどの細い棒で本機背面のリセットスイッチ(33ページ)を押してから、再度電源を入れ直す。  
(シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。)

上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の $\odot$ POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにし、 $\odot$ (パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリーをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

**A** 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。

その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。

湿度の高い場所(80%以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

---

**Q** 電源が入らない、または電源ボタンが効かない。(□がすばやく点滅している)

**A** 装着されているバッテリーは本機では使用できません。

バッテリーを取りはずしてください。



---

## Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作を行ってください。

**A**使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- 付属の折りたたみキーボードを取り付けている場合は、Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。

データが未保存の場合は、「保存しますか?」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。

「コンピュータの電源を切る」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上の[電源を切る]をクリックしてください。

### **ヒント**

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows XPは、周辺機器やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

**A**USB機器などの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。

**A** 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作してください。

① Enterボタンを押す。

② それでも電源が切れない場合は、本機の $\odot$ POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにして、 $\odot$ (パワー)ランプが消灯するか確認する。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。

ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。

また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- Ctrl+Alt+Delボタンを押して「Windows タスク マネージャ」画面を表示させ、「シャットダウン」メニューをクリックし、[コンピュータの電源を切る]をクリックする。
- 本機の $\odot$ POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにする。
- クリップなどの細い棒で本機背面のリセットスイッチ(33ページ)を押す。  
(シャープペンシルの芯など折れやすいものは、本機の故障の原因となりますので使用しないでください。)
- ACアダプタとバッテリーをはずす。

---

## Q 電源が勝手に切れた。

**A** バッテリーで本機を使用中にバッテリーの残量がわずかになると、注意を促すメッセージが画面に表示され、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

ACアダプタで使用するか、バッテリーを充電してください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリー/省電力]→[バッテリー]→[バッテリーを充電する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

**A** 本体が熱くなりすぎると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。

次の方法で本体の温度を下げてください。

- 「電源オプションのプロパティ」画面の[VAIO 省電力設定]タブ内の設定で「放熱制御」を「放熱優先」にする。  
VGN-U70Pをお使いの場合は、「CPU 制御」を「省電力優先」に変更するとさらに温度を下げるができます。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[電源 / バッテリ / 省電力] → [省電力] → [バッテリーの消費電力を節約する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

- 接続しているUSB機器をはずす。
- 本機を使っていないときは、本機をスタンバイまたは休止状態にする。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[電源 / バッテリ / 省電力] → [省電力] → [本機を使っていないときに消費電力をおさえる(省電力動作モード)]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

---

**Q** 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

**A** 装着されているバッテリーは本機では使用できません。

本機の電源が切れてから、バッテリーを取りはずしてください。

---

**Q** 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

**A** 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「NTLDR is missing. Press any key to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、Enterボタンや上下左右カーソルキー、付属の折りたたみキーボードのいずれかのキーを押してください。

**A**「Operating system not found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してからCtrl+Alt+Delボタンを押して本機を再起動してください。

再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。(129ページ)

**A** パワーオンパスワードを3回間違えて入力すると、「System Disable」と表示されWindowsが起動しません。

本機の $\odot$ POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにして $\odot$ (パワー)ランプが消灯するか確認してください。

その後、付属の折りたたみキーボードを接続し、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。

パスワードを入力する際は、 $\text{[Num Lock]}$ ランプや

$\text{[Caps Lock]}$ ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

はじめに  
本機を  
セットアップする  
基本的な使いかた  
インターネットを  
始める  
その他  
困ったときは

**A** 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリーが消耗しています。

ACアダプタと付属の折りたたみキーボードをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

- ①電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。

画面左下に「Entering SETUP..」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。「Entering SETUP..」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

- ②日時を確認する。

「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。

- (1)「System Date」の項目に月／日／年(西暦)を入力する。

例:2004年1月31日と設定するには、1 + Enterキー + 31 + Enterキー + 2004 + Enterキーの順で入力します。

- (2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。

例:午後2時35分00秒と設定するには、14 + Enterキー + 35 + Enterキー + 00 + Enterキーの順で入力します。

- ③Escキーを押す。

- ④ ↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。

- ⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

- ⑥ [Exit(Save Changes)]が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。

- ⑦ 「Save configuration changes and exit now?」と表示されるので、「Yes」を選択して、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

また、本機の起動後には次の手順でタッチパネルの補正を行ってください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] → [タッチパネル]の順にポインタをあわせ、[タッチパネルの補正]をクリックする。

- ② 表示された画面の指示に従って、タッチパネルの補正をする。

## Q ハードディスクから起動できない。

- A** フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、Enterボタンや上下左右カーソルキー、付属の折りたたみキーボードのいずれかのキーを押してください。

## Q 起動時の音量や起動デバイスの設定方法がわからない。

- A** 起動時の音量や起動デバイスの設定について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリー/省電力]→[電源/起動/終了]→[起動時の音量や起動デバイスを変更する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## Q セーフモードでWindowsを起動したい。

- A** 次の手順でWindowsを起動させてください。

- ① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示された後、画面が真っ暗になりWindowsのロゴマークが表示されるまでの間にZOOM(ズーム)ボタンを押す。  
「Windows 拡張オプション メニュー」画面が表示されます。
- ② 「セーフ モード」が選択されているのを確認し、Enterボタンを押す。

## パスワード

### Q 「Sony Notebook Setup」ソフトウェアで設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。

- A** パスワードを忘れてしまったときは、修理(有償)が必要となります。

VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

---

**Q** Windows XPのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

**A** パスワードの大文字と小文字は区別されます。

確認してから入力し直してください。

**A** パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」からパスワードの変更を行ってください。

**A** 「コンピュータの管理者」など、管理者権限を持つユーザーが他にいない場合、「Administrator(ユーザー名)」のパスワードを設定していなければ、Windowsをセーフモードで起動して「Administrator(ユーザー名)」でログオンし、パスワードを忘れてしまったユーザーのパスワードを変更することが可能です。

## 文字入力／キーボード

---

**Q** 文字の入力方法がわからない。

**A** 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の [バイオの使いかた](#) タブをクリックし、[コンピュータの基礎を学ぶ] できるWindows for VAIO]内の「文字を入力しよう」をご覧ください。

---

**Q** タッチパネルで文字が入力できない。

**A** HOLD(ホールド)スイッチがオンになっている可能性があります。

HOLD(ホールド)スイッチがオンになっているときは、タッチパネルの操作ができません。

HOLD(ホールド)スイッチを矢印とは逆方向にずらしてホールドを解除するか、付属の折りたたみキーボードをお使いください。

**A** タッチパネルが無効になっていないか確認してください。

次の手順で操作します。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]  
→ [タッチパネル] の順にポインタをあわせ、[タッチパネル  
のプロパティ] をクリックする。  
「タッチパネルのプロパティ」画面が表示されます。
- ② [基本設定] タブをクリックする。
- ③ タッチパネルの有効/無効の [タッチパネルを使用する] が  
チェックされていることを確認する。  
チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

---

**Q** キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

**A** 本機と付属の折りたたみキーボードが正しく取り付けられている  
か確認してください。(67ページ)

**A** 入力モードを確認してください。

日本語入力モードと英字入力モードがあります。

言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」




に、英字入力モードのとき

は「A」  になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り  
替えられます。

**A**  (Caps Lock) ランプが点灯していないか確認してください。

 (Caps Lock) ランプが点灯していると、Shift キーを押さな  
くても大文字が入力されます。Shift キーを押しながら Caps  
Lock キーを押してランプを消灯させてから入力してくだ  
さい。(38ページ)

**A**  (Num Lock) ランプが点灯していないか確認してください。

U、I、O、J、K、L、M、@ などの文字が入力できない場合は、Num  
Lock (ナムロック) が有効になっている場合があります。点灯  
している場合は、Num Lk キーを押してランプを消灯させてか  
ら入力してください。(37ページ)

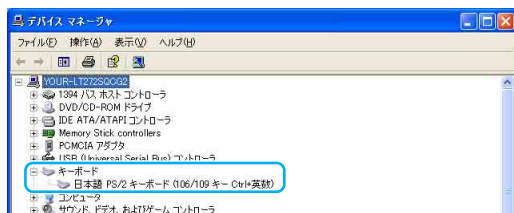


## ▲ キーボードのドライバが正しく設定されているか確認してください。

異なるキーボードタイプに設定していると、入力したい文字と違う文字が表示されることがあります。

次の手順で操作してください。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。
- ② [パフォーマンスとメンテナンス] アイコンをクリックする。
- ③ [システム] アイコンをクリックする。
- ④ [ハードウェア] タブの [デバイス マネージャ] をクリックする。
- ⑤ キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl+英数)」に設定されているか確認する。



### ポイント

キーボードの項目が「日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl+英数)」に設定されていない場合は、次の手順で変更してください。

- ① キーボードの項目に表示されているキーボード名を右クリックし、[ドライバの更新] をクリックする。  
「ハードウェアの更新ウィザード」画面が表示されます。
- ② [一覧または特定の場所からインストールする] をクリックしてチェックし、[次へ] をクリックする。
- ③ [検索しないで、インストールするドライバを選択する] をクリックしてチェックし、[次へ] をクリックする。
- ④ [互換性のあるハードウェアを表示] をクリックしてチェックをはずし、同じ画面の「製造元」で [(標準キーボード)] が選択されているか確認したあと、「モデル」から [日本語 PS/2 キーボード (106/109 キー Ctrl+英数)] を選択し、[次へ] をクリックする。
- ⑤ ここで「ドライバの更新警告」画面が表示されますが、[はい] をクリックする。
- ⑥ 「ハードウェアの更新ウィザードの完了」画面が表示されるので、[完了] をクリックする。
- ⑦ 「システム設定の変更」画面で再起動を促すメッセージが表示されるので、[はい] をクリックして再起動を行う。

## 本機のポインティング・デバイス

### Q マルチポインターが使えない。

#### A マルチポインターが無効になっています。

マルチポインターの設定を変更し、マルチポインターを有効にしてください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン]→[本機のポインティング・デバイス]→[マルチポインターを無効にする/有効にする]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

#### A マルチポインターのプレス・セレクト機能の設定を確認してください。

プレス・セレクト機能の設定について詳しくは、詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン]→[本機のポインティング・デバイス]→[プレス・セレクト機能を使う]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

#### A 本機のマルチポインターは、静電容量を利用して位置情報を求めているため、静電気の放電により一時的に動作しなくなることがあります。

この場合、1度 STANDBY(スタンバイ) ボタンでスタンバイモードにしてから、もう1度 STANDBY(スタンバイ) ボタンを押して通常モードに戻します。

#### A HOLD(ホールド)スイッチがオンになっている可能性があります。

HOLD(ホールド)スイッチがオンになっているときは、マルチポインターが使用できません。

HOLD(ホールド) ボタンを矢印と逆方向にずらしてください。

---

## Q 左/センター/右ボタンが使えない。

**A** HOLD (ホールド) スイッチがオンになっている可能性があります。

HOLD (ホールド) スイッチがオンになっているときは、左/センター/右ボタンが使用できません。

HOLD (ホールド) ボタンを矢印と逆方向にずらしてください。

**A** パーティカル・スタイル時は、モバイルグリップ・スタイル時とボタンの位置が異なります。

ボタンの位置を確認してください。(78ページ)

---

## Q ポインタが動かない。

**A** 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、付属の折りたたみキーボードを接続してから、次の手順で本機の電源を切る、または再起動させてください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながら Uキーを押してから ↑キーまたは ↓キーを押して [コンピュータの電源を切る] または [再起動] を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の **POWER** (パワー) スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにして電源を切ってください。

---

## Q 画面上のすべてのものが動かない。

**A** 付属の折りたたみキーボードを接続してから、次の手順で本機を再起動してください。

① Ctrlキーと Altキーを押しながら Deleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。

② Altキーを押しながら Uキーを押してから ↑キーまたは ↓キーを押して [再起動] を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の **POWER** (パワー) スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにして電源を切ってください。

## Q マルチポインターに触れていないのにポインタが動く。

**A** 上下左右カーソルキーなどを押していないことを確認してください。

**A** 通常の操作状態でマルチポインターを使っていないにもかかわらず、ポインタが自然に動くことがあります。これは「ドリフト」といい、故障ではありません。

しばらくマルチポインターから指を離しておけば、ポインタは止まります。ドリフトは以下の場合に起こることがあります。

- 電源を入れた直後
- 省電力モードから通常モードに戻った直後
- マルチポインターを長時間使用し続けたとき
- 温度が急激に変化したとき

## Q 指がマルチポインターに触れただけで、クリックしてしまう。

**A** 次の手順でマルチポインターのプレス・セレクト機能を無効にしてください。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。  
「コントロール パネル」画面が表示されます。
- ② 「プリンタとその他のハードウェア」アイコンをクリックする。
- ③ [マウス] アイコンをクリックする。  
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
- ④ [デバイス設定] タブをクリックする。
- ⑤ [設定] ボタンをクリックする。
- ⑥ 左画面に表示された [プレス・セレクト] をクリックする。
- ⑦ 右画面で「「プレス・セレクト」を使用する」のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。
- ⑧ [OK] をクリックする。

## 折りたたみキーボードのポインティング・デバイス

---

**Q** 文字入力中に勝手にカーソルが移動する。

**A** キーボードのポインティング・デバイスのプレスセレクト機能をオフにしてください。

次の手順で操作してください。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。
- ② [プリンタとその他のハードウェア] アイコンをクリックする。
- ③ [マウス] アイコンをクリックする。
- ④ [外付けマルチポインタ] タブをクリックする。
- ⑤ 「プレスセレクト」の「プレスセレクトを使用する」チェックボックスをクリックしてチェックをはずす。
- ⑥ [OK] をクリックする。

---

**Q** マルチポインターが使えない。

**A** キーボードのポインティング・デバイスのプレスセレクト機能をオンにしてください。

プレスセレクト機能の設定について詳しくは、詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある [タッチパネル/ポインティング・デバイス/キーボード/ボタン] → [折りたたみキーボード/ポインティング・デバイス] → [プレスセレクト機能を使う] の順をクリックして表示される情報をご覧ください。

## Q ポインタが動かない。

- A** 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。

しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切る、または再起動させてください。

- ①CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。
- ②Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[コンピュータの電源を切る]または[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の $\odot$ POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにして電源を切ってください。

## Q 画面上のすべてのものが動かない。

- A** 次の手順で本機を再起動してください。

- ①CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して「Windows タスク マネージャ」を表示させる。
- ②Altキーを押しながらUキーを押してから↑キーまたは↓キーを押して[再起動]を選び、Enterキーを押す。

上記の操作でも何も起こらないときは、本機の $\odot$ POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにして電源を切ってください。

## Q マルチポインターに触れていないのにポインタが動く。

- A** キーボードのマルチポインターを押していないことを確認してください。

- A** キーボードを取り付け直してください。

キーボードの認識にしばらく時間がかかります。取り付けた直後は、マルチポインターを押さないようにしてください。

キーボードを認識するまでの間にマルチポインターを操作すると「ドリフト」の原因になります。

**A**通常の操作状態でマルチポインターを使っていないにもかかわらず、ポインタが自然に動くことがあります。これは「ドリフト」といい、故障ではありません。

しばらくマルチポインターから指を離しておけば、ポインタは止まります。ドリフトは以下の場合に起こることがあります。

- 電源を入れた直後
- 折りたたみキーボードを本機に取り付けた直後
- 省電力モードから通常モードに戻った直後
- マルチポインターを長時間使用し続けたとき
- 温度が急激に変化したとき

---

**Q** 指がマルチポインターに触れただけで、クリックしてしまう。

**A** 次の手順でキーボードのマルチポインターのプレスセレクト機能を無効にしてください。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル] をクリックする。  
「コントロール パネル」画面が表示されます。
- ② 「プリンタとその他のハードウェア」アイコンをクリックする。
- ③ [マウス] アイコンをクリックする。  
「マウスのプロパティ」画面が表示されます。
- ④ [外付けマルチポインタ] タブをクリックする。
- ⑤ 「プレスセレクト」の「プレスセレクトを使用する」のチェックボックスをクリックして、チェックをはずす。
- ⑥ [OK] をクリックする。

## ROTATE(ローテート)ボタン

**Q** ROTATE(ローテート)ボタンを押すとBIOSセットアップ画面が表示される。

**A** 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されているときにROTATE(ローテート)ボタンを押すとBIOSセットアップ画面が表示されます。

次の手順でBIOS画面を終了します。

- ①上下左右カーソルキーで[Exit]を選択する。
- ②上下左右カーソルキーで[Exit(Discard Changes)]を選択する。
- ③Enterボタンを押してWindowsを起動させる。

## 画面/ディスプレイ/タッチパネル

**Q** 画面に何も表示されない。


**A** LCD/Videoスタンバイになっている場合があります。

マルチポインターやタッチパネルに触れるか、Enterボタンや上下左右カーソルキーのいずれかのキーを押してください。


**A** HOLD(ホールド)スイッチがオンになっている可能性があります。


HOLD(ホールド)スイッチを矢印とは逆方向にずらして、省電力モードから復帰させてください。


**A** 外部ディスプレイに表示が切り替えられている場合があります。

付属のディスプレイ/LANアダプタやポートリプリケーターの  (外部出力)ボタンを押して表示を切り替えてください。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

 タブをクリックし、画面左側にある[ディスプレイ/音]→[ディスプレイ]→[表示するディスプレイを選ぶ]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

**A** 外光(太陽光など)が充分にない場所で  (輝度)ボタンで「照明オフ」にすると、液晶ディスプレイが見づらくなることがあります。

この場合は、再度  (輝度)ボタンを押してください。



**▲**本機はエネルギースター規格に基づいて設計されており、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します(スタンバイ<sup>\*1</sup>)。

元の状態に戻すには、以下の方法があります。

- STANDBY(スタンバイ)ボタンを押す
- 本機のEnterボタンや上下左右カーソルキーのいずれかのキーを押す
- ⏻POWER(パワー)スイッチ<sup>\*2</sup>を矢印の方向に一瞬ずらす
- 付属のリモコンを取り付けている場合は、ジョグレバーを押し込む

また、バッテリーでご使用中に約1時間操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります(休止状態<sup>\*1</sup>)。元の状態に復帰させるには、STANDBY(スタンバイ)ボタンを押すか⏻POWER(パワー)スイッチを矢印の方向に一瞬ずらしてください。

ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。<sup>\*3</sup>

\*1 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリー/省電力]→[省電力]→[本機を使っていないときに消費電力をおさえる(省電力動作モード)]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

\*2 ⏻POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらすと、保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

\*3 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[電源/バッテリー/省電力]→[省電力]→[バッテリーの消費電力を節約する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## Q 画面が固まって動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① Ctrl+Alt+Delボタンを押す。

「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。

「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。



② 「Windows タスク マネージャ」画面の[シャットダウン]メニューから[コンピュータの電源を切る]をクリックする。本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機のPOWER(パワー)スイッチを矢印の方向にずらして、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機のPOWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらして電源を切ってください。電源が切れるとPOWER(パワー)ランプが消灯します。POWER(パワー)ランプ(グリーン)が点灯した場合は、いったん手を離し、再度POWER(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらして電源を切ってください。

**！ご注意**

上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

---

## Q 画面が暗い。

**A** ☀️(輝度)ボタンを押してください。

☀️(輝度)ボタンを押すと、液晶ディスプレイの明るさを「明」、「暗」、「照明オフ」の3段階に変更できます。

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[ディスプレイ/音]→[ディスプレイ]→[ディスプレイの明るさを調節する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

---

## Q 画面に輝点・減点(黒点)がある。

**A** 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

画面上に常時点灯している輝点(赤、青、緑など)や減点がある場合があります。液晶パネルは非常に精密な技術で作られておりますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。また、見る角度によってすじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。

---

## Q 画面の色がおかしい。

**A** Do VAIOが起動しているときに、本機の⏻(パワー)スイッチを4秒以上矢印の方向にずらしたままにして強制的に電源を切ると、画面の色がおかしくなることがあります。

画面の色がおかしくなった場合は、[スタート]ボタンをクリックして、[終了オプション]→[電源を切る]の順にクリックして電源を切り、本機の⏻(パワー)スイッチを矢印の方向にずらして電源を入れ直してください。

## Q 外部ディスプレイに何も表示されない。

**A**正しく接続されているか確認してください。

- ディスプレイ/LANアダプタを使用の場合
  - 本機とディスプレイ/LANアダプタ
  - ディスプレイ/LANアダプタとケーブル
  - ケーブルと外部ディスプレイ
- ポートリプリケータを使用の場合
  - 本機とポートリプリケータ
  - ポートリプリケータとケーブル
  - ケーブルと外部ディスプレイ

詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の

**バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[ディスプレイ/音]→[ディスプレイ]→[外部ディスプレイにつなぐ/表示する]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

**A**表示するディスプレイの設定を確認してください。

表示するディスプレイの設定について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[ディスプレイ/音]→[ディスプレイ]→[表示するディスプレイを選ぶ]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。



**A**本機を起動中、ユーザーの簡易切り替えを行うと、表示するディスプレイを変更することができません。

本機起動時のユーザーでログオンし直すか、「バイオ電子マニュアル」画面上部の **バイオの使いかた** タブをクリックし、画面左側にある[ディスプレイ/音]→[ディスプレイ]→[表示するディスプレイを選ぶ]の順にクリックして表示される情報をご覧ください。

## Q 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイなどに同時表示ができない。

**A**外部ディスプレイや液晶プロジェクタの種類によっては、本機の液晶ディスプレイと同時表示できないものもあります。

**A** 付属のディスプレイ/LANアダプタやポトリプリケーターの

  (外部出力)ボタンを使う場合は、「Sony Notebook Setup」ソフトウェアの設定を確認してください。

次の手順で操作してください。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]  
→ [Sony Notebook Setup] の順にポインタをあわせ、[Sony Notebook Setup] をクリックする。  
「Sony Notebook Setup」画面が表示されます。
- ② [解像度設定] タブをクリックする。
- ③ 「外部ディスプレイに表示する時、本機の液晶ディスプレイにも表示する」のチェックボックスがチェックされているか確認する。  
チェックされていない場合は、クリックしてチェックしてください。
- ④ [OK] をクリックする。

---

**Q** タッチパネルの操作ができない。

**A** HOLD (ホールド) スイッチがオンになっている可能性があります。

HOLD (ホールド) スイッチがオンになっているときは、タッチパネルの操作ができません。

HOLD (ホールド) スイッチを矢印とは逆方向にずらしてください。

**A** タッチパネルが無効になっていないか確認してください。

次の手順で操作します。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム]  
→ [タッチパネル] の順にポインタをあわせ、[タッチパネルのプロパティ] をクリックする。  
「タッチパネルのプロパティ」画面が表示されます。
- ② [基本設定] タブをクリックする。
- ③ タッチパネルの有効/無効の [タッチパネルを使用する] がチェックされていることを確認する。  
チェックされていないときは、クリックしてチェックします。

**Q** 本機の液晶ディスプレイと外部ディスプレイなどに同時表示ができない。

**A** 「画面/ディスプレイ/タッチパネル」内の項目(180ページ)をご覧ください。

## ハードディスク

**Q** ハードディスクの空き容量を知りたい。

**A** 次の手順で確認してください。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[マイ コンピュータ] をクリックする。
- ② 空き容量を知りたいハードディスクのアイコンを右クリックする。
- ③ [プロパティ] をクリックする。



ハードディスクのプロパティ画面が表示され、空き容量が確認できます。

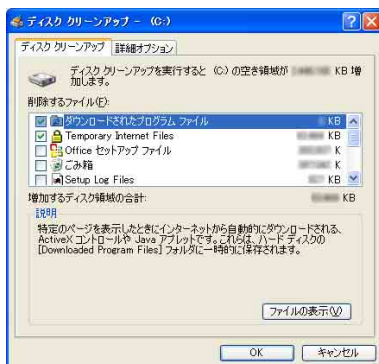
## Q ハードディスクの空き容量が少なくなった。

### A ディスククリーンアップを行ってください。

Windowsでは、処理を速くするために一時ファイルやバックアップファイルが自動的に作成されるため、ハードディスクの空き容量が減少します。ディスククリーンアップを行うと、一時ファイルなどが削除され、空き容量を増やすことができます。

次の手順でディスククリーンアップを行ってください。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] の順にポインタをあわせ、[ディスクのクリーンアップ] をクリックする。  
「ドライブの選択」画面が表示されます。
- ② [ローカルディスク (C:)] または [ローカルディスク (D:)] を選択して、[OK] をクリックする。
- ③ ファイルの説明をよく読み、削除するファイルにチェックをつける。



- ④ [OK] をクリックする。  
「これらの操作を実行しますか？」というメッセージが表示されます。
- ⑤ [はい] をクリックする。  
ディスクのクリーンアップが実行されます。

## Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

### A ハードディスクにあったファイルは復元できません。

ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。(117ページ)

## Q ハードディスクから起動できない。

- A** フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。

フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押して取り出し、Enterボタンや上下左右カーソルキー、付属の折りたたみキーボードのいずれかのキーを押してください。

## Q ハードディスクから異音がする。

- A** OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。

これは正常な処理であり、故障ではありません。

ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。

ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

- ① [スタート]ボタンをクリックして、[すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [システムツール]の順にポインタをあわせ、[ディスク デフラグ]をクリックする。  
「ディスク デフラグ ツール」画面が表示されます。
- ② 「最適化」をクリックする。  
最適化(デフラグ)が開始されます。

- A** ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。

これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

## エラーメッセージ

表示されたメッセージの解決方法をご案内します。

## Q Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

- A** 「電源/起動」(163ページ)をご覧ください。



---

**Q** No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

**A** 「電源／起動」(163ページ)をご覧ください。

---

**Q** NTLDR is missing. Press any key to restart.

**A** 「電源／起動」(163ページ)をご覧ください。

---

**Q** Operating system not found

**A** 「電源／起動」(164ページ)をご覧ください。

---

**Q** Press <F1> to resume, <F2> to Setup

**A** 「電源／起動」(165ページ)をご覧ください。

---

**Q** System Disable

**A** 「電源／起動」(164ページ)をご覧ください。

---

**Q** このリチャージャブルバッテリーパックは使用できません。

**A** 「電源／起動」(163ページ)をご覧ください。

---

**Q** 無効な日時が入力されています。

**A** 日時が正しく設定されているか確認する。

- ① [スタート] ボタンをクリックして、[コントロール パネル]  
→ [日付、時刻、地域と言語のオプション] → [日付と時刻] の  
順にクリックする。  
「日付と時刻のプロパティ」画面が表示されます。
- ② [日付と時刻] タブをクリックして、「日付」と「時刻」を現在  
の日時にあわせる。
- ③ [OK] をクリックする。  
変更した日時の設定が有効になります。

# 主な仕様

モデル	VGN-U70P		VGN-U50
OS	Microsoft® Windows® XP Professional		Microsoft® Windows® XP Home Edition
プロセッサ*1	超低電圧版 インテル® Pentium® M プロセッサ 1 GHz (拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載)		超低電圧版 インテル® Celeron® M プロセッサ 900 MHz
キャッシュメモリ	1次キャッシュ 64 Kバイト、 2次キャッシュ 1 Mバイト (CPU内蔵)		1次キャッシュ 64 Kバイト、 2次キャッシュ 512 Kバイト (CPU内蔵)
システムバス	400 MHz		
チップセット	インテル® 855GM チップセット		
メインメモリ 標準/最大	512 Mバイト/最大 512 Mバイト (DDR SDRAM) (ビデオメモリと共有)	256 Mバイト/最大 512 Mバイト (DDR SDRAM) (ビデオメモリと共有)	
メモリバス	266 MHz		
拡張メモリスロット(空き)	専用メモリスロット(DDR266) × 1(0)		
表示機能	グラフィックアクセラレータ	インテル® 855GM チップセットに内蔵(3Dアクセラレーション対応)	
	ビデオメモリ	最大 64 Mバイト(メインメモリ共有)	
	液晶ディスプレイ	5型 SVGA(800 × 600 ドット)対応、インナータッチパネル式、TFTカラー液晶	
	表示モード	最大約 1619 万色*2 (800 × 600)	
外部ディスプレイ出力*3	最大約 1677 万色(1600 × 1200、1280 × 1024、1280 × 768、1024 × 768、800 × 600)		
記憶装置	ハードディスクドライブ	約 20 Gバイト(Ultra ATA/100) (C: 約 10 Gバイト/D: 約 7 Gバイト(お買い上げ時))*4*5	
	外部接続端子	USB2.0(High-speed/Full-speed/Low-speed対応) × 1  ステレオヘッドホン出力 (ステレオミニジャック対応、付属スティック・コントローラ対応) × 1  I/Oコネクタ × 1  DC IN(電源入力端子) × 1	
ポトリプリケータ	本体	USB2.0(High-speed/Full-speed/Low-speed対応) × 4	
		ネットワーク(LAN)コネクタ(100BASE-TX/10BASE-T) × 1	
		i.LINK(IEEE1394)S400(4ピン) × 1	
		バイオノート関連製品専用DC OUT(電源供給) × 1	
		外部ディスプレイ出力(VGAタイプ、D-sub 15ピン) × 1	
		I/Oコネクタ × 1	
ディスプレイ/LANアダプタ	ディスプレイ/LANアダプタ	DC IN(電源入力端子) × 1	
		外部ディスプレイ出力(VGAタイプ、D-sub 15ピン) × 1	
		ネットワーク(LAN)コネクタ(100BASE-TX/10BASE-T) × 1	
		I/Oコネクタ × 1	
ワイヤレス通信	2.4 GHzワイヤレスLAN(内蔵) (IEEE802.11b/g準拠、Super G対応*6、WPA対応、Wi-Fi適合)*7*8 無線チャンネル:1~14*9 変調方式:DS-SS(IEEE802.11b準拠)、OFDM(IEEE802.11g準拠)		
メモリースティックスロット	メモリースティック(メモリースティック PRO対応、高速データ転送対応)*10		
コンパクトフラッシュ™スロット	Type II × 1		
オーディオ機能	AC97準拠、メガベース(高低音強調)機能、内蔵モノラルスピーカー		
入力デバイス	スティック式マルチポインティング・デバイス インナータッチパネル マルチポインター対応折りたたみキーボード(付属)		

モデル		VGN-U70P	VGN-U50
主な付属品		「付属品を確認する」(22ページ)をご覧ください。	
電源		<ul style="list-style-type: none"> <li>ACアダプタ<sup>*1</sup>: AC 100-240 V、50/60 Hz (付属電源コードはAC 100 V用)</li> <li>バッテリー: 出力電圧 11.1 V</li> </ul>	
バッテリー駆動時間 <sup>*12 *13</sup>		<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーパック (S): 約3時間</li> <li>バッテリーパック (L): 約6時間</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーパック (S): 約2.5時間</li> <li>バッテリーパック (L): 約5.5時間</li> </ul>
バッテリー充電時間 <sup>*14</sup>		<ul style="list-style-type: none"> <li>バッテリーパック (S): 電源オン/オフ時: 約1.5時間 (85%)、約2.5時間 (100%)</li> <li>バッテリーパック (L): 電源オン/オフ時: 約3時間 (85%)、約4時間 (100%)</li> </ul>	
温湿度条件		<ul style="list-style-type: none"> <li>動作温度: 5°C~35°C (温度勾配 10°C/時以下)</li> <li>動作湿度: 20%~80% (結露のないこと) ただし 35°Cにおける湿度は 65%以下 (湿球温度 29°C以下)</li> <li>保存温度: -20°C~60°C (温度勾配 10°C/時以下)</li> <li>保存湿度: 10%~90% (結露のないこと) ただし 60°Cにおける湿度は 20%以下 (湿球温度 35°C以下)</li> </ul>	
外形寸法 (突起部含まず)	本体	約幅167 mm×高さ108 mm×奥行き26.4 mm (バッテリーパック (S) 装着時)	
	ポートリプリケーター	約幅167 mm×高さ66.7 mm×奥行き116.6 mm	
	折りたたみキーボード	約幅300 mm×高さ9.5 mm×奥行き113 mm (開いた時) 約幅165 mm×高さ19.5 mm×奥行き113 mm (閉じた時)	
質量	本体	約550 g (バッテリーパック (S) 装着時)	
	ポートリプリケーター	約245 g	
	折りたたみキーボード	約205 g	
	ACアダプタ	約180 g	
別売品		<ul style="list-style-type: none"> <li>リチャージャブルバッテリーパック (S) VGP-BPS1</li> <li>リチャージャブルバッテリーパック (L) VGP-BPL1</li> <li>モバイルACアダプター VGP-AC16V7</li> <li>ポートリプリケーター VGP-PRU1</li> <li>キャリングケース VGP-CKU1</li> <li>液晶保護シート VGP-FLS7</li> <li>512MB拡張メモリーモジュール VGP-MM512H (VGN-U50のみ対象)<sup>*15</sup></li> <li>USB フロッピーディスクドライブ PCGA-UFD5</li> </ul>	

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- \*1 プロセッサの処理能力は、使用状況により変化します。
- \*2 グラフィックアクセラレータのデザイン機能により実現。
- \*3 外部ディスプレイによっては表示できないモードがあります。
- \*4 ハードディスクドライブ内にリカバリ (お買い上げ時の状態に戻す) に必要なデータを保持します。このリカバリ用の領域として約3 Gバイトを消費します。
- \*5 1 Gバイトを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1 Gバイトを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、約16 Gバイト (C: 約9 Gバイト、D: 約7 Gバイト) です。ファイルシステムはNTFSです。
- \*6 Atheros Communications, Inc. が開発した無線LAN高速化技術で、対応した機器間ではより一層ワイヤレス通信の高速化が可能です。(Ad hocモード時は除く。)
- \*7 通信速度 (IEEE802.11b: 最大約11Mbps、IEEE802.11g: 最大約54Mbps) は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況により通信が切断される場合があります。
- \*8 IEEE802.11gは、IEEE802.11bとの混在環境では相互の干渉により通信速度が低下する場合があります。
- \*9 14チャンネルに対する規制が他チャンネルと異なるために、14チャンネルは、IEEE802.11bモードで動作します。
- \*10 メモリースティック PRO ではマジックゲート機能は使用できません。
- \*11 その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。
- \*12 省電力モード時。駆動時間は使用状況および設定等により記載時間と異なる場合があります。
- \*13 JEITAバッテリー動作測定法 (Ver.1.0) にもとづく駆動時間。詳細についてはVAIOホームページ内[サポート]機種別ページで順次ご案内します。
- \*14 充電時間は使用状況により、記載時間と異なる場合があります。
- \*15 専用メモリーを拡張するには、お買い上げ時に装着済みのメモリーモジュールを取りはずす必要があります。(108ページ)

# 索引



## ⇒ バイオ電子マニュアル



?が付いている項目に関連する情報は、本機にプレインストールされている「バイオ電子マニュアル」内に詳しい情報が記載されています。

### 「バイオ電子マニュアル」の起動方法

[スタート]ボタン→[すべてのプログラム]→[バイオ電子マニュアル]の順にクリックします。

VAIOランチャーが起動している場合は、



?をクリックしてください。

## 【ア行】

イヤープース	23
インターネット	86
インターネット閲覧	152
インターネット接続	151
ウイルス	53, 93, 104
液晶ディスプレイ	27, 82, 134, 153, 176
エラーメッセージ	155, 184
折りたたみキーボード	22, 25, 37, 66, 138, 152, 153, 167, 173

音楽	?
再生	?
音量	?
音量つまみ	40

## 【カ行】

外部出力ボタン	34, 36, 69, 181
カスタマー登録	55, 156
カスタマーID	55
画面	153, 176

## キーボード

__	22, 25, 37, 66, 138, 152, 153, 167, 173
取り付ける	47, 67
取りはずす	67
左ボタン	39
開く	66
マルチポインター	39
右ボタン	39
予備用キャップ	22
ロックレバー	38, 66
起動	151, 157
輝度ボタン	28
吸気口	33
休止状態	45, 46, 139
クリックする	73, 79
クリップ	40
携帯電話	152
結露	134
誤作動防止スイッチ	40
コンテンツブラウザボタン	40
コンパクトフラッシュ	?
スロット	32
コンピュータウイルス	53, 93, 104

## 【サ行】

再生モードボタン	40
縮小表示ウィンドウ	83
上下左右カーソルキー	28, 80
省電力	?
省電力動作モード	46, 139, 151, ?
ショートカットキー	?
Fnキーとの組み合わせ	?
Windowsキーとの組み合わせ	?
ジョグレバー	40
ズームボタン	29, 82, 153
スクロールする	80
スタイラス	23, 25, 72
取り付け/取りはずし	74

スタンバイ	46, 139
スタンバイボタン	32
ステレオミニプラグ	40
ストラップ	23, 25, 30, 74
ホルダー	25, 30, 31
スピーカー	154,
静止画	
再生	
セキュリティ	104
接続	
液晶プロジェクタ	
外部ディスプレイ	
スピーカー	
ネットワーク (LAN)	
プリンタ	
ポトリプリケータ	
リモコン/ヘッドホン	
i.LINK	
USB機器	
設定	
音量	
省電力	
タッチパネル	
ディスプレイ	
ポインティング・デバイス	
ボタン	
本機の使用環境	
センターボタン	27, 78
ソフトウェア	155
不正コピー禁止について	140
付属ソフトウェア	142

## 【タ行】

ダウンロードボタン	34, 69
タッチパネル	27, 72, 75, 153, 176
クリックする	73
タップする	73
ダブルクリックする	73
ダブルタップする	73
ドラッグする	73
右クリック機能	73
文字入力	75
タッチパネル式液晶ディスプレイ	27
タップする	73
ダブルクリックする	73, 79
ダブルタップする	73
停止ボタン	40
ディスク	154
お手入れ	141
取り扱いについて	135
ディスプレイ	27, 82, 134, 153, 176,
表示切り替え	
ディスプレイ/LANアダプタ	22, 36
外部出力ボタン	36, 181
ネットワーク/LANコネクタ	36
モニタコネクタ	36
I/Oコネクタ	36
データのやりとり	
ファイルの同期	
デスクトップ画面	
デスクトップ・スタイル	25, 78
電源	151, 157
入れる	42
切る	47
コード	22, 44
電源供給コネクタ	35
電子メール	98, 152

動画	_____	?
再生	.....	?
ビデオコンテンツのダウンロード	...34,	?
ドラッグアンドドロップする	_____	80
ドラッグする	_____	73, 80

### 【ナ行】

内蔵スピーカー	_____	28
ネットワーク(LAN)	_____	151
ネットワークLANコネクタ	_____	35, 36, 95

### 【ハ行】

パーティカル・スタイル	_____	26, 79
パーティションサイズを変更する	_____	129
ハードディスク	_____	109, 131, 155, 182
アクセスランプ	.....	29
データ消去について	.....	141
取り扱いについて	.....	135
バックアップについて	.....	112, 135
バイオ電子マニュアル	_____	6, 149, 151, ?
排気口	_____	32
パスワード	_____	151, 166
バッテリー	_____	22, 42, 46, 139, ?
コネクタ	.....	33
ランプ	.....	29
パワースイッチ	_____	30, 45
パワーランプ	_____	29, 45
左ボタン	_____	27, 78
表示窓	_____	40
ファンクションセクターボタン	_____	28
付属ソフトウェア	_____	142
プリンタ	_____	154
プロセッサ	_____	155
フロッピーディスク	_____	154, ?
取り扱いについて	.....	137
ヘッドホン	_____	23, 40, 154
コネクタ	.....	30
ステレオミニプラグ	.....	40

ポインタ	_____	78
ポインティング・デバイス	_____	78, 153, 170, ?
クリックする	.....	79
スクロールする	.....	80
センターボタン	.....	27, 78
ダブルクリックする	.....	79
ドラッグアンドドロップする	.....	80
ドラッグする	.....	80
左ボタン	.....	27, 39, 78
マルチポインター	.....	39
右クリックする	.....	79
右ボタン	.....	27, 39, 78

### ポートリプリケーター

_____	_____	22, 25, 34, 44, 68, 155, 182, ?
外部出力ボタン	.....	34, 181
ダウンロードボタン	.....	34
取り付ける	.....	68
取りはずす	.....	70
ネットワーク/LANコネクタ	.....	35
ホルダ	.....	22, 36, 68
モニタコネクタ	.....	35
DC INコネクタ	.....	35
DC OUTコネクタ	.....	35
i.LINKコネクタ	.....	35
I/Oコネクタ	.....	34
USBコネクタ	.....	34, 35

ホームページ	_____	?
ホールドスイッチ	_____	30, 40, ?
保護ポーチ	_____	23, 138
ホルダ	_____	22, 36, 68

### 【マ行】

マイサポーター	_____	125
マルチポインター	_____	27, 78
右クリック機能	_____	73
右クリックする	_____	79
右ボタン	_____	27, 78
メッセージ	_____	155, 184

メモリ	155
拡張する	108
メモリスティック	154,
アクセスランプ	32
スロット	32
取り扱いについて	136
文字入力	75, 152, 167
モデム	91
モニタコネクタ	35, 36
モバイルグリップ・スタイル	25, 78

## 【ヤ行】

予備用キャップ	22
---------	----

## 【ラ行】

リカバリ	109
ディスクを作成する	124
リカバリ領域を削除する	131
リセットスイッチ	33
リピートボタン	40
リモコン	23, 40, 152,
音量つまみ	40
クリップ	40
誤作動防止スイッチ	40
コンテンツブラウザボタン	40
再生モードボタン	40
ジョグレバー	40
ステレオミニプラグ	40
停止ボタン	40
表示窓	40
リピートボタン	40
DISPLAY ボタン	40
HOLD スイッチ	40
P MODE ボタン	40
SOUND ボタン	40
VOL つまみ	40
リリースレバー	32
ローテートボタン	29, 153, 176
ロックレバー	32, 42

## 【ワ行】

ワイヤレス LAN	152,
スイッチ	31
取り扱いについて	137
ランプ	31

## 【A】

ACアダプタ	22, 44, 139
AC電源	44
ADSL	88, 90, 151

## 【C】

Caps Lockキー	38
CATVインターネット回線	89, 90
CDディスク	154,
お手入れ	141
再生	
取り扱いについて	135
CFスロット	32
CPU	155
Ctrl+Alt+Delボタン	31

## 【D】

DC IN コネクタ	33, 35, 44
DC OUT コネクタ	35
DISPLAY ボタン	40
Do VAIO	
設定	64
DV機器	154
DVDディスク	154,
お手入れ	141
再生	
取り扱いについて	135

## 【E】

Enterボタン	28
----------	----

## 【F】

Fnキー	38
------	----

**【H】**

HOLDスイッチ \_\_\_\_\_ 30, 40, 

**【I】**

IDラベル \_\_\_\_\_ 33

ISDN \_\_\_\_\_ 88, 90

i.LINK \_\_\_\_\_ 154

コネクタ .....35

I/Oコネクタ \_\_\_\_\_ 33, 34, 36

**【L】**

LCD/Videoスタンバイ \_\_\_\_\_ 176

LOCKレバー \_\_\_\_\_ 32, 42

**【M】**

My Sony ID \_\_\_\_\_ 55, 62

**【N】**

NextText \_\_\_\_\_ 75

ボタン .....28, 76

Num Lkキー \_\_\_\_\_ 37

**【P】**

P MODEボタン \_\_\_\_\_ 40

POWERスイッチ \_\_\_\_\_ 30, 45

**【R】**

ROTATEボタン \_\_\_\_\_ 29, 153, 176

**【S】**

SOUNDボタン \_\_\_\_\_ 40

STANDBYボタン \_\_\_\_\_ 32

**【U】**

USBコネクタ \_\_\_\_\_ 31, 34, 35, 67

**【V】**

VAIOカスタマーリンク \_\_\_\_\_ 105, 125, 150

VOLつまみ \_\_\_\_\_ 40

**【W】**

Windows \_\_\_\_\_ 49, 117, 121, 163, 166

WIRELESS LANスイッチ \_\_\_\_\_ 31




WIRELESS LANランプ \_\_\_\_\_ 31

**【Z】**

ZOOMボタン \_\_\_\_\_ 29, 82, 153



## 商標について

- **VAIO** はソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick” (“マジックゲートメモリースティック”)および“Memory Stick” (“メモリースティック”)、**MEMORY STICK**、、**MEMORY STICK PRO**、**MEMORY STICK Duo**、“MagicGate” (“マジックゲート”)、**MAGIC GATE**、OpenMG、**OpenMG** はソニー株式会社の商標です。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“”はソニー株式会社の商標です。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Windows Media、Windows、OutlookおよびBookshelfは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Compact Flash (TM) およびコンパクトフラッシュ (TM) は、米国SanDisk社の商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro Logic及びダブルD記号 はドルビーラボラトリーズの商標です。
- CD and music-related data from Gracenote, Inc., copyright (c) 2000-2003 Gracenote. Gracenote CDDB (R) Client Software, copyright 2000-2003 Gracenote. This product and service may practice one or more of the following U.S. Patents: #5,987,525; #6,061,680; #6,154,773, #6,161,132, #6,230,192, #6,230,207, #6,240,459, #6,330,593, and other patents issued or pending.
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- . P h o n e およびドットフォンは、N T T コミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe ReaderはAdobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。
- Powered by CyberSupport.  
「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。  
Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム  
Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- 「できる」は株式会社インプレスの登録商標です。

- Sun, Sun Microsystems、サンのロゴマーク、JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Atheros and Atheros Total 802.11 Super G are trademarks of Atheros Communications, Inc. The Atheros and Atheros Total 802.11 Super G logos are registered trademarks of Atheros Communications, INC.



- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。







# ソニーが提供する情報一覧

## 付属の取扱説明書類

### ■ 取扱説明書（本書）



はじめにお読みください。  
バイオを使うための準備など、お使いになるうえで大切な情報を記載しています。（さらに詳しい内容については「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。）

### ■ バイオ サービス・サポートのご案内



バイオのサービス・サポートについて紹介しています。

## 画面で見るマニュアル

### ■ バイオ電子マニュアル



知りたい情報が、すべてここに集まっています。使いかたを調べたいときや困ったとき、ソフトウェアの活用方法を知りたいときは、まずこちらをご覧ください。

### ■ ヘルプ/チュートリアル



バイオに付属のソフトウェアにはヘルプやチュートリアルが用意されています。ソフトウェアの使いかたなどを知りたいときにご覧ください。

# インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

## ■ 困ったときはここで解決！



<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

困ったときにご覧ください。状況にあった解決方法を提供しています。

## ■ ENJOY VAIO



<http://vaio.sony.co.jp/Enjoy/index.html>

バイオを楽しむための情報をテーマ別にお届けします。

### 写真&静止画

デジタル写真や画像を整理・加工・保存したい

### 動画&映像

テレビ、DVD、ビデオカメラ、編集

### 音楽

楽曲ダウンロード、CD、MD、音楽を作る

### ネットワーク

ブロードバンド、ホームネットワーク、ダウンロード

## ■ VAIOホームページ



<http://vaio.sony.co.jp/>

バイオに関する情報満載！

バイオならできること、バイオだからできることをご紹介しています。

サポート情報は、VAIOカスタマーリンクホームページへ  
<http://vcl.vaio.sony.co.jp/>

VAIOホームページ  
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。  
<http://www.vaio.sony.co.jp/>

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35  
<http://www.sony.co.jp/>